

2020年度第2回 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議

次 第

日時：2020年11月13日(金)

14:00~16:00

開催方法：オンライン(Zoom)

I 開 会

II 単位互換・京カレッジ共通の依頼・確認事項

1. 「プラザ科目」に関するガイドラインの改定について【資料1】P.2-4
2. 2021年度シラバスの入力依頼および「e 京都ラーニング」マニュアルについて【資料2】P.5-18
3. 「プラザ科目」における授業・試験休止の取扱基準の改定について【資料3】P.19-21
4. 2021年度キャンパスプラザ京都出講案内【資料4】P.22-34
5. 2021年度単位互換・京カレッジ事務担当者ガイド【資料5】P.35-62
6. 2021年度「プラザ・オンライン科目」「プラザ推奨科目」「京カレッジ市民教養講座開設補助費」ガイド【資料6】P.63-101

III 単位互換事業に関する依頼・確認事項

1. 2021年度プラザ推奨科目申請の採択等について【資料7】P.102-119
2. 2020年度前期単位互換生アンケート集計結果について【資料8】P.120-123
3. 2020年度単位互換事業の出願状況について【資料9】P.124-126

IV 京カレッジ事業に関する依頼・確認事項

1. 2021年度京カレッジ「市民教養講座開設補助費」申請の採択について【資料10】P.127-156
2. 2021年度京カレッジ生募集ガイドの校正等について【資料11】P.157
3. 2021年度京カレッジ事業に係る手続き等の変更について【資料12】P.158
4. 2020年度京カレッジ大学リレー講座の実施状況および2021年度実施方針について【資料13】P.159-160
5. 2021年度京カレッジ大学リレー講座募集要項【資料14】P.161-163
6. 2021年度京カレッジ大学リカレントリレー講座の参加申込状況について【資料15】P.164-166
7. 大学コンソーシアム京都主催 京カレッジ「京都学講座」講座休止の取扱基準の改定および「大学リレー講座」における講座休止の取扱基準の制定について【資料16】P.167-168
8. 2020年度京カレッジ事業の出願状況について【資料17】P.169-174

V その他

1. 2021年度におけるキャンパスプラザ京都の利用について【資料18】P.175

VI 閉 会

以 上

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会
2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

「プラザ科目」に関するガイドラインの改定について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

加盟校において、対面形式とオンライン形式を組み合わせた科目、あるいはオンライン形式のみで運営する科目の導入が進んでいる。この状況を踏まえ、オンライン形式を活用した特色ある科目の単位互換事業への提供促進を目的としてガイドラインを改定する。主な改定点は下記のとおり。

- ・ 「プラザ科目」を「プラザ・オンライン科目」へ改称する。
- ・ 従来の「プラザ科目」は「主にキャンパスプラザ京都における対面形式のみで運営する科目」だけを指していたが、「プラザ・オンライン科目」はこれに加え、「キャンパスプラザ京都における対面形式と特定の会場を使用しないオンライン形式を組み合わせて運営する科目」および「特定の会場を使用しないオンライン形式のみで運営する科目」の計3種類を指すものとする。
- ・ 「プラザ・オンライン科目」の科目運営補助金額は、従来の「プラザ科目」と同額とする。

これらに基づき、「プラザ科目に関するガイドラインについて」を下記朱書きのとおり改定する。

※ なお、今後はコロナウイルスの感染状況や対策の変化に伴い、オンライン授業の実施に係る文部科学省、各大学の対応指針が大きく変わっていくことが予想されることから、2022年度以降のガイドラインについては2021年度プラザ科目の実施状況なども踏まえて再度検証する。

以下<「プラザ科目」「プラザ推奨科目」・「京カレッジ市民教養講座開設補助費」ガイド>抜粋

「プラザ・オンライン科目」に関するガイドラインについて

1. プラザ・オンライン科目とは

プラザ・オンライン科目とは、単位互換事業に提供する目的で、下記いずれかの形式で授業を運営する科目である。

- ・ 主にキャンパスプラザ京都における対面形式のみで運営する科目
- ・ キャンパスプラザ京都における対面形式と特定の会場を使用しないオンライン形式を組み合わせて運営する科目
- ・ 特定の会場を使用しないオンライン形式のみで運営する科目

2. プラザ科目に関するガイドラインについて

科目の特色化・精選化を図るため、各加盟校が提供科目を選定する際の基準となるガイドライン(申し合わせ)等を設定する。

(1) <単位互換科目提供ガイドライン>

- ①科目を提供する大学・短期大学(部)の学則に定める科目であること。
- ②科目開設大学において特色があると判断する科目であること。
- ③オンライン形式の採用にあたっては、オンラインの持つ特徴を活かした展開を計画しシラバスに記

載できること。

- ④科目担当教員は、原則、科目開設大学の専任教員であること。ただし、名誉教授や客員教授、招聘教授、その他その分野において業績が認められる者についてはこの限りではない。
- ⑤チェーンレクチャー科目の場合は科目開設大学の専任教員がコーディネータを務めること。
- ⑥連続して3年の間、単位互換生の出願が0名だった場合は科目の提供を見直すこと。
- ⑦同一大学において、提供する科目名や講義概要（シラバス）が同じものについては1科目に選択して提供すること。
- ⑧上記以外で、提供科目に関して何らかの課題が生じた場合は財団と科目提供大学・短期大学（部）が協議する。

（2）受講者の受入れ

定員を超える多数の受講希望があった場合、公表された講義定員数については必ず受入れるものとする。なお、講義定員についてはプラザ推奨科目に準ずるものとする。

3. 関係者の役割分担

（1）科目担当教員

- ・科目開設のための学内手続
- ・シラバス作成
- ・講師の選任と確保（チェーンレクチャー等を行う場合）
- ・講義の実施（休講・補講等に関する担当部署への諸連絡を含む。）
- ・成績判定

（2）科目開設大学

- ・科目開設（シラバス情報の財団への提供等を含む）
- ・授業で使用する教室や機器類についての財団との調整
- ・科目運営補助金（ゲストスピーカー等の給金・謝金）の支出・管理
- ・担当講師への出講案内
- ・学生に対する各種教務連絡（休講、補講、教室変更、試験・レポート情報等）
- ・e 京都ラーニングを通じた休講情報等の公開
- ・受講学生の災害障害保険・賠償責任保険の加入確認（フィールドワーク等の場合）

（3）財団

- ・科目開設に向けた教室手配
- ・学生への周知・広報
- ・科目開設大学が発信する教務連絡の包括協定締結大学・短期大学への周知協力
- ・科目運営補助金の法人への支給

4. 経費について

（1）キャンパスプラザの教室・施設利用料について

授業で使用するキャンパスプラザの教室およびプロジェクター等の機器類の使用料については、財団が負担する。

（2）科目運営補助金の支給について

科目運営補助金の支給額、支給条件等は以下のとおりとする。

支給額：半期3万円（通期6万円）

支給条件：単位互換生・京カレッジ生が10名以上受講していること。

支給先：科目開設大学（法人）

5. プラザ・オンライン科目に関するガイドラインの見直し・修正について

本ガイドラインは、必要に応じて教育事業企画検討委員会で見直し・変更を行う。

6. ガイドラインの適用について

本取り決めは、2021年度開設科目から適用する。

以 上

2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議

2021年度シラバスの入力依頼および「e 京都ラーニング」マニュアルについて

大学コンソーシアム京都
教育事業部

平素は当財団の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年度も単位互換・京カレッジ事業の実施にあたり、京都地域の大学生および市民に対し魅力ある科目をご提供くださいますよう、お願いいたします。

ご提供いただける科目については、下記を必ずご確認のうえ、2021年度のシラバスを「e 京都ラーニング」(<https://el.consortium.or.jp/>)内にご入力ください。

お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1 シラバス入力対象科目

- ・ 単位互換提供科目および京カレッジ提供科目
- ※ プラザ推奨科目および市民教養講座開設補助費採択科目含む。

2 シラバス入力期間

- ・ 2020年11月13日(金) ～ 2021年1月18日(月) 23時59分まで
- ※ 上記期間終了後に修正あるいは追加が発生しますと、以降の印刷物の校正等に影響し、大学担当者、印刷会社および大学コンソーシアム京都事務局において事務負担となります。期間内に誤りなく入力をご完了くださいますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。
- ※ どうしても間に合わない場合でも、最低限、必須項目に仮の内容を入力する等により、科目としての「枠」を必ず登録完了してください。

3 シラバス入力方法

- ・ 画面および項目ごとの留意事項等は、「e 京都ラーニング大学担当者利用マニュアル(シラバス編)」をご参照ください。

4 シラバスの加筆・修正および方法

- ・ シラバス入力期間後にやむなくシラバスを加筆・修正する場合は、下記のとおり、科目の種別ごとのご対応をお願いします。
- 1) **京カレッジに提供する科目(単位互換+京カレッジ両方に提供する科目含む)の場合**
 - ・ 印刷会社による印刷物「2021年度京カレッジ生募集ガイド」の校正作業の中で、大学担当者から印刷会社へ加筆・修正を連絡してください。同ガイドへ反映された追加・修正内容を、大学コンソーシアム京都で「e 京都ラーニング」に反映させていきます。
 - ※ 印刷物「2021年度京カレッジ生募集ガイド」校正作業のスケジュールおよび要領等については別途ご案内します。
 - ※ 「2 シラバス入力期間」においてもご案内したとおり、入力期間内に最低限、科目としての「枠」は必ず登録完了しておいてください。

2) 単位互換にのみ提供する科目

- ・ 【2021年2月12日(金)までに】大学コンソーシアム京都へ加筆・修正をメール連絡してください。大学コンソーシアム京都で「e 京都ラーニング」に反映させていただきます。

5 2021年度シラバス入力における留意事項

1) 「授業形式」選択肢の変更について

- ・ 2021年度から「授業形式」選択肢を全面的に変更します。新規提供科目だけでなく、2020年度からの継続提供科目についても下記文言の中から新たに選択し直してください。

対面授業(プラザ)※2021年度用

対面授業(プラザ)・オンライン併用※2021年度用

対面授業(オンキャンパス) ※2021年度用

対面授業(オンキャンパス)・オンライン併用※2021年度用

オンラインのみ※2021年度用

※上記以外の従来の文言も選択肢に表示されていますが、2021年度更新時に削除されます。

※選択した授業形式により、「プラザ・オンライン科目」の対象科目を判断します。

2) 新規提供科目の「掲載期間」「出願期間」「出願期間表示設定」「開講期間設定」「承認結果公開日」について

- ・ 新規提供科目において空欄となっている上記項目には、下記のとおり入力してください。

掲載期間：2021-03-03 ～ 2022-03-31

出願期間：2021-03-18 ～ 2021-04-09

出願期間表示設定：表示しない

開講期間設定：2021-04-01 ～ 2022-03-31

承認結果公開日：2021-04-16

3) 2020年度で提供を終了する科目の処理について

- ・ 「e 京都ラーニング」の「シラバス入力」画面からの削除処理が必ず必要です(削除しない場合は2021年度も継続提供の扱いとなります)。画面詳細は、「e 京都ラーニング大学担当者利用マニュアル(シラバス編)」を参照してください。

4) 文字化けする恐れのある字について

- ・ 英語以外のアルファベット(フランス語の“e”など)や、中国語の漢字、外字などは、入力可能であるものの、e 京都ラーニング上で文字化けする恐れがあります。代替の文字やカタカナで入力するなどのご対応をお願いします。

5) スペースや頭揃え等の体裁について

- ・ 印刷物「2021年度京カレッジ生募集ガイド」における校正時に反映したスペースや頭揃え等の体裁を、e 京都ラーニングでは仕様上反映できないことがあります。あらかじめご了承ください。

6) 「e 京都ラーニング」アクセス不可日について

- ・ 下記のとおり、「e 京都ラーニング」にアクセスできない日がありますのでご注意ください。

1) 2021年2月8日(月)：キャンパスプラザ京都停電作業日のため

2) 2021年2月22日(月)～2021年3月2日(火)※予定:e 京都ラーニング年度更新作業のため

6 参考

1) 2021年度プラザ科目の開講期間、時間割および学年暦

- ・ 2021年度プラザ科目の開講期間

曜日	期間	開始日	終了日
火	通 年	2021年4月13日	2022年1月18日
	前期・春学期		2021年7月27日
	後期・秋学期	2021年9月21日	2022年1月18日
水	通 年	2021年4月7日	2022年1月12日
	前期・春学期		2021年7月21日
	後期・秋学期	2021年9月22日	2022年1月12日
木	通 年	2021年4月8日	2022年1月20日
	前期・春学期		2021年7月22日
	後期・秋学期	2021年9月30日	2022年1月20日
金	通 年	2021年4月9日	2022年1月14日
	前期・春学期		2021年7月16日
	後期・秋学期	2021年9月24日	2022年1月14日
土	通 年	2021年4月10日	2022年1月15日
	前期・春学期		2021年7月17日
	後期・秋学期	2021年9月25日	2022年1月15日
日	通 年	2021年4月11日	2022年1月16日
	前期・春学期		2021年7月25日
	後期・秋学期	2021年9月26日	2022年1月16日

<注意事項>週2回以上開講している科目は、最初の日から最後の日までをご選択ください。

※夏期集中期間：2021年8月6日～2021年9月19日

- ・ プラザ科目時間割

講時	時 間
1	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
2	1 0 : 5 0 ~ 1 2 : 2 0
3	1 2 : 4 0 ~ 1 4 : 1 0
4	1 4 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
5	1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 5 0
6	1 8 : 1 0 ~ 1 9 : 4 0
7	2 0 : 0 0 ~ 2 1 : 3 0

- ・ 2021年度プラザ科目学年暦：次頁のとおり

2021年度プラザ科目学年暦

4月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
			①	①	①	①
11	12	13	14	15	16	17
①		①	②	②	②	②
18	19	20	21	22	23	24
②		②	③	③	③	③
25	26	27	28	29	30	
③		③	④		④	

4/7 前期講義開始日
4/29 昭和の日

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						④
2	3	4	5	6	7	8
				④	⑤	⑤
9	10	11	12	13	14	15
④		④	⑤	⑤	⑥	⑥
16	17	18	19	20	21	22
⑤		⑤	⑥	⑥	⑦	⑦
23	24	25	26	27	28	29
⑥		⑥	⑦	⑦	⑧	⑧
30	31					
⑦						

5/3 憲法記念日、5/4 みどりの日
5/5 こどもの日

6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		⑦	⑧	⑧	⑨	⑨
6	7	8	9	10	11	12
⑧		⑧	⑨	⑨	⑩	⑩
13	14	15	16	17	18	19
⑨		⑨	⑩	⑩	⑪	⑪
20	21	22	23	24	25	26
⑩		⑩	⑪	⑪	⑫	⑫
27	28	29	30			
⑪		⑪	⑫			

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				⑫	⑬	⑬
4	5	6	7	8	9	10
⑫		⑫	⑬	⑬	⑭	⑭
11	12	13	14	15	16	17
⑬		⑬	⑭	⑭	⑮	⑮
18	19	20	21	22	23	24
⑭		⑭	⑮	⑮	補	補
25	26	27	28	29	30	31
⑮		⑮	補	補	試	試

7/30~8/5 前期試験期間(8/6 試験予備日)
7/19 海の日

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
試		試	試	試	予	
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8/6~9/19 集中講義期間
8/6 試験予備日
8/11 山の日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
			①	①	①	①
26	27	28	29	30		
①		②	②	①		

9/21 後期講義開始日
9/20 敬老の日
9/23 秋分の日

10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					②	②
3	4	5	6	7	8	9
②		③	③	④	④	④
10	11	12	13	14	15	16
③		④	④	④	④	④
17	18	19	20	21	22	23
④		⑤	⑤	④	⑤	⑤
24	25	26	27	28	29	30
⑤		⑥	⑥	⑤	⑥	⑥
31						

10/11 スポーツの日

11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
⑥		⑦		⑥	⑦	⑦
7	8	9	10	11	12	13
⑦		⑧	⑦	⑦	⑧	⑧
14	15	16	17	18	19	20
⑧		⑨	⑧	⑧	⑨	⑨
21	22	23	24	25	26	27
⑨			⑨	⑨	⑩	⑩
28	29	30				
⑩		⑩				

11/3 文化の日
11/23 勤労感謝の日

12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			⑩	⑩	⑪	⑪
5	6	7	8	9	10	11
⑪		⑪	⑪	⑪	⑫	⑫
12	13	14	15	16	17	18
⑫		⑫	⑫	⑫	⑬	⑬
19	20	21	22	23	24	25
⑬		⑬	⑬			
26	27	28	29	30	31	

12/23~1/4 講義休止期間

1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
			⑩	⑬	⑭	⑭
9	10	11	12	13	14	15
⑭		⑭	⑮	⑭	⑮	⑮
16	17	18	19	20	21	22
⑮		⑮	補	⑮	補	補
23	24	25	26	27	28	29
試		試	試	試	試	試
30	31					
予						

1/5 講義再開
1/23~1/29 後期試験期間
1/30 試験予備日
1/1 元日、1/10 成人の日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

2/11 建国記念の日
2/23 天皇誕生日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

3/21 春分の日

・①~⑮の数字は前期・後期の各講義日15回を示す。「補」は補講日、「試」は試験日、「予」は試験予備日を表す。
・前期: 4月7日(水)~7月29日(木) 試験期間: 7月30日(金)~8月5日(木)
・後期: 9月21日(火)~1月22日(土) 試験期間: 1月23日(日)~1月29日(土)

2) 科目の「テーマ」

- 単位互換制度・京カレッジにおけるテーマを以下のとおり設定しています。シラバスの入力の際は、下記テーマ区分に合うようにテーマをご選択ください。なお、大学コンソーシアム京都にてテーマ区分を変更した方がよいと判断した場合は、変更をお願いすることがありますことを予めご了承ください。

【テーマ設定】

	テーマ	該当する科目
大学講義	A 京（みやこ）を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
	B 歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史感を養う科目群
	C 文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
	D ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現を身に付ける学ぶ科目群
	E 教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
	F 生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群
	G 自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群
	H 現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多角な観点から現代社会を観察する科目群
	I 国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群
市民教養講座（京カレッジ）	J 市民教養講座	大学が開講する公開講座やシンポジウムを通して、幅広い分野における教養を高めるプログラム
	K 市民教養講座(京都力養成コース)	歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる特色あるプログラム
	L 市民教養講座(教養力養成コース)	京カレッジ独自に提供される文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたプログラム

以上

2020年11月13日版

大学コンソーシアム京都 単位互換事業・京カレッジ事業

e 京都(いーこと)ラーニング

大学担当者利用マニュアル シラバス編

【目次】

1. 次年度シラバスの登録	2
(1) 新規作成する場合.....	2
(2) 当年度シラバスを元に作成する場合／新規作成したシラバスを修正する場合	7
(3) 当年度で提供を終了する科目がある場合／誤って作成したシラバスを削除する場合	9

以上

1. 次年度シラバスの登録



(1) 新規作成する場合



テーマ	テーマを選択する...
制度種別 *	制度種別を選択する...
受講形態 (京カレッジ)	受講形態を選択する... <small>制度種別で「京カレッジ」「単位互換/京カレッジ」を選択する。</small>
科目コード	<input type="text"/> <small>(登録時に自動で割り付け)</small>
科目名 *	<input type="text"/> <small>(128文字まで)</small>
略科目名 *	<input type="text"/> <small>(10文字まで)</small>
英文科目名	<input type="text"/> <small>(半角 128文字まで)</small>
開講大学 *	大学を選択する...
学内科目コード	<input type="text"/> <small>(半角 20文字まで)</small>
学内科目名	<input type="text"/> <small>(128文字まで)</small>

連絡先	<input type="text"/> <small>例) 教務課教務係 TEL : 000-000-0000 FAX : 000-000-0000</small>
担当教員(表示用)	<input type="text"/> <small>詳細表示にのみ使用されます。自由な書式で入力できます。</small>

(次頁へ続く)

• e 京都ラーニングにログインし、「【次年度】シラバス入力」メニューを選択してください。

• 新規作成する場合は、「科目新規登録」を選択してください。

• 各項目に沿って入力あるいは選択肢から選択してください。「*」が付いている項目は必須です。

• 注意を要する項目について、注意内容を記載しています。下記を必ずご一読ください。

【テーマ】：シラバス入力依頼文書を参考のうえ、該当するものを選択してください。

【科目コード】：入力は不要です。後で事務局にて割り当てます。

【英文科目名】：単位互換科目については、原則として入力してください。

履修対象大学 *	<input type="text"/> 対象大学入力支援 <input type="button" value="大学グループを選択する..."/>
開講期間	0000年00月00日()~0000年00月00日() 0~0講時 00時00分~00時00分(毎週 曜日) ※月曜振替0回 0000/00/00(), 0000/00/00() ※開講 0000/00/00(・祝) ※休講 0000/00/00() ※補講 0000/00/00() 例) 2010年09月27日(月)~2011年01月17日(月) 5~6講時 15時00分~16時30分(毎週月曜日) ※月曜振替1回 2010/12/23(木) ※開講2010/10/11(月・祝) ※休講2010/10/18(月) ※補講2011/01/24(月) サンプルに従って入力してください。不要な項目については <input type="checkbox"/> 開講期間の日付チェックを行わない

【履修対象大学】：「対象大学入力支援」の選択肢において、単位互換生にのみ提供する科目は「単位互換」、京カレッジ生にのみ提供する場合は「京カレッジ」、両方に提供する科目は「単位互換／京カレッジ」を選択してください。

【開講期間】：具体的な日程および講時(時間帯を含む)を、例に従って詳細に入力してください。プラザ科目については次年度の「プラザ科目学年暦」に沿って、オンキャンパス科目については次年度の自大学学年暦に沿って入力してください。
※どうしても具体的な日程が入力できない場合は、「開講期間の日付チェックを行わない」にチェックをいれてください。

開講形態	<input type="button" value="開講形態を選択する..."/>
開講曜日・講時	<input type="button" value="曜日を選択する..."/> <input type="button" value="講時を選択する..."/> <small>『開講形態』で前期・後期・春学期・秋学期を選んだ場合</small>
単位数 *	<input type="text"/> <small>(半角数字)</small>
授業形式	<input type="button" value="授業形式を選択する..."/>
会場	<input type="button" value="会場を選択する..."/> <small>授業形式で遠隔講義を選択した場合は、「その他特記事項」欄にその特記事項の欄に受講できる場所をご記入ください。</small>
受講料	<input type="text"/>

【開講形態】：下記の中から選択してください。

- 前期・春学期
- 後期・秋学期
- 通年
- 夏期集中
- 集中※上記いずれにも該当しない場合

【開講曜日・講時】：選択できるのは1曜日1講時です。2曜日講時以上にまたがる講義については、開始曜日講時を選択し、開講期間などに詳細を記載してください。

【授業形式】：下記の中から選択してください。

- 対面授業(プラザ)
 - 対面授業(プラザ)・オンライン併用
 - 対面授業(オンキャンパス)
 - 対面授業(オンキャンパス)・オンライン併用
 - オンラインのみ
- ※キャンパスプラザ京都6F 共同サテライト教室は「オンキャンパス科目」扱いです。
※2021年度から選択肢を変更しました。原則、「対面授業(プラザ)」「対面授業(プラザ)・オ

(次頁へ続く)

対象年次	<input type="text"/> 例) (空欄)、2年次以上、
授業定員	<input type="text"/> (半角数字)
単位互換定員	<input type="text"/> (半角数字)
京カレッジ定員	<input type="text"/> (半角数字)
試験・評価方法	<input type="text"/>
超過時の選考方法	<input type="text"/>
別途負担費用	<input type="text"/> 例) (空欄)、2000
その他特記事項	<input type="text"/>
パッケージ科目	パッケージ科目を選択する... ▼

低回生受講推奨科目	<input type="checkbox"/>
講義概要・到達目標	<input type="text"/>

(次頁へ続く)

「オンライン併用」「オンラインのみ」は、「プラザ・オンライン科目」としての補助金支給対象です。

【授業定員】：授業の総定員であり、自大学の受講学生も含んだ数字を入力してください。

※特に「対面授業(プラザ)」を含む授業は、キャンパスプラザ京都の配当教室規模に関わりますので、ご注意ください。

【その他特記事項】：下記の例を参考に、必要と考えられる留意事項を記入してください、

○オンキャンパス授業の教室通知

→「教室は～月～日頃、～～によって通知します。」

○科目名称の変更

→「過去に～(科目名)を受講した学生は、同一科目のため登録できません。」

○同一科目を前期と後期にそれぞれ開講

→「前期に～(科目名)を受講した学生は、同一科目のため後期は履修できません。」

講義スケジュール	第01回 第02回 第03回 第04回 第05回 第06回 第07回 第08回 第09回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回
教科書	
参考書	

【講義スケジュール】：15回記載できるフォーマットをあらかじめ準備しています。不要な行は削除してください。なお、シラバス形式統一のため記載の回数表示の変更はお避けください。また、プラザ科目については、講義スケジュールに記載された内容で教室調整をします。授業日時およびキャンパスプラザ以外を使用される等について、詳しく記載してください。

掲載期間 *	20 <input type="text"/> ~ 20 <input type="text"/> 01-01
出願期間 *	20 <input type="text"/> ~ 20 <input type="text"/> 01-01
出願期間表示設定 *	<input type="radio"/> 表示する <input checked="" type="radio"/> 表示しない
開講期間設定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/> 01-01
承認結果公開日 *	20 <input type="text"/> (半角) 例)2010-01-01
年度	西暦 20 <input type="text"/> 年 (半角数字)
一覧非表示設定	設定なし ▾

*マークが付けられたフィールドは必須入力フィールドで

【掲載期間】【出願期間】【出願期間表示設定】【開講期間設定】【承認結果公開日】は、大学コンソーシアム京都からのシラバス入力依頼文書で指定したとおりに入力してください。

・すべての入力が完了したら「次へ」を選択してください。

(次頁へ続く)

テーマ	A. 京（みやこ）を学ぶ	<p>• 確認画面において、内容をよく確認してください。</p>
制度種別	単位互換	
受講形態（京カレッジ）	科目等履修生	
科目コード	(登録時に自動で割り付けられます)	
科目名	京都学概論(ダミー)	
略科目名	京都学概論(ダミー)	
英文科目名		
開講大学	大学コンソーシアム京都	
学内科目コード	conso01	
学内科目名	京都学概論(ダミー)	
連絡先	単位互換・京カレッジ担当 TEL 075-353-9120	
担当教員	教員 太郎	
履修対象大学	201:池坊短期大学 202:大阪医科大学 204:大谷大学 205:大谷大学短期大学部 206:華頂短期大学 207:京都大学 208:京都外国語大学 209:京都外国語短期大学 210:京都先端科学大学 211:京都教育大学 212:京都経済短期大学 213:京都光華女子大学 214:京都光華女子大学短期大学部 215:京都工芸繊維大学 218:京都産業大学 219:京都女子大学 221:京都市立芸術大学	

(次頁へ続く)

講義スケジュール	第01回 京都の歴史 第02回 京都の文化 第03回 京都の地理 第04回 京都の文学 第05回 京都の経済 第06回 京都の経営 第07回 京都の医療 第08回 京都の建築 第09回 京都の観光 第10回 京都の教育 第11回 京都のICT 第12回 京都の福祉 第13回 京都の政治 第14回 京都の人々 第15回 京都の未来・まとめテスト
教科書	京都学概論/教員太郎著 財団出版
参考書	
掲載期間	2021-03-01 ~ 2022-03-31
出願期間	2021-03-01 ~ 2021-04-20
出願期間表示設定	表示しない
開講期間	~
承認結果公開日	2021-04-23
年度	西暦 2021 年
一覧非表示設定	設定なし

完了 戻る

- 問題なければ「完了」を選択してください。

(2) 当年度シラバスを元に作成する場合／新規作成したシラバスを修正する場合

科目新規登録

下表データを CSV (text形式) でダウンロード TSV (text形式) でダウンロード

次年度科目一覧				
テーマ▲	制度種別	科目CD	科目名	開講大学
K. 京都力養成コース	京カレッジ	K001	京都学講座【午前コース】「なんで京都に来はったんどす? - 京都学講座の二十歳 (はたち) を祝う -」	大学コンソーシアム京都
K. 京都力養成コース	京カレッジ	K002	京都学講座【午後コース】「なんで京都に来はったんどす? - 京都学講座の二十歳 (はたち) を祝う -」	大学コンソーシアム京都

1-2件目 (全2件中)

- 当年度シラバスを元に作成する場合／新規作成したシラバスを修正する場合は、シラバス入力画面に表示されている当年度開講科目一覧から、作成元とする科目の「科目 CD」を選択し、次の画面で「編集」を選択してください。

シラバス詳細

編集 戻る

テーマ	K. 京都力養成コース
制度種別	京カレッジ
受講形態 (京カレッジ)	特別受講生
科目コード	K001

- 当該当年度開講科目のシラバス入力フォームが表示されますので、「(1) 新規に作成する場合」における注意点も参考のうえ、変更すべき箇所を変更してください。

その際、下記の留意項目にご注意ください。

(次頁へ続く)

＜留意項目 抜粋＞

開講形態	開講形態を選択する... ▼
開講曜日・講時	曜日を選択する... ▼ 講時を選択する... ▼ <small>『開講形態』で前期・後期・春学期・秋学期を選んだ場合</small>
単位数	<input type="text"/> (半角数字)
授業形式	授業形式を選択する... ▼
会場	会場を選択する... ▼ <small>授業形式で遠隔講義を選択した場合は、「その他特記事項」 その他特記事項の欄に受講できる場所をご記入ください。</small>
受講料	<input type="text"/>

掲載期間	* <input type="text"/> 20 <input type="text"/> ~ 20 <input type="text"/> 01-01
出願期間	* <input type="text"/> 20 <input type="text"/> ~ 20 <input type="text"/> 01-01
出願期間表示設定	* <input type="radio"/> 表示する <input checked="" type="radio"/> 表示しない
開講期間設定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/> 01-01
承認結果公開日	* <input type="text"/> 20 <input type="text"/> (半角) 例)2010-01-01
年度	西暦 20 <input type="text"/> 年 (半角数字)
一覧非表示設定	設定なし ▼

*マークが付けられたフィールドは必須入力フィールドで



(次頁へ続く)

【授業形式】：下記の中から選択してください。

- 対面授業(プラザ)
- 対面授業(プラザ)・オンライン併用
- 対面授業(オンキャンパス)
- 対面授業(オンキャンパス)・オンライン併用
- オンラインのみ

※キャンパスプラザ京都6F 共同サテライト教室は「オンキャンパス科目」扱いです。

※2021年度から選択肢を変更しました。原則、「対面授業(プラザ)」「対面授業(プラザ)・オンライン併用」「オンラインのみ」は、「プラザ・オンライン科目」としての補助金支給対象です。

【掲載期間】【出願期間】【出願期間表示設定】【承認結果公開日】は、大学コンソーシアム京都によってあらかじめ入力されています。

すべての入力が完了したら「次へ」を選択し、確認画面で確認のうえ、問題なければ「完了」を選択してください。

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会

2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

「プラザ科目」における授業・試験休止の取扱基準の改定について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

「プラザ科目」における授業・試験休止の取扱基準について、下記のとおり改定する(下線が改定箇所)

※ なお、キャンパスプラザ京都で実施する大学コンソーシアム京都主催 京カレッジ「京都学講座」および「大学リレー講座」における講座休止の取扱基準については別途定める。

新	旧
<p>「プラザ科目」における授業・試験休止の取扱基準について</p> <p>キャンパスプラザ京都で開講される「プラザ科目」では、暴風警報や特別警報、特別警報に位置づける警報の発令時や、災害またはストライキ等で交通機関の運行休止等が発生した場合、<u>および、上記に関わらず、授業・試験の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合、</u>授業・試験を休止する基準を以下のとおり定めています。</p> <p>なお、大学・短期大学のキャンパスで開講される「オンキャンパス科目」については、各大学・短期大学の指示に従ってください。</p> <p>1. 授業・試験の休止基準</p> <p>1) <u>授業・試験当日において</u>次の(1)、(2)、(3)いずれかに該当する場合、<u>下記【判断基準および対応】</u>で示した基準に沿って、授業や試験を休止・延期します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。</p> <p>(1) 警報の発令</p>	<p>「プラザ科目」における授業・試験休止の取扱基準について</p> <p>キャンパスプラザ京都で開講される「プラザ科目」では、暴風警報や特別警報、特別警報に位置づける警報の発令時や、災害またはストライキ等で交通機関の運行休止等が発生した場合、授業・試験を休止する基準を以下のとおり定めていますので、基準に従い各自で判断してください。</p> <p><u>また(3)について、大学コンソーシアム京都の判断により授業・試験を休止する場合がありますが、その際は別途お知らせします。</u></p> <p>なお、大学・短期大学のキャンパスで開講される「オンキャンパス科目」については、各大学・短期大学の指示に従ってください。</p> <p>1. 授業・試験の休止基準</p> <p>1) 次の(1)、(2)、(3)いずれかに該当する場合、授業や試験を休止・延期します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。</p> <p>(1) 警報の発令</p>

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

(2) 交通機関の運行休止

下記の①～⑤うち2つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

- ①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線）
- ②J R（京都駅発着の在来線）
- ③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）
- ④阪急電車（河原町～梅田間）
- ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

(3) その他

上記の基準に関わらず授業・試験の実施について大学コンソーシアム京都・教育事業部長が困難であると判断した場合

(削除)

【判断基準および対応】

○7：00以降、10：30までに警報発令または運行休止等が発生している場合：1、2講時の授業・試験を休止

○10：30以降、14：00までに警報発令または運行休止等が発生している場合：2・3・4講時の授業・試験を休止

○14：00以降、警報発令または運行休止等が発生している場合：5講時以降の授業・試験を休止

*なお、授業または試験実施中に警報発令または運行休止等が発生した場合は、原則として実施中の授業・試験については休止しないものと

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

(2) 交通機関の運行休止

下記の①～⑤うち2つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

- ①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線）
- ②J R（京都駅発着の在来線）
- ③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）
- ④阪急電車（河原町～梅田間）
- ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

(3) その他

上記の基準に関わらず授業・試験の実施について大学コンソーシアム京都が困難であると判断した場合

2. 授業・試験の実施基準

特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が解除された場合、または交通機関の運行が再開された場合は、以下の基準により授業・試験を実施します。

なお、授業中または試験中に警報が発令された場合は、原則として実施中の授業・試験については休止または延期せず、その次の時限から休止または延期の措置を取ります。

【判断基準および対応】

○7：00までに解除または運行再開の場合：1講時（9：00）から実施

○10：30までに解除または運行再開の場合：3講時（12：40）から実施

○14：00までに解除または運行再開の場合：5講時（16：20）から実施

○14：00を過ぎても解除または運行再開されない場合：終日授業・試験を休止

<p><u>します。</u></p> <p><u>2) 授業の前日、または前々日において、授業・試験の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、授業・試験をあらかじめ休止します。</u></p> <p><u>2. 授業休止または試験延期後の措置</u> 授業休止による補講、試験休止による試験日の設定は、教員や科目提供大学との調整の上、e 京都ラーニングや<u>大学コンソーシアム京都ウェブサイト</u>(http://www.consortium.or.jp/)内「<u>重要なお知らせ</u>」にてお知らせします。</p> <p>〈参考〉 特別警報に位置づける警報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津 波：大津波警報 ・火山噴火：噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域） ・地 震：緊急地震速報（震度6弱以上） 	<p><u>(新設)</u></p> <p>3. 授業休止または試験延期後の措置 授業休止による補講、試験休止による試験日の設定は、教員や科目提供大学との調整の上、e 京都ラーニングやキャンパスプラザ京都1階掲示板等でお知らせします。</p> <p>〈参考〉 特別警報に位置づける警報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津 波：大津波警報 ・火山噴火：噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域） ・地 震：緊急地震速報（震度6弱以上）
---	---

<参考> プラザ科目時間割

- ・1 講時 9:00-10:30
- ・2 講時 10:50-12:20
- ・3 講時 12:40-14:10
- ・4 講時 14:30-16:00
- ・5 講時 16:20-17:50
- ・6 講時 18:10-19:40

以上

2021年度

単位互換・京^{みやこ}カレッジ事業
キャンパスプラザ京都 出講案内



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

目 次

I	キャンパスプラザ京都について	2
1.	所在地・電話番号	
2.	開館日時	
3.	受付事務室	
4.	講師控室	
II	講義について	3
1.	講義時間・学年暦	
2.	教室ならびに附属設備	
3.	貸出備品	
4.	休講・補講、教室変更	
5.	授業の運営について	
III	試験について	8
1.	試験期間	
2.	試験実施の問合わせおよび試験要領の発表	
3.	試験問題の印刷	
4.	試験監督および試験実施要領	
5.	レポートの提出	
6.	レポートの整理、送付	
7.	追試験ならびに採点	
IV	その他	9
1.	キャンパスプラザ京都での講義に伴う諸手当、交通費等	
2.	シラバスの公開	
3.	アンケートの実施について	
V	各階案内図	11

I キャンパスプラザ京都について

1. 所在地・電話番号



【住所】

〒600-8216
京都市下京区西洞院通塩小路下る
キャンパスプラザ京都

【電話番号】

TEL 075-353-9120 / FAX 075-353-9121
(1階受付事務室)

※公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

※駐輪場、バイク駐車場(125cc以下)があります。また、有料駐車場がありますが、事前の駐車スペースの確保や、駐車料金の免除・割引制度はありません。利用者負担になりますので、ご了承ください。
(30分毎310円)。

2. 開館日時

キャンパスプラザ京都の開館時間および休館日は、以下のとおりです。

【開館時間】 8:30～21:30

(なお、講義開講時の退館は、21:40までとなります)

【休館日】 毎週月曜日ならびに年末・年始(12月28日～翌年1月4日)

3. 受付事務室

単位互換・京カレッジに関する業務は、キャンパスプラザ京都1階受付事務室にて対応いたします。ご質問等がございましたら、遠慮なくお問合わせください。

【教室使用・機器貸与受付時間】 8:50～21:30

【その他のご質問・ご相談受付時間】 9:00～17:00

4. 講師控室

単位互換・京カレッジの講義の準備等を行う場所として、1階受付横に講師控室がございますのでご利用ください。(プラザ科目以外でのご利用はご遠慮ください)。

① 講義資料の印刷について

講義用資料の印刷は、科目開設大学で行っていただくことを原則としています。ただし、急遽、教材印刷等が必要な場合は講師控室の印刷機をご使用ください。

※講師控室での印刷は50枚程度までを目安とし、緊急でそれ以上の部数が必要な場合は別途ご相談ください。

② 出席カード等

財団独自の様式で出席カードをご用意しています。科目開設大学の様式を使用いただくことも可能です。その場合、直接お持ちいただくか、事前に財団事務局までお届けください。

③ 担当教員出勤簿

出勤簿は、科目開設大学より財団事務局に送付いただいたものを講師控室に設置いたします。

④ 講師用ロッカー

当日に限り利用可能なロッカーを設置しておりますのでご利用ください。

⑤ 講義用資料置き場

講義でご使用になられた（次週以降にご使用になる）教材・資料を保管することができます。郵送にて事前に資料を送付される場合は、送付状に科目名を明記していただくとともに、部数と到着予定日時を財団事務局まで事前にご連絡ください。

※ 【ご注意】 残部につきましては、年度末に処分いたします。

必要な教材の資料につきましては、講義が終了次第必ずお持ち帰りください。

Ⅱ 講義について

プラザ科目（キャンパスプラザ京都で実施する科目）の講義日程（学年暦・講義時間）は、各大学の講義日程とは異なりますので、ご注意ください。

1. 講義時間・学年暦

■前期・後期講義期間および夏期集中期間 共通

講時	時 間
1	9:00 ~ 10:30
2	10:50 ~ 12:20
3	12:40 ~ 14:10
4	14:30 ~ 16:00
5	16:20 ~ 17:50
6	18:10 ~ 19:40
7	20:00 ~ 21:30

※2013年度より、上記の講義時間となりました。

2021年度プラザ科目学年暦

4月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
			①	①	①	①
11	12	13	14	15	16	17
①		①	②	②	②	②
18	19	20	21	22	23	24
②		②	③	③	③	③
25	26	27	28	29	30	
③		③	④		④	

4/7 前期講義開始日
4/29 昭和の日

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						④
2	3	4	5	6	7	8
				④	⑤	⑤
9	10	11	12	13	14	15
④		④	⑤	⑤	⑥	⑥
16	17	18	19	20	21	22
⑤		⑤	⑥	⑥	⑦	⑦
23	24	25	26	27	28	29
⑥		⑥	⑦	⑦	⑧	⑧
30	31					
⑦						

5/3 憲法記念日、5/4 みどりの日
5/5 こどもの日

6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		⑦	⑧	⑧	⑨	⑨
6	7	8	9	10	11	12
⑧		⑧	⑨	⑨	⑩	⑩
13	14	15	16	17	18	19
⑨		⑨	⑩	⑩	⑪	⑪
20	21	22	23	24	25	26
⑩		⑩	⑪	⑪	⑫	⑫
27	28	29	30			
⑪		⑪	⑫			

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				⑫	⑬	⑬
4	5	6	7	8	9	10
⑫		⑫	⑬	⑬	⑭	⑭
11	12	13	14	15	16	17
⑬		⑬	⑭	⑭	⑮	⑮
18	19	20	21	22	23	24
⑭		⑭	⑮	⑮	補	補
25	26	27	28	29	30	31
⑮		⑮	補	補	試	試

7/30~8/5 前期試験期間(8/6 試験予備日)
7/19 海の日

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
試		試	試	試	予	
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8/6~9/19 集中講義期間
8/6 試験予備日
8/11 山の日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
			①	①		①
26	27	28	29	30		
①		②	②	①		

9/21 後期講義開始日
9/20 敬老の日
9/23 秋分の日

10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					②	②
3	4	5	6	7	8	9
②		③	③	②	③	③
10	11	12	13	14	15	16
③		④	④	③	④	④
17	18	19	20	21	22	23
④		⑤	⑤	④	⑤	⑤
24	25	26	27	28	29	30
⑤		⑥	⑥	⑤	⑥	⑥
31						

10/11 スポーツの日

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥		⑦	⑦	⑥	⑦	⑦
7	8	9	10	11	12	13
⑦		⑧	⑦	⑦	⑧	⑧
14	15	16	17	18	19	20
⑧		⑨	⑧	⑧	⑨	⑨
21	22	23	24	25	26	27
⑨		⑨	⑨	⑩	⑩	⑩
28	29	30				
⑩		⑩				

11/3 文化の日
11/23 勤労感謝の日

12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			⑩	⑩	⑩	⑩
5	6	7	8	9	10	11
⑪		⑪	⑪	⑪	⑫	⑫
12	13	14	15	16	17	18
⑫		⑫	⑫	⑫	⑬	⑬
19	20	21	22	23	24	25
⑬		⑬	⑬			
26	27	28	29	30	31	

12/23~1/4 講義休止期間

1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						⑭
2	3	4	5	6	7	8
			⑭	⑮	⑭	⑭
9	10	11	12	13	14	15
⑭		⑭	⑮	⑭	⑮	⑮
16	17	18	19	20	21	22
⑮		⑮	補	⑮	補	補
23	24	25	26	27	28	29
試	試	試	試	試	試	試
30	31					
予						

1/5 講義再開
1/23~1/29 後期試験期間
1/30 試験予備日
1/1 元日、1/10 成人の日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

2/11 建国記念の日
2/23 天皇誕生日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

3/21 春分の日

①~⑮の数字は前期・後期の各講義日15回を示す。「補」は補講日、「試」は試験日、「予」は試験予備日を表す。
 ・前期: 4月7日(水)~7月29日(木) 試験期間: 7月30日(金)~8月5日(木)
 ・後期: 9月21日(火)~1月22日(土) 試験期間: 1月23日(日)~1月29日(土)

2. 教室ならびに附属設備

(2020年2月～)

教室名	収容定員	教室内附属機器
第1講義室 (5F)	講義定員：289名 試験定員：170名 【席固定式】	150インチリア式液晶プロジェクター 2台 ブルーレイプレーヤー（再生のみ）(DVD/LD/CD) OHC PC接続 OHP用電動スクリーン ワイヤレスマイク 最大7波
第2講義室 (4F)	講義定員：289名 試験定員：170名 【席固定式】	150インチリア式液晶プロジェクター 2台 ブルーレイプレーヤー（再生のみ）(DVD/LD/CD) OHC PC接続 OHP用電動スクリーン ワイヤレスマイク 最大8波
第3講義室 (4F)	講義定員：170名 試験定員：100名 【席固定式】	150インチリア式液晶プロジェクター 2台 ブルーレイプレーヤー（再生のみ）(DVD/LD/CD) OHC PC接続 OHP用電動スクリーン ワイヤレスマイク 4波
第4講義室 (4F)	講義定員：90名 試験定員：60名 【席可動式】	120インチリア式液晶プロジェクター 1台 ブルーレイプレーヤー（再生のみ）(DVD/LD/CD) OHC PC接続 OHP用電動スクリーン ワイヤレスマイク 4波
第1演習室 (5F)	講義定員：30名 試験定員：20名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） スクリーン（可動式） ビデオ一体型DVDプレーヤー（再生のみ）
第2演習室 第3演習室 第4演習室 (5F)	[1室使用の場合] 講義定員：30名 試験定員：20名 【席可動式】 [2室を結合して使用] 講義定員：60名 試験定員：40名 【席可動式】 [3室を結合して使用] 講義定員：90名 試験定員：60名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） スクリーン（可動式） ビデオ一体型DVDプレーヤー（再生のみ） スピーカー付きマイクセット（ワイヤレスマイク2波）
第5演習室 (5F)	講義定員：30名 試験定員：20名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） スクリーン（可動式） ビデオ一体型DVDプレーヤー（再生のみ）
第5講習室 (6階)	講義定員：36名 試験定員：20名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） スクリーン（可動式） ビデオ一体型DVDプレーヤー（再生のみ）
ホール (2F)	講義定員：90名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） 120インチ降下式スクリーン ブルーレイプレーヤー（再生のみ）(DVD/LD/CD) PC接続 ワイヤレスマイク4波
第2会議室 第3会議室 (2F)	講義定員：各38名 【席可動式】	80インチビジョンプラズマディスプレイ ブルーレイプレーヤー（再生のみ）(DVD/LD/CD) PC接続 ワイヤレスマイク4波

※別途貸出：カセットデッキ（再生・録音）、ビデオデッキ、OHC

3. 貸出備品

本財団事務局では、以下の貸出機器を準備しています。なお、使用される場合は、事前に本財団事務局にご予約ください。

CD ラジカセ、OHC、講義用 PC (Windows10 office2016)、ミニスピーカー (PC 等用)

※OS が Macintosh の PC を持参される場合、D-sub15 ピンもしくは HDMI 変換アダプタをご準備ください。

※インターネットへの接続については、事前申し出が必要です。

4. 休講・補講、教室変更

① 休講・補講、教室変更の連絡

担当者のご都合や学内行事（創立記念日、学園祭など）により休講される場合は、事前に科目開設大学へご連絡ください。ご連絡いただきました休講・補講、教室変更の情報は、科目開設大学事務担当者により、単位互換・京カレッジ総合教務システム「e 京都ラーニング」のお知らせ機能に投稿され、登録されている各学生のメールアドレスに配信されます。また e 京都ラーニングトップページ「授業に関するお知らせ」(<https://el.consortium.or.jp/>) およびキャンパスプラザ京都の掲示板にて案内いたします。

② 特別警報、特別警報に位置づける警報、暴風警報の発令時や交通機関の不通時の授業・試験の休止基準 下記のとおり定めています。

1. 授業・試験の休止基準

1) 授業・試験当日において次の(1)、(2)、(3)いずれかに該当する場合、下記【判断基準および対応】で示した基準に沿って、授業や試験を休止・延期します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

(1) 警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

(2) 交通機関の運行休止

下記の①～⑤うち2つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

- ①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線）
- ②JR（京都駅発着の在来線）
- ③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）
- ④阪急電車（河原町～梅田間）
- ⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

(3) その他

上記の基準に関わらず授業・試験の実施について大学コンソーシアム京都・教育事業部長が困難であると判断した場合

【判断基準および対応】

○7：00以降、10：30までに警報発令または運行休止等が発生している場合：1、2講時の授業・試験を休止

○10：30以降、14：00までに警報発令または運行休止等が発生している場合：2・3・4講時の授業・試験を

休止

○14：00以降、警報発令または運行休止等が発生している場合：5講時以降の授業・試験を休止

*なお、授業または試験実施中に警報発令または運行休止等が発生した場合は、原則として実施中の授業・試験については休止しないものとします。

2) 授業の前日、または前々日において、授業・試験の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、授業・試験をあらかじめ休止します。

2. 授業休止または試験延期後の措置

授業休止による補講、試験休止による試験日の設定は、教員や科目提供大学との調整の上、e 京都ラーニングや大学コンソーシアム京都ウェブサイト(<http://www.consortium.or.jp/>)内「重要なお知らせ」にてお知らせします。

〈参考〉 特別警報に位置づける警報

- ・津 波：大津波警報
- ・火山噴火：噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域）
- ・地 震：緊急地震速報（震度6弱以上）

以上

③ 緊急時の連絡先

緊急時対応のため、科目担当教員の連絡先をご提供いただくことがありますのでご協力をお願いいたします。

④ プラザ科目における特別措置

プラザ科目において、担当教員が**講義開始時間から30分を過ぎても出講されない場合**、原則として「**自然休講**」として扱います。発生時には本財団事務局から科目開設大学事務担当者に連絡しますので、調整の上、補講等の必要な追加措置をお願いいたします。また、開始時間になっても出席者がなかった場合は、30分程度の経過を目安に担当教員の判断により休講としてください。

⑤ プラザ科目における補講の実施

プラザ科目について補講をご検討の場合は、事前に科目開設大学の事務担当者を通じ、本財団事務局までご相談ください。ご要望のあった日時にて教室の空き状況等を確認し、調整結果については科目開設大学の事務担当者を通じ、お知らせいたします。

5. 授業の運営について

キャンパスプラザ京都は京都市の施設につき、授業においても大学コンソーシアム京都が京都市に施設使用料金を支払って運営しております。以下のとおり、京都市が設定しているルールに沿って、授業運営のご協力を願います。

① 入室時間

入室については**原則 10分前**になります。ただし、当日に予約している教室の前のコマに他の団体が施設を利用していない場合は**30分前**に入室することが可能です。

② 退室時間

授業終了 10 分後までに退室し、機材等を受付に返却ください。時間を超えますと追加使用料が発生します。

授業後の相談やレポート・アンケートの時間を考慮した授業運営をお願いいたします。相談等の場合については、教室外の談話スペースなどをご利用ください。

③ 授業内での使用機材

授業で使用する機材・教室運営等については事前に科目開設大学から伺っておりますが、急遽機材の追加や実験等の通常とは異なる授業運営をする場合は、1階財団事務局までご相談ください。

④ 教室使用における予定変更

受講者数や利便性を考慮して、教室の使用予定の変更を希望される場合は速やかに科目開設大学事務局を通じ、財団事務局にご連絡ください。また、担当者のご都合や学内行事などにより休講される場合も事前にご連絡ください。

⑤ プラザ科目の受講者名簿

プラザ科目の受講者名簿は、科目開設大学で作成することになっています（財団事務局では、科目開設大学の学生データを保持していないため、名簿の作成はできません）。必要な場合は科目開設大学にお問い合わせください。

⑥ 授業運営のサポート

授業の運営（資料の配布や教室レイアウトの変更）等で授業時にサポートが必要な場合は、科目開設大学からスタッフ（事務職員、TA等）を派遣してください。

また、レジュメや試験用紙等の印刷物は各大学で事前に準備の上、ご持参または郵送にてお送りください。なお、郵送いただく場合は事前連絡をお願いします。

Ⅲ 試験について

1. 試験期間

プラザ科目の試験期間は、以下のとおりです。なお、所属大学と異なる場合がございますのでご注意ください。

前 期：2021年7月30日（金）～8月5日（木）

後 期：2022年1月23日（日）～1月29日（土）

夏期集中：なし（原則として講義最終日に実施してください。）

定期試験は、原則として開講時間と同一の時間帯で行ってください。（受講者数が多数の場合、複数の教室に分かれて試験を実施する場合があります）

2. 試験実施の問合せおよび試験要領の発表

試験実施の有無およびその概要（試験日時、持込許可物等）につきましては、科目開設大学より教員に問合せ、財団事務局にて集約のうえ、「試験要領」として財団ホームページ、各大学およびキャンパスプラザ京都掲示板にて発表いたします。

3. 試験問題の印刷

試験問題の印刷は、科目開設大学が実施することとなっておりますので、科目開設大学にご依頼ください。

4. 試験監督および試験実施要領

試験監督は、科目担当教員が代表者として務めてください。また、補助監督が必要な場合は、科目開設大学にて派遣していただき、不正が起こらない環境を整えてください。

なお、財団のスタッフが補助監督を務めることはできませんのでご了承ください。

5. レポートの提出

レポート試験の提出期間・場所は、原則、担当者でご判断いただいています。基本的には講義内、各大学での受付をご検討ください。なお、プラザ科目において、キャンパスプラザ京都へのレポート提出を希望される場合は下記のとおりとします。また、キャンパスプラザ京都へのレポート提出について、当初財団事務局までお申し出いただいた提出方法等の変更は受付業務に支障をきたす場合があるため認められません。

キャンパスプラザ京都へのレポート提出（プラザ科目のみ）

基本的には授業内、各大学でのレポート提出を推奨しています。その上で財団へのレポート提出を希望される場合は、次のとおりです。

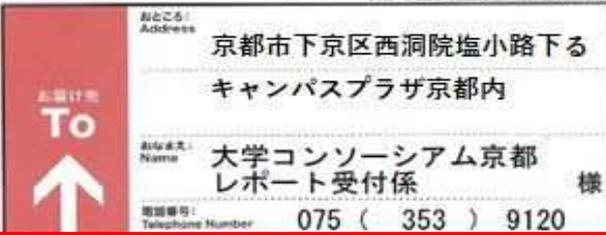
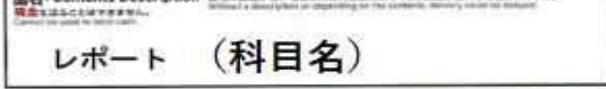
①キャンパスプラザ京都へのレポート提出方法

提出方法は以下の2種類から**いずれか1つ**を科目担当教員が選択してください。

提出方法	手続き	提出場所	レポート締切
財団宛	レターパックライト（370円）にて送付	日本国内郵便局	最終締切日 16:30 まで ※時間は追跡します。
レポート回収BOX	該当科目のレポート回収BOXに投函	キャンパスプラザ京都1階受付前	9:00~16:30 (月曜日は休館日)

※いずれも所定のレポート表紙を添付してください。

【郵便局留の場合】

6 0 0 8 2 1 6	財団の郵便番号を記載
 <p>お住み先: Address 京都市下京区西洞院塩小路下る キャンパスプラザ京都内</p> <p>お名前: Name 大学コンソーシアム京都 レポート受付係 様</p> <p>電話番号: Telephone Number 075 (353) 9120</p>	大学コンソーシアム京都の住所等を記載
 <p>お住み先: Address</p> <p>差出人の住所・氏名・電話番号を記入</p> <p>お名前: Name</p> <p>電話番号: Telephone Number</p>	差出人の住所・氏名電話番号を記載
 <p>品名: Contents Description レポート (科目名)</p>	科目名を記載

② レポート受付期間

前 期	2021年 7月30日(金)～8月5日(木)
集中講義	2021年 8月6日(金)～9月19日(日) ※うち最長6日間
後 期	2022年 1月23日(日)～1月29日(土)

※本財団職員の出勤体制上、締切最終日の設定はなるべく日曜日を外していただきますようお願いします。

③レポート表紙の添付

キャンパスプラザ京都に提出されるレポートには、期間内にキャンパスプラザ京都1階で配布している所定の表紙(青色)を添付する必要があります。科目開設大学におかれましては、学生・京カレッジ受講生へ周知していただきますようお願いいたします。

6. レポートの整理、送付

科目開設大学の事務担当者に送付いたします。

7. 追試験ならびに採点

採点ならびに追試験は、科目開設大学の基準に従い、担当窓口にご提出ください。

なお、各大学の単位認定スケジュールの関係上、単位互換の採点のスケジュールは科目開設大学の事務担当者までご確認の上、締め切りを厳守いただきますようお願いいたします。

IV その他

1. キャンパスプラザ京都での講義に伴う諸手当、交通費等

プラザ科目をご担当いただいたことに伴う諸手当や交通費につきましては、科目開設大学にお問合わせください。なお、キャンパスプラザ京都へ自家用車でお越しになった場合、駐車場使用料の免除・割引制度はありませんので、あらかじめご了承ください。

2. シラバスの公開

単位互換及び京カレッジ科目のシラバスは、2021年3月中旬よりWeb上(e 京都ラーニング)で公開いたします。URLは以下のとおりです。

<https://el.consortium.or.jp/>

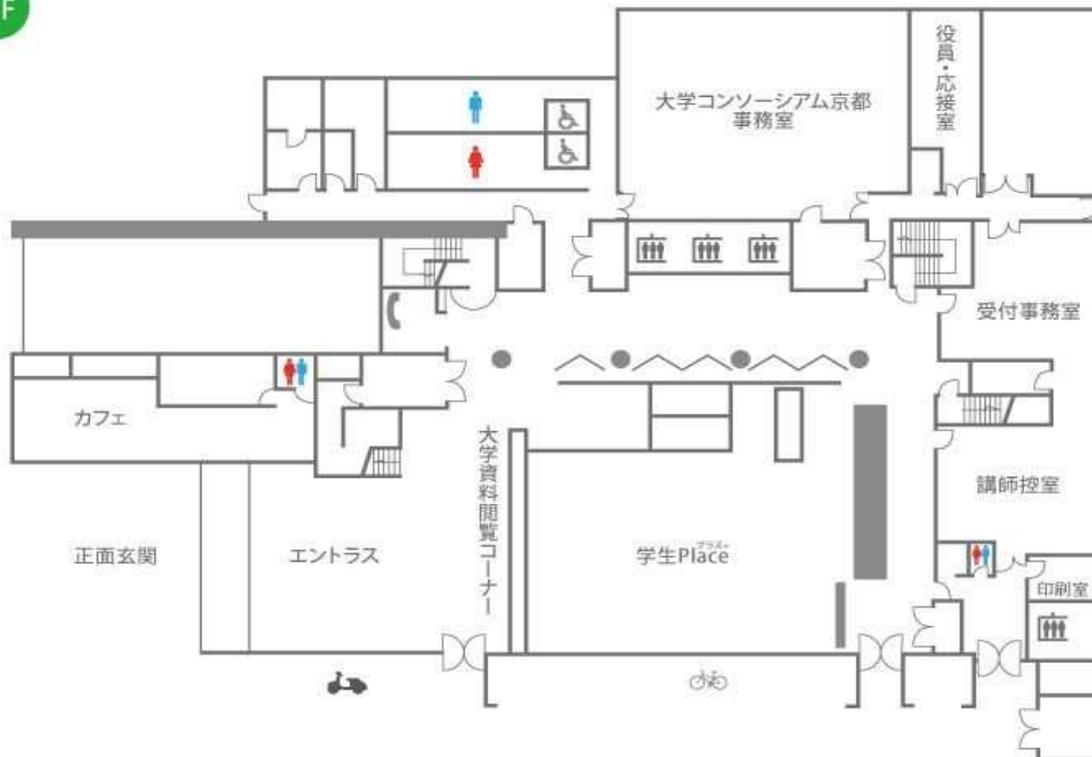
3. アンケートの実施について

単位互換事業の満足度向上を目的としたWEBアンケートを各授業期間で実施します。WEBアンケートは財団から受講生へメール等により案内しますが、周知のご協力をお願いする場合がございます。

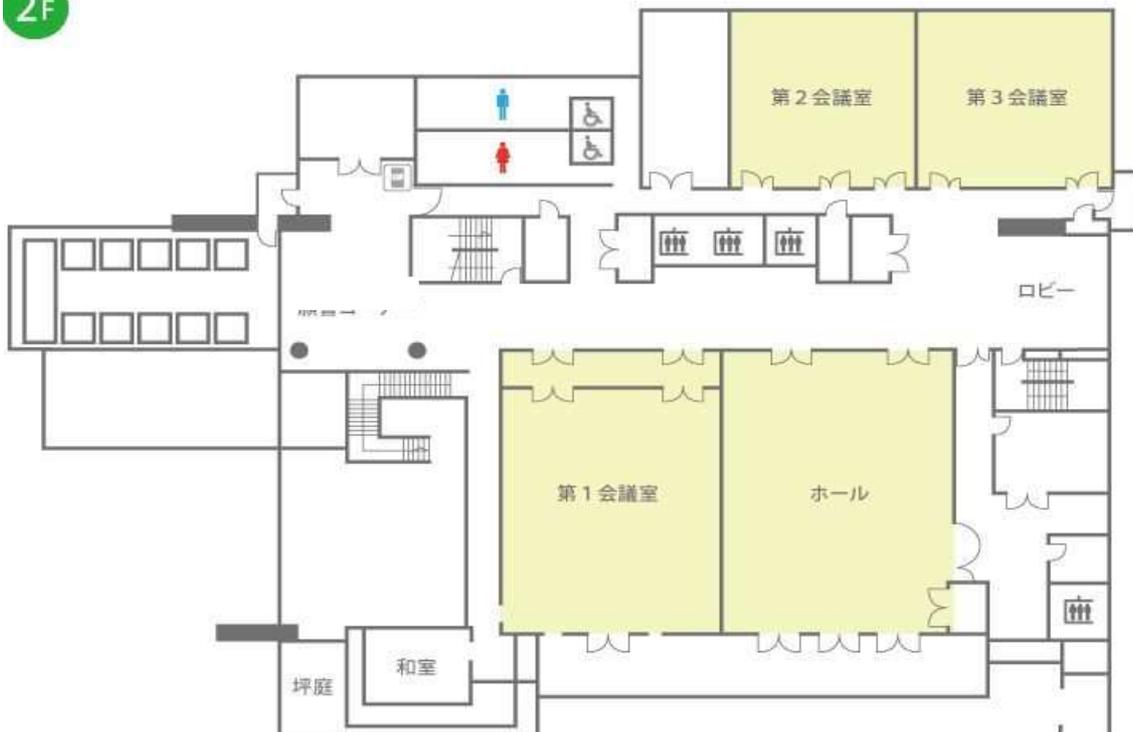
アンケートの結果は、大学コンソーシアム京都教職員用ファイル管理ページ上に掲載させていただきます。

V 各階案内図

1F



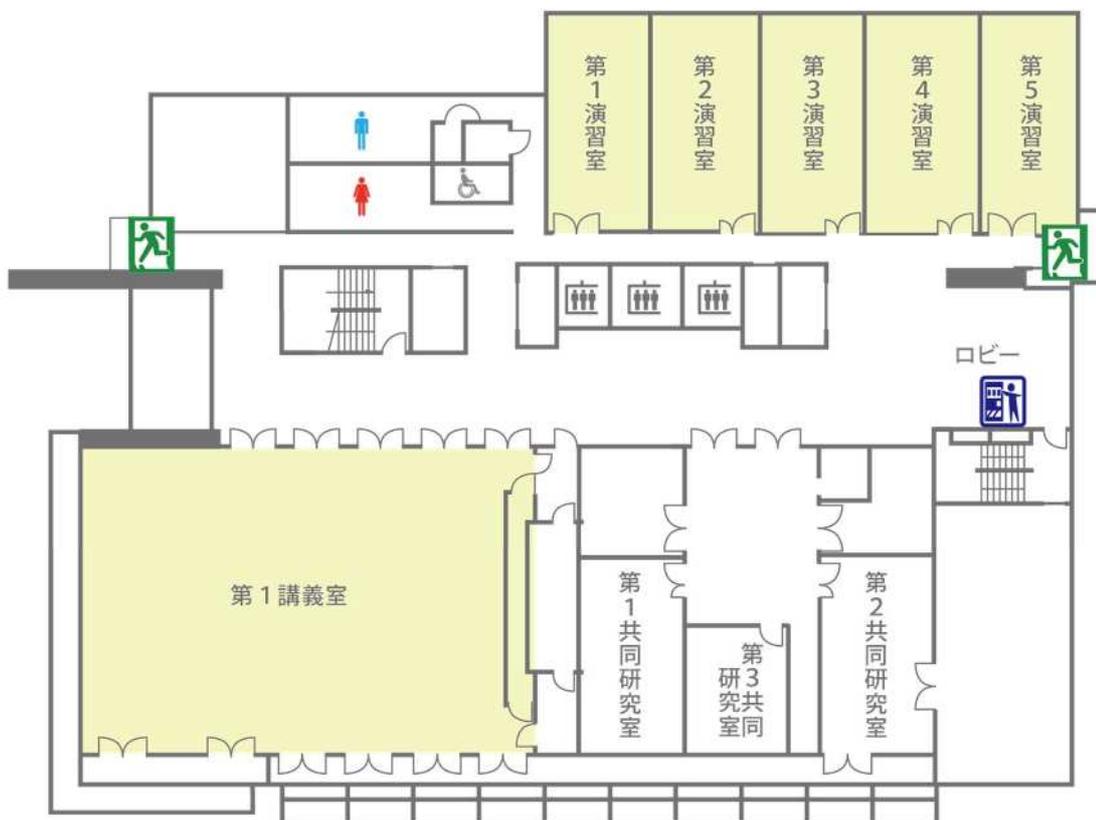
2F



4F



5F



2021 年度

単位互換・京^{みやこ}カレッジ

事務担当者ガイド



公益 大学コンソーシアム京都
財団 法人 The Consortium of Universities in Kyoto

目次

はじめに／年間スケジュール	4
I 単位互換に関する事項	5
1. 単位互換について	
2. 包括協定等の締結について	
3. 学内規程の整備について	
4. 単位互換科目について	
5. 単位互換にかかる経費について	
6. 出願・履修手続きについて	
7. 試験・レポートについて	
8. 成績評価について	
9. 補助金制度について	
10. 単位互換授業アンケートの実施について	
II 京カレッジに関する事項	12
1. 京カレッジについて	
2. 京カレッジの科目について	
3. 京カレッジにかかる経費について	
4. 出願・履修手続きについて	
5. 試験・レポートについて	
6. 成績評価について	
7. 補助金制度について	
8. 受講アンケートの実施について	
III 単位互換・京カレッジに共通する事項	17
1. シラバスの入力について	
2. 連絡方法について	
3. 授業の運営について	
4. 個人情報の取り扱いについて	
5. その他の留意事項	
IV キャンパスプラザ京都で実施する科目について	19
1. 学年暦について	
2. 講義時間について	
3. 教室調整について	
4. 出講案内について	
5. 授業の運営について	
6. 定期試験について	
7. レポート試験について	
8. キャンパスプラザ京都で実施する授業・試験・講座の休止・補講の取り扱いについて	
9. キャンパスプラザ京都での教科書販売について	

はじめに

本ガイドは、「単位互換」及び「京カレッジ」の事務運営を円滑に処理するために必要な共通する実務内容や取り扱い内容を定めたものです。本ガイドに記載のない事項については、公益財団法人大学コンソーシアム京都（以下「財団」という）と単位互換に参加する大学・短期大学と適宜協議の上、調整を行います。

年間スケジュール

単位互換・京カレッジの主な年間スケジュールは、以下のとおりです。なお、都合により日程が前後する場合がありますが、その際はメールリストを通じてお知らせします。

時期	単位互換	京カレッジ
3月	<ul style="list-style-type: none"> シラバス公開 	<ul style="list-style-type: none"> 募集ガイド発行・配布 前期出願受付（郵送・持参・Web）
4月	<ul style="list-style-type: none"> 前期出願受付（3月下旬～4月中旬） 前期出願確定作業（学生所属大学） 出願者選考（科目開設大学） e 京都ラーニングシステムに成績番号付与（科目開設大学） 前期講義開始 単位互換履修生証発行（必要な科目開設大学のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> 前期出願票等送付（財団→科目開設大学） 出願者選考（科目開設大学） e 京都ラーニングシステムに成績番号付与（科目開設大学） 前期講義開始 選考結果通知（科目開設大学→出願者） 履修手続完了報告（科目開設大学→財団）（～5月中旬）
5月		
6月		<ul style="list-style-type: none"> 京カレッジ会員証発行（財団→出願者）
7月	<ul style="list-style-type: none"> 第1回事務担当者会議 プラザ推奨科目/京都世界遺産 PBL 科目/京都ミュージアム PBL 科目募集開始（～9月） 前期試験期間 後期募集科目提供依頼（財団→科目開設大学） 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回事務担当者会議 京カレッジ市民教養講座募集開始（～10月） 前期試験期間 後期募集科目提供依頼（財団→科目開設大学） 後期募集科目発表（財団）
8月	<ul style="list-style-type: none"> 夏期集中講義開始 学生所属大学に成績通知（科目開設大学→学生所属大学） 	<ul style="list-style-type: none"> 夏期集中講義開始 後期出願受付（郵送・持参）
9月	<ul style="list-style-type: none"> 後期出願受付（9月上旬～9月下旬） 後期出願確定作業（学生所属大学） e 京都ラーニングシステムに成績番号付与（科目開設大学） 後期講義開始 単位互換履修生証発行（必要な科目開設大学のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> 後期出願票等送付（財団→科目開設大学） 出願者選考（科目開設大学） e 京都ラーニングシステムに成績番号付与（科目開設大学） 選考結果通知（科目開設大学→出願者） 後期講義開始
10月	<ul style="list-style-type: none"> プラザ推奨科目/京都世界遺産 PBL 科目/京都ミュージアム PBL 科目採択審査 	<ul style="list-style-type: none"> 履修手続完了報告（科目開設大学→財団）（～10月中旬） 京カレッジ会員証発行（財団→出願者）
11月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回事務担当者会議 プラザ推奨科目（新規）、京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目発表 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回事務担当者会議 京カレッジ市民教養講座採択発表
12月	<ul style="list-style-type: none"> 単位互換科目シラバス入力開始（～1月） 科目運営補助金確認、支給 	<ul style="list-style-type: none"> 京カレッジ科目シラバス入力開始（～1月）
1月	<ul style="list-style-type: none"> 後期試験期間 シラバス入力締切 	<ul style="list-style-type: none"> 後期試験期間 シラバス入力締切
2月	<ul style="list-style-type: none"> シラバス校正 学生所属大学に成績通知（科目開設大学→学生所属大学） 	<ul style="list-style-type: none"> シラバス校正・募集ガイド校正

I 単位互換に関する事項

1. 単位互換について

大学設置基準第 28 条、短期大学設置基準第 14 条に基づき、教育上有益と認めるときは、当該大学における授業科目の履修とみなし、大学の定めるところにより単位を与えることができる制度です。財団では、前身の「京都・大学センター」が発足した 1994 年から本制度を運用しています。

2. 包括協定等の締結について

財団の単位互換に新規で参加する場合、または脱退があった場合には、次の協定書等を単位互換に参加する加盟校間で締結する必要があります。

- ① 「単位互換に関する包括協定書」
- ② 「単位互換に関する包括協定書についての覚書」
- ③ 「科目等履修生受入れについての申し合わせ」

(包括協定書等の原本は財団にて保管し、副書を各協定参加大学へ配付します)。

なお、条文、附則、加盟校の名称等に変更がない場合は、直近に作成した協定書・覚書・申し合わせを有効とします。

3. 学内規程の整備について

包括協定を締結し、単位互換に参加する大学・短期大学（以下「加盟校」という。）は、包括協定に即して学則上の規程整備（履修可能な単位互換科目数・単位数、卒業に必要な単位認定の可否、単位の認定方法等）を行う必要があります。

なお、参加初年度の大学においては、本事業に関わる学則及びその他関連する学内運用規程のコピー（1部）を財団までご提出ください。

○履修可能な単位数・科目数の設定

各大学（学部）において、登録・履修できる科目数・単位数を定めてください。

(大学設置基準第 28 条、短期大学設置基準第 14 条で定める上限の範囲内)

○卒業要件単位の認定

各大学（学部）において、単位互換事業で修得した単位を卒業に必要な単位数に認定するかを定めてください。

4. 単位互換科目について

(1) 単位互換科目の呼称

単位互換科目においては、次のような呼称があります。

呼称	内容
プラザ・オンライン科目	下記いずれかに該当する科目。所定の補助金の対象です。 ・主にキャンパスプラザ京都における対面形式のみで運営する科目 ・キャンパスプラザ京都における対面形式と特定の会場を使用しないオンライン形式を組み合わせで運営する科目 ・特定の会場を使用しないオンライン形式のみで運営する科目
プラザ推奨科目	財団が特に特色があると認め、所定の補助金対象となる科目（開設には審査があります。詳細は「プラザ推奨科目に関するガイドライン」をご参照ください。）
オンキャンパス科目	科目を開設する各大学・短期大学で実施する科目

(2) 単位互換科目提供の基本方針

単位互換の科目提供の基本方針は、次のとおり定めています。

＜単位互換科目の提供方針＞

- ①科目を提供する大学・短期大学（部）の学則に定める科目であること。
- ②科目開設大学において特色があると判断する科目であること。
- ③オンライン形式の採用にあたっては、オンラインの持つ特徴を活かした展開を計画しシラバスに記載できること。
- ④科目担当教員は、原則、科目開設大学の専任教員であること。ただし、名誉教授や客員教授、招聘教授、その他その分野において業績が認められる者についてはこの限りではない。
- ⑤チェーンレクチャー科目の場合は科目開設大学の専任教員がコーディネーターを務めること。
- ⑥連続して3年の間、単位互換履修生の出願が0名だった場合は科目の提供を見直すこと。
- ⑦同一大学において、提供する科目名や講義概要（シラバス）が同じものについては1科目に選択して提供すること。
- ⑧上記以外で、提供科目に関して何らかの課題が生じた場合は財団と科目開設大学・短期大学（部）が協議する。

(3) 単位互換科目のテーマ区分

単位互換科目のテーマ区分は次のとおりです。シラバスの入力の際には、科目の内容に応じて、該当するテーマ区分を選択してください。

テーマ区部	内 容
A 京（みやこ）を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
B 歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史感を養う科目群
C 文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
D ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現を身に付ける学ぶ科目群
E 教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
F 生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群
G 自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群
H 現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多角な観点から現代社会を観察する科目群
I 国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群

※上記のテーマ区分は、京カレッジの「大学講義」の区分と同様のものです。

(4) その他の留意事項

提供科目は、前期・後期科目とも、年度開始前のシラバス入力をもって確定となります。

5. 単位互換にかかる経費について

(1) 授業料等

「覚書：8）授業料等の扱い」に基づき、単位互換履修生の選考料及び授業料等は、講義科目に

については無料とし、演習・実習科目については、科目開設大学が定める額を学生が直接納金することとします。

(2) 講師料（謝金）・交通費

科目開設大学でご負担ください。

(3) 会場費

「オンキャンパス科目」については科目開設大学でご負担ください。

「プラザ・オンライン科目」については、キャンパスプラザ京都使用料（教室、備品等）を財団で負担いたします。ただし、次の場合は科目開設大学に費用をご負担いただきます。

- ①授業時間帯以外での準備や後片付け、あるいは控室等を目的とした使用
- ②キャンパスプラザ京都以外で実習等を行う場合の施設利用
- ③その他、授業に関する使用であると財団において判断できない場合

(4) 広報

単位互換履修生の募集に関するポスター、パンフレット、ホームページ等の広報物は財団が費用を負担の上、作成します。広報物の配布やポスターの掲示等ご協力をお願いします。

6. 出願・履修手続きについて

(1) 出願資格

単位互換に関する包括協定書を締結している大学・短期大学の所属学生が対象となります。

なお、上述の財団加盟校に所属する国内交換学生・外国人留学生は、所属する大学が履修を許可した場合、単位互換制度を利用することができます。科目開設大学は、正規学生の出願者と同様に手続きをしてください。

(2) 出願受付

単位互換の出願受付は、学生が所属する大学の担当窓口で行います。受付期間はスケジュールで示す期間内に各大学で設定してください。出願受付の期間は、前期（3月下旬～4月中旬）と後期（9月）の2回を設けます。

(3) 出願票の提出

単位互換への出願は、単位互換・京カレッジの共通教務システム「e 京都ラーニング」の出願票作成機能を利用した出願票にて行います。

なお、立命館大学、龍谷大学、早稲田大学は独自の出願システムを採用しているため、出願者が確定次第、そのデータをエクセルファイルにて財団へ提出してください。

(4) 出願・履修に関する注意点

出願方法や履修手続き（制限単位や単位認定方針等）については、各大学において履修要項や履修説明会等で学生に周知してください。シラバスは e 京都ラーニング上で閲覧することができます。また、特に次のことについては学生へ注意を促してください。

①卒業要件に対する配慮

科目開設大学での選考の結果、履修が許可されない場合があります。単位互換科目の履修可否の結果が卒業要件に直接影響しないよう、履修計画をご指導ください。

②履修取りやめの指導

例年、出願後に履修辞退を申し出る学生や、一度も講義に出席しない受講放棄の学生が報告さ

れています。履修不可となった学生がいることや、受け入れ側の大学にも選考に負担がかかっていることを踏まえ、原則、履修許可後の単位互換科目の受講辞退は認めません。学内で実施される履修ガイダンス等において、出願は慎重に行い、履修許可された科目は必ず受講するようご指導ください。

③学生による出願票提出後の履修登録の変更について

学生は、大学窓口へ出願票提出後も、出願確定処理されるまでは e 京都ラーニングにおいて履修登録を変更できる仕様となっています。もし e 京都ラーニングで履修登録変更を行った場合、提出済みの出願票内容は無効となります（出願 No、出願内容ともに e 京都ラーニング内の情報が更新されるためです。）原則として、出願票提出後に履修登録の変更は行わないこと、もし期日内でやむなく変更する場合は再度出願票を提出するよう、学生へご指導ください。

(5) 出願処理スケジュール

単位互換の出願処理スケジュールは次のとおりです。各大学共通の作業日程となりますので、処理の期限日時は厳守願います。

日程	作業概要	期限日時(厳守)
前期 (4月) 出願登録処理	e 京都ラーニング上でシラバス公開	3月上旬
	出願受付(各大学は3/18~4/9 正午までの間で受付期間を設定)	
	① 学生所属大学により出願確定処理を行う ※E票の提出:立命館大学、龍谷大学、早稲田大学は 出願処理データを財団へ届けてください。	4/9(金) 17:00 E票:4/9(金) 15:00
	② 各大学ならびに財団の出願確定処理後から科目開設大学にデータが随時表示される。 ※データはe 京都ラーニング上に表示されます	4/10(土) ~
	③ 科目開設大学において出願者の選考 科目開設大学は履修可否ならびに成績番号を入力(選考結果発表) ※データはe 京都ラーニングに入力してください	4/15(木) 17:00まで
	履修可否結果は自動的にメールで学生に通知	4/16(金) 5:00以降
後期 (9月) 出願登録処理	出願受付(各大学は9/3~9/17 正午までの間で受付期間を設定)	
	① 学生所属大学により出願確定処理を行う ※E票の提出:立命館大学、龍谷大学、早稲田大学は 出願処理データを財団へ届けてください。	9/17(金) 17:00 E票:9/17(金) 15:00
	② 各大学ならびに財団の出願確定処理後から科目開設大学にデータが随時表示される。 ※データはe 京都ラーニング上に表示されます	9/18(土) ~
	③ 科目開設大学において出願者の選考 科目開設大学は履修可否ならびに成績番号を入力(選考結果発表) ※データはe 京都ラーニングに入力してください	9/23(木) 17:00まで
	履修可否結果は自動的にメールで学生に通知	9/24(金) 5:00以降

(6) 受け入れに関する注意事項

①仮受講について

初回授業日と学生への履修許可の通知までには、タイムラグが生じます。そのため、4月上旬から開講される科目につきましては、第1回の講義からの仮受講ができるようご配慮ください。
その際、シラバスに詳細な教室情報等の記載がない場合は e 京都ラーニングの「お知らせ機

能」等による掲示にて周知してください。(学生所属大学の出願確定処理後から学生への個別のメールは送信されます)

②統計上（成績処理対象としての）出願者数・履修許可者数について

単位互換事業を円滑に運営するため、原則として所属大学が出願を許可した時点で出願手続を完了したものとみなし、以後 各登録期間において出願確定処理を行った統計を「出願者数」とします。

また、科目開設大学が履修を許可した時点をもって履修許可者が確定したものとみなし、以後の統計では各登録期間において履修可否処理にて履修を認められた学生数を「履修許可者数」とします。

以上の理由から、履修許可されたにもかかわらず最終的に科目開設大学における手続を行わなかった出願者についても、e 京都ラーニング内では履修許可状態のまま変更しないでください。必要に応じて、学内の運用において「辞退」・「未手続」などとして取り扱ってください。

なお、出願・履修状況の統計は、事務担当者会議等にて報告します。

③単位互換履修生証発行について

単位互換履修生は、学生が所属する大学の学生証を利用することを原則としますが、必要に応じて、大学コンソーシアム京都の「単位互換履修生証」を発行することができます。

発行にあたっては、財団 Web ページにある「加盟校教職員用ファイル管理ページ(※)」に単位互換履修生証作成ツールをアップしていますのでご活用ください。また、単位互換履修生証の台紙が必要な場合は財団までご連絡ください。

※同管理ページの詳細は本ガイド「Ⅲ 単位互換・京カレッジに共通する事項」内に記載しています。

④履修許可後における手続きについて

履修許可後に学生が科目開設大学で行う個々の履修手続きは、学生の負担軽減、手続きの簡素化のため、身分証発行に用いる写真など必要最小限のものにしてください。

なお、各大学における履修手続きの方法等を学生に周知するため、財団で集約した上で、e 京都ラーニングに掲載します。必要に応じて、科目開設大学からも e 京都ラーニングの「お知らせ機能」を利用して受講生に周知してください。

⑤単位互換履修科目と学生所属大学履修科目における定期試験の重複について

単位互換履修科目と学生所属大学履修科目における定期試験が重複した場合、原則として、単位互換科目の試験を優先し、学生所属大学での試験に関しては学内規程に基づく追試験、再試験等の措置を講じてください。

なお、前述の理由以外による単位互換履修生からの追試験、再試験等への問い合わせについては、科目開設大学が学内規程に基づいてご対応ください。

また、科目開設大学が単位互換履修生に追試験または再試験を実施する場合は、学生所属大学へその旨ご報告ください。

⑥受講・受験証明書の発行について

単位互換科目受講(試験の受験)の証明書を求められた場合は、科目開設大学は「単位互換科目(京カレッジ科目) 受講・受験証明書」を発行してください。証明書の様式は 27 ページをご参照ください。

なお、キャンパスプラザ京都で実施する科目については、財団でも発行する場合があります。

⑦保険の加入

単位互換履修生のキャンパス内の事故等に備え、保険(例:「学生教育研究災害傷害保険」)に加入されることをおすすめします。

なお、海外実習を含め、実習を伴う科目については、履修生への保険加入を義務づけるようお願いいたします。

7. 試験・レポートについて

(1) 試験・レポート情報の集約と告知について

定期試験及びレポート試験の実施の有無や、実施日程、レポート論題等の情報については、前期科目、夏期集中科目は6月中旬頃、後期科目は11月下旬頃に財団から科目開設大学に集約を依頼します。ここで集約した情報は、プラザ科目の学年暦における試験期間2週間前から、キャンパスプラザ京都1階の掲示板及び財団ホームページまたはe京都ラーニングに掲載します。

なお、単位互換履修生に対して試験に関する実施要項等のお知らせがあれば、財団のホームページまたはe京都ラーニングに掲載しますので、データ等でご提供ください。

(2) キャンパスプラザ京都で実施する科目の試験・レポートについて

キャンパスプラザ京都で実施する科目の試験・レポートの実施については「IV キャンパスプラザ京都で実施する科目について」の章(P19～)でご確認ください。

(3) オンキャンパス科目の試験・レポートについて

「オンキャンパス科目」の試験及びレポート試験実施における各種注意事項、手続きなどについては、科目開設大学の規程を適用もしくは準用してください。

8. 成績評価について

(1) 成績評価・単位認定

①成績評価・単位認定方法

科目開設大学は、単位互換履修生の成績評価を行い、単位認定は学生の所属大学が行います。科目開設大学は、100点満点の素点で成績評価を行い、学長名で「成績報告書」(または「単位修得報告書」)等を学生所属大学へ提出してください(各大学のご判断でCD-ROM等の電子媒体での提供を追加することも可能ですが、個人情報保護の観点から、メール等によるデータ送信はおやめください)。

②成績評価基準

評価の方法については、シラバスにテスト、レポート、出席等をパーセントで表すなど成績評価基準を明示いただき、それに応じて成績評価をしてください。

③成績通知の対象者

成績通知の対象者は、単位互換制度を利用し、科目開設大学が「履修許可者」として認めた単位互換履修生です。履修許可後の辞退者、科目開設大学での別途履修手続未了者、受講放棄者等についても成績通知の対象となります。

(2) 学生への成績通知

学生所属大学は、科目開設大学から報告された成績を、自大学の成績評価として読み替え、所属大学の成績発表時に学生へ通知してください。

なお、成績に関する質問・疑義が生じた場合は、学生の所属大学と科目開設大学とで協議を行ってください。

(3) 卒業判定への配慮

単位互換科目については、学生所属大学における学則等、学内規程に定められた制限単位数を上限として、卒業要件単位として認定・算入することとなります。学生所属大学の卒業判定を勘案し、以下の期間内に成績通知を行ってください。

前期科目の成績は【2021年8月23日(月)】までに、通年・集中・後期科目の成績は【2022年2月7日(月)】までに学生の所属大学へ通知してください。

※上記日程で都合が悪い場合は科目開設大学・所属大学間で調整をお願いします。

9. 補助金制度について

「プラザ・オンライン科目」「プラザ推奨科目」には所定の補助金が支給されます。

詳細については、『「プラザ・オンライン科目」「プラザ推奨科目」「京カレッジ市民教養講座開設補助費」ガイド』をご参照ください。

10. 単位互換授業アンケートの実施について

単位互換科目受講者に対し、単位互換事業の今後のあり方ならびに次年度以降の講義改善を目的としたWEBアンケートを実施しています(※紙による実施は廃止しました)。学生への周知について財団からご依頼することがありますので、ご協力をお願いいたします。

なお、アンケートの集計結果等については別途ご報告します。

Ⅱ 京カレッジに関する事項

1. 京カレッジについて

京都市と財団では、高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応えるため、単位互換科目として提供される大学講義を提供していた「シティカレッジ」（1997年度開設）を改組し、2007年度より大学講義以外の公開講座も提供する生涯学習事業「京（みやこ）カレッジ」を実施しています。

出願者は60代を中心としたシニア層が多い傾向にあり、この世代の興味関心ある科目や講座を提供いただけると出願率の増加が想定されます。

2. 京カレッジの科目について

(1) 京カレッジ科目の呼称

京カレッジにおいては、次のような呼称があります。

区 分	内 容
大学講義	大学の正課授業として行われる講義
市民教養講座	広く一般市民に向けて行われる公開講座
プラザ・オンライン科目	下記いずれかに該当する科目または講座。所定の補助金の対象です。 ・主にキャンパスプラザ京都における対面形式のみで運営する科目 ・キャンパスプラザ京都における対面形式と特定の会場を使用しないオンライン形式を組み合わせて運営する科目 ・特定の会場を使用しないオンライン形式のみで運営する科目
オンキャンパス科目	科目を開設する各大学・短期大学で開講する科目または講座

(2) 京カレッジのテーマ区分

京カレッジのテーマ区分は次のとおりです。シラバスの入力の際には、科目の内容に応じて、該当するテーマ区分を選択してください。

なお、市民教養講座の「K 京都力養成コース」「L 教養力養成コース」は公募にて募集し、採択を受けた講座のみ開講できます。

	テーマ区部	内 容
大 学 講 義	A 京（みやこ）を学ぶ	京の歴史、伝統文化、産業、地域、観光など京都を多様な角度から学ぶ科目群
	B 歴史を学ぶ	日本史、世界史、考古学、地史学、民俗学、郷土史、古文書など歴史感を養う科目群
	C 文化・芸術を学ぶ	文学、古典、音楽、美術、デザイン、絵画、工芸、芸能など文化・芸術に親しむ科目群
	D ことば・言語を学ぶ	語学、言語学、外国語、表現、演劇、コミュニケーション法など表現を身に付ける学ぶ科目群
	E 教育・人生観を学ぶ	心理、教育、宗教学、哲学、倫理、思想など人の生き方、育て方を考える科目群
	F 生活・健康・スポーツを学ぶ	暮らし、福祉、看護、健康、スポーツ、生命医学などライフスタイルにかかわる知識を得る科目群
	G 自然・環境を学ぶ	環境学、地理学、農学、天文学、物理学、生物学、生態学など自然界に触れる科目群

	H 現代社会を学ぶ	法学、経済学、経営学、政治学、社会学、科学技術、情報学など多角な観点から現代社会を観察する科目群
	I 国際関係を学ぶ	法、政治、教育、福祉、比較文化、海外セミナーなどを通じて世界情勢を知り、グローバルな視点を養う科目群
市民 教養 講座	J 市民教養講座	大学が開講する公開講座やシンポジウムを通して、幅広い分野における教養を高めるプログラム
	K 市民教養講座 京都力養成 コース	歴史・文化・芸術等の宝庫である京都をフィールドに、蓄積された研究から京都をより深く学べる特色あるプログラム
	L 市民教養講座 教養力養成 コース	京カレッジ独自に提供される文化力・地域力（地域人材の育成）の向上を目的としたプログラム

※大学講義（A～I）のテーマ区分は、単位互換のテーマ区分と同一のものです。

（3）京カレッジの受講形態

京カレッジには以下の受講形態があります。市民教養講座の受講形態は必然的に「特別受講生」となりますが、大学講義の場合は「科目等履修生」か「聴講生」、またその両方で受け入れるのか、受講形態が分かるようシラバス入力時に選択してください。

科目等履修生	大学の講義（テーマ区分A～I）を受講し、単位取得を目的とする受講生
聴講生	大学の講義（テーマ区分A～I）を受講するが、単位取得を目的としない受講生
特別受講生	市民教養講座（テーマ区分がJ・K・L）の受講生

（4）その他の留意事項

提供科目は、前期・後期科目とも、年度開始前のシラバス入力をもって確定となります。

3. 京カレッジにかかる経費について

（1）選考料・授業料等

科目等履修生及び聴講生の選考料・授業料等については、科目開設大学が設定し、募集ガイド（シラバス等）に必ず明記してください。選考料等を徴収する場合、納入方法等は科目開設大学から出願者へ文書等で通知するなどして、受講生に直接通知してください。

特別受講生については、選考料を可能な限り無料にしてください。

なお、選考料、授業料等の納入後に受講生から返金を求められた場合の対応については、科目開設大学にてご判断ください。

（2）講師料（謝金）・交通費

科目開設大学でご負担ください。

※ 市民教養講座の「京都力養成コース」「教養力養成コース」に採択された講座については、財団が支給する補助金を充当することができます。

（3）会場費

「オンキャンパス科目」については科目開設大学でご負担ください。

「プラザ・オンライン科目」については、キャンパスプラザ京都使用料（教室、備品等）を財団で負担します。ただし、次の場合は科目開設大学に費用をご負担いただきます。

- ①授業時間帯以外での準備や後片付け、あるいは控室等を目的とした使用
- ②キャンパスプラザ京都以外で実習等を行う場合の施設利用

③その他、授業に関する使用であると財団において判断できない場合

(4) 広報

出願募集に関する京カレッジ生募集ガイドやポスター、リーフレット等の広報物は財団が費用を負担し、作成します。

完成後、必要部数を確認の上、各大学へ郵送しますので、募集ガイドや広報物の配布・掲示等ご協力をお願いします。

4. 出願・履修手続きについて

(1) 出願資格

京カレッジの出願資格は、原則次のとおりとします。

科目等履修生 (大学講義)	大学の入学資格を有する者(高等学校卒業またはそれと同等と判断したもの)。その他、出願資格については募集ガイド「各大学・短期大学手続き一覧」に記載してください。
聴講生 (大学講義)	特に出願資格を設けませんが、出願資格が必要な場合は募集ガイド「各大学・短期大学手続き一覧」に記載してください。
特別受講生 (市民教養講座)	特に出願資格は設けません。

(2) 出願から選考まで

出願者は、所定の「出願票(※)」及び募集ガイドで科目開設大学が指示をする提出必要書類を出願期間内に財団へ提出します。財団では、出願票の記載内容をe 京都ラーニング上にアップロードします。※2021年度から、出願票内容の提出はWEBシステムからでもできるようになります。

出願のあった大学の担当窓口へは出願票及び提出必要書類を郵送し、併せて出願者情報のエクセルデータをメールにて送信いたしますので、それをもとに履修可否の選考を行い、e 京都ラーニングに反映させていただきます。

(3) 出願処理スケジュール

京カレッジの出願処理スケジュールは次のとおりです。各大学共通の作業日程となりますので、処理の期限日時は厳守願います。

作業概要		締切日(必着)
前 期	【財団】京カレッジ募集ガイド等で出願受付科目公表	3/5(金)
	【財団】出願受付	WEB出願、郵送、持参いずれも 3/18(木)必着
	【財団】e 京都ラーニングに出願者のデータをアップロード。科目開設大学に出願票、出願書類を発送、出願者データをメール送信	3/27(土)
	【科目開設大学】出願選考の上、選考結果及び手続き案内書類等を出願者に送付	4月上旬～4月中旬

前 期	【科目開設大学】履修可否及び成績番号を e 京都ラーニングへ入力	4/15 (木) 17:00 まで
	【科目開設大学】履修手続状況を財団に報告	5月中旬
	【財団】履修手続報告書に基づき、財団から「京カレッジ会員証」を送付	6月上旬 発送 仮会員証は 6/30 まで有効
後 期	【財団】HP 及び簡易冊子にて出願受付科目発表	7/17 (土)
	【財団】出願受付	WEB 出願、郵送、持参いずれも 8/24 (火) 必着
	【財団】e 京都ラーニングに出願者のデータをアップロード。科目開設大学に出願票、出願書類を発送、出願者データをメール送信	8/31 (火)
	【科目開設大学】出願選考の上、選考結果及び手続き案内書類等を出願者に送付	9月上旬～中旬
	【科目開設大学】履修可否及び成績番号を e 京都ラーニングへ入力	9/23 (木) 17:00 まで
	【科目開設大学】履修手続状況を財団に報告	10月中旬まで
	履修手続完了者に対し、財団より「京カレッジ会員証」を送付	10月中旬発送 仮会員証は 11/30 まで有効

(4) 受け入れに関する注意事項

① 仮会員証の発行について

出願者へは、科目開設大学から履修手続き完了報告を受けたうえで「京カレッジ会員証」を発行（前期 6 月、後期 10 月）しています。そのため、それまでに開講される科目については、仮会員証にて講義を受講できるようご配慮をお願いします。

② 出願者数・履修許可者数について

京カレッジの出願者数は、財団へ出願票を提出された方を出願者とみなし、「出願者数」としてカウントしています。また、科目開設大学が履修を許可した出願者を「履修許可者数」としてカウントします。

以上の理由から、履修許可されたにもかかわらず最終的に科目開設大学における手続きを行わなかった出願者についても、e 京都ラーニング内では履修許可状態のまま変更しないでください。必要に応じて、学内の運用において「辞退」・「未手続」などとして取り扱ってください。

5. 試験・レポートについて

(1) 試験・レポート情報の集約と告知について

定期試験及びレポート試験の実施の有無や、実施日程、レポート論題等の情報については、前期科目、夏期集中科目は 6 月中旬頃、後期科目は 11 月下旬頃に財団から科目開設大学に集約を依頼します。ここで集約した情報は、プラザ科目の学年暦における試験期間 2 週間前から、キャンパスプラザ京都 1 階の掲示板及び財団ホームページまたは e 京都ラーニングに掲載します。

なお、京カレッジの科目等履修生に対して試験に関する実施要項等のお知らせがあれば、財団ホームページまたは e 京都ラーニングに掲載しますので、データ等でご提供ください。

(2) プラザ科目の試験・レポートについて

「プラザ科目」における試験・レポートの実施については「Ⅳ キャンパスプラザ京都で実施する科目について」の章（P.19～）でご確認ください。

（3）オンキャンパス科目の試験・レポートについて

「オンキャンパス科目」の試験及びレポート試験実施における各種注意事項、手続きなどについては、科目開設大学の規程を適用もしくは準用してください。

6. 成績評価について

（1）成績評価・単位認定

①評価・単位認定方法

科目開設大学は、「科目等履修生」の単位認定及び成績管理を行います。各大学の基準で成績評価（「A・B・C」、「優・良・可」など）を行い、各大学所定の様式で受講生一人につき1枚の「成績報告書」（または「単位修得報告書」）等を京カレッジ生へ直接ご送付ください。

なお、聴講生や特別受講生は評価の対象外です。

②成績通知の対象

成績通知の対象者は、京カレッジの大学講義に「科目等履修生」として出願し、科目開設大学が「履修許可者」と認めた京カレッジ生です。履修許可後の辞退者、科目開設大学での別途履修手続未了者、受講放棄者等についても成績通知の対象となります。該当する京カレッジ生へ成績通知書の郵送をお願いします。

7. 補助金制度について

京カレッジでは、市民教養講座に設ける「京都力養成コース」「教養力養成コース」への講座提供に対し、「市民教養講座開設補助費」を支給しています。

詳細については、『「プラザ・オンライン科目」「プラザ推奨科目」「京カレッジ市民教養講座開設補助費」ガイド』をご参照ください。

8. 受講アンケートの実施について

京カレッジ受講生全員に対して、今後のあり方ならびに次年度以降の講義改善を目的としたアンケートを年度末に郵送にて実施します。

なお、アンケートの集計結果等については別途ご報告します。

Ⅲ 単位互換・京カレッジに共通する事項

1. シラバスの入力について

単位互換・京カレッジに提供する科目・公開講座は、総合教務システム「e 京都ラーニング」に科目の概要（シラバス）をデータ入力してください。

シラバスの入力期間、方法、留意事項等につきましては、「2021 年度シラバスの入力依頼および「e 京都ラーニング」マニュアルについて」を参照ください。

2. 連絡方法について

単位互換・京カレッジに関する連絡は、以下のいずれかによって行います。何らかの変更が生じた場合は、必ず担当者同士が連絡を取り合うようご注意ください。

(1) 財団・各加盟校担当者間の連絡方法について

単位互換・京カレッジにおける各種事務連絡を円滑に行うため、各大学の担当者ならびに財団の担当者を登録したメーリングリスト（ML）を作成しています。メーリングリスト（単位互換事業・京カレッジ共通）は2種類ありますので、用件に応じてご活用ください。

① t-go@consortium.or.jp…各加盟校・財団の担当者すべてを登録した ML
（財団から各加盟校への一斉連絡に用います）

② tg@consortium.or.jp…財団担当者すべてを登録した ML
（各加盟校から財団担当者へは、当該アドレスまでご連絡ください。）

①の t-go@consortium.or.jp の登録者を担当者間で共有するため、メーリングリスト一覧（Excel ファイル）を年度初めに作成いたします。担当者に変更があれば随時財団担当者（②の tg@consortium.or.jp 宛）にご連絡ください。

なお、財団からのメール配信は②の tg@consortium.or.jp アドレスを用いて発信します。

(2) 単位互換履修生・京カレッジ生への連絡方法について

単位互換履修生・京カレッジ生への連絡は基本的に「e 京都ラーニングシステム」の「お知らせ機能」への投稿により行います。登録された情報は、自動的に履修学生へメールで通知されます。

なお、京カレッジ生は出願時にメールアドレスを登録している場合としていない場合があるため、e 京都ラーニングの登録だけでは情報が行き届きません。個別の電話連絡等も含めて、すべての受講者に情報が確実に行き渡るようご対応にご協力ください（連絡の不達はクレームとして寄せられています）。

e 京都ラーニングの教務用マニュアルについては別途ご連絡します。

(3) 単位互換履修生・京カレッジ生からの問い合わせ対応

単位互換や京カレッジに関する制度については財団が回答しますが、履修方法や講義内容等の詳細については、学生所属大学または科目開設大学にご回答を依頼することがありますので、ご協力のほどお願いします。

なお、シラバスに掲載する「連絡先」には、単位互換履修生・京カレッジ受講生からの問い合わせに対応する部署をご記入ください。

また、手続き方法等その他必要な事項がありましたら、財団ホームページにも掲載しますので、適宜情報をご提供いただくなど、受講生が履修しやすいようご配慮ください。

(4) 単位互換・京カレッジ担当者連絡会議の開催

単位互換事業・京カレッジ事業の推進にあたり、各大学への事務連絡や意見交換を行う「事務担当者会議」を例年、年2回（7月中旬と11月中旬）開催しています。

この会議では、当該年度のスケジュール確認や次年度の基本方針、事務手続き等を説明し、意見を伺う貴重な機会となっていますので、ご出席のほどお願いします。

(5) 会議資料・各種マニュアル等の格納場所「加盟校教職員用ファイル管理ページ」

事務担当者会議で配付した資料や、提出をお願いする様式、各種マニュアル等については、常時参照できるようオンライン上に格納しています。必要に応じて ID・パスワードでログインのうえご利用ください。

「加盟校教職員用ファイル管理ページ」 <http://www.consortium.or.jp/kyosyoku/>

(大学コンソーシアム京都ウェブサイト→最下部右下からアクセスできます)

・ID：cons-002

・パスワード：consotgmc

3. 授業の運営について

オンキャンパス科目の授業や試験・レポート、休講や補講の実施等については、科目開設大学の基準に応じてください。台風の接近等による休講措置についても、科目開設大学の基準でご判断ください。キャンパスプラザ京都で実施する科目については次章「IV キャンパスプラザ京都で実施する科目について」(P.19～)で確認してください。

4. 個人情報の取り扱いについて

大学間または財団と大学との間で個人情報を含むデータ (Excel、Word などのファイル等) を送付する際は、個人情報保護の観点から、読み取りパスワードを設定してください。

なお、パスワードは、毎年度「第1回単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議」でお伝えする共通パスワードを、次年度の同会議までの期間ご使用ください。

5. その他の留意事項

キャンパスプラザの一斉停電は2021年2月8日(月)です。この日はe京都ラーニング・ホームページの閲覧など財団の全てのシステム利用ができませんのでご注意ください。

IV キャンパスプラザ京都で実施する科目について

1. 学年暦について

2021年度プラザ科目学年暦

4月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
			①	①	①	①
11	12	13	14	15	16	17
①		①	②	②	②	②
18	19	20	21	22	23	24
②		②	③	③	③	③
25	26	27	28	29	30	
③		③	④		④	

4/7 前期講義開始日
4/29 昭和の日

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						④
2	3	4	5	6	7	8
				④	⑤	⑤
9	10	11	12	13	14	15
④		④	⑤	⑤	⑥	⑥
16	17	18	19	20	21	22
⑤		⑤	⑥	⑥	⑦	⑦
23	24	25	26	27	28	29
⑥		⑥	⑦	⑦	⑧	⑧
30	31					
⑦						

5/3 憲法記念日、5/4 みどりの日
5/5 こどもの日

6月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		⑦	⑧	⑧	⑨	⑨
6	7	8	9	10	11	12
⑧		⑧	⑨	⑨	⑩	⑩
13	14	15	16	17	18	19
⑨		⑨	⑩	⑩	⑪	⑪
20	21	22	23	24	25	26
⑩		⑩	⑪	⑪	⑫	⑫
27	28	29	30			
⑪		⑪	⑫			

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				⑫	⑬	⑬
4	5	6	7	8	9	10
⑫		⑫	⑬	⑬	⑭	⑭
11	12	13	14	15	16	17
⑬		⑬	⑭	⑭	⑮	⑮
18	19	20	21	22	23	24
⑭		⑭	⑮	⑮	補	補
25	26	27	28	29	30	31
⑮		⑮	補	補	試	試

7/30～8/5 前期試験期間(8/6 試験予備日)
7/19 海の日

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
試		試	試	試	予	
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8/6～9/19 集中講義期間
8/6 試験予備日
8/11 山の日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
		①	①		①	①
26	27	28	29	30		
①		②	②	①		

9/21 後期講義開始日
9/20 敬老の日
9/23 秋分の日

10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					②	②
3	4	5	6	7	8	9
②		③	③	②	③	③
10	11	12	13	14	15	16
③		④	④	③	④	④
17	18	19	20	21	22	23
④		⑤	⑤	④	⑤	⑤
24	25	26	27	28	29	30
⑤		⑥	⑥	⑤	⑥	⑥
31						

10/11 スポーツの日

11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
⑥		⑦		⑥	⑦	⑦
7	8	9	10	11	12	13
⑦		⑧	⑦	⑦	⑧	⑧
14	15	16	17	18	19	20
⑧		⑨	⑧	⑧	⑨	⑨
21	22	23	24	25	26	27
⑨		⑨	⑨	⑩	⑩	⑩
28	29	30				
⑩		⑩				

11/3 文化の日
11/23 勤労感謝の日

12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			⑩	⑩	⑪	⑪
5	6	7	8	9	10	11
⑪		⑪	⑪	⑪	⑫	⑫
12	13	14	15	16	17	18
⑫		⑫	⑫	⑬	⑬	⑬
19	20	21	22	23	24	25
⑬		⑬	⑬			
26	27	28	29	30	31	

12/23～1/4 講義休止期間

1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
			⑭	⑭	⑭	⑭
9	10	11	12	13	14	15
⑭		⑭	⑮	⑮	⑮	⑮
16	17	18	19	20	21	22
⑮		⑮	補	⑮	補	補
23	24	25	26	27	28	29
試		試	試	試	試	試
30	31					
予						

1/5 講義再開
1/23～1/29 後期試験期間
1/30 試験予備日
1/1 元日、1/10 成人の日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

2/11 建国記念の日
2/23 天皇誕生日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

3/21 春分の日

・①～⑮の数字は前期・後期の各講義日15回を示す。「補」は補講日、「試」は試験日、「予」は試験予備日を表す。
・前期：4月7日(水)～7月29日(木) 試験期間：7月30日(金)～8月5日(木)
・後期：9月21日(火)～1月22日(土) 試験期間：1月23日(日)～1月29日(土)

2. 講義時間について

プラザ科目の開講時間（前期・後期・集中・試験共通）は次のとおりです。入退室の時間は使用時間を前後に10分となっています。なお、キャンパスプラザ京都は貸施設のため、使用時間は厳守願います（授業の延長等はできません）。

講時	時 間
1	9:00 ~ 10:30
2	10:50 ~ 12:20
3	12:40 ~ 14:10
4	14:30 ~ 16:00
5	16:20 ~ 17:50
6	18:10 ~ 19:40
7	20:00 ~ 21:30

3. 教室調整について

プラザ科目で使用する教室は、シラバス入力の基本情報（開講曜講時や受講定員等）をもとに配当しますが、教室状況にも限られているため、同一の曜日や時間に科目が集中した場合は、大学担当窓口と相談の上、教室調整を行います。

なお、キャンパスプラザ京都の施設概要及び付属設備は下表のとおりです。使用を希望される設備がありましたら事前にご連絡ください。

<施設概要・付属設備一覧>

(2020年2月～)

教室名	収容定員	教室内附属機器
第1講義室 (5F)	講義定員：289名 試験定員：170名 【席固定式】	150インチリア式液晶プロジェクター 2台 ブルーレイプレーヤー（再生のみ）（DVD/LD/CD） OHC PC接続 OHP用電動スクリーン ワイヤレスマイク 最大7波
第2講義室 (4F)	講義定員：289名 試験定員：170名 【席固定式】	150インチリア式液晶プロジェクター 2台 ブルーレイプレーヤー（再生のみ）（DVD/LD/CD） OHC PC接続 OHP用電動スクリーン ワイヤレスマイク 最大8波
第3講義室 (4F)	講義定員：170名 試験定員：100名 【席固定式】	150インチリア式液晶プロジェクター 2台 ブルーレイプレーヤー（再生のみ）（DVD/LD/CD） OHC PC接続 OHP用電動スクリーン ワイヤレスマイク 4波
第4講義室 (4F)	講義定員：90名 試験定員：60名 【席可動式】	120インチリア式液晶プロジェクター 1台 ブルーレイプレーヤー（再生のみ）（DVD/LD/CD） OHC PC接続 OHP用電動スクリーン ワイヤレスマイク 4波
第1演習室 (5F)	講義定員：30名 試験定員：20名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） スクリーン（可動式） ビデオ一体型DVDプレーヤー（再生のみ）
第2演習室 第3演習室 第4演習室	[1室使用の場合] 講義定員：30名 試験定員：20名 【席可動式】 [2室を結合して使用]	ビデオプロジェクター（可動式） スクリーン（可動式） ビデオ一体型DVDプレーヤー（再生のみ） スピーカー付きマイクセット（ワイヤレスマイク2波）

(5F)	講義定員：60名 試験定員：40名 【席可動式】 [3室を結合して使用] 講義定員：90名 試験定員：60名 【席可動式】	
第5演習室 (5F)	講義定員：30名 試験定員：20名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） スクリーン（可動式） ビデオ一体型DVDプレーヤー（再生のみ）
第5講習室 (6階)	講義定員：36名 試験定員：20名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） スクリーン（可動式） ビデオ一体型DVDプレーヤー（再生のみ）
ホール (2F)	講義定員：90名 【席可動式】	ビデオプロジェクター（可動式） 120インチ降下式スクリーン ブルーレイプレーヤー（再生のみ）（DVD/LD/CD） PC接続 ワイヤレスマイク4波
第2会議室 第3会議室 (2F)	講義定員：各38名 【席可動式】	80インチハイビジョンプラスディスプレイ ブルーレイプレーヤー（再生のみ）（DVD/LD/CD） PC接続 ワイヤレスマイク4波

※別途貸出：カセットデッキ（再生・録音）、ビデオデッキ、OHC

4. 出講案内について

キャンパスプラザ京都への教員の出講については、別紙「出講案内」をご覧ください。

5. 授業の運営について

授業の運営（資料の配布や教室レイアウトの変更）等で授業時にサポートが必要な場合は、科目開設大学からスタッフ（事務職員、TA等）を派遣してください。

また、レジュメや試験用紙等の印刷物は各大学で事前に準備の上、ご持参または郵送にてお送りください。なお、郵送いただく場合は事前連絡をお願いします。

6. 定期試験について

(1) 定期試験期間の設定について

プラザ科目の前期・後期開講科目で定期試験を実施される場合は、プラザ科目学年暦の各試験期間中において、原則、講義と同曜日・同講時に実施してください。

また、集中講義期間（8/6～9/20）中に開講する科目の試験は、原則として、講義最終日に実施してください。

<2021年度プラザ科目の試験期間>

- ◆前期：2021年7月30日（金）～8月5日（木）
- ◆後期：2022年1月23日（日）～1月29日（土）
- ◆夏期集中：原則として講義最終日に実施

(2) 試験の実施

①試験問題の印刷・保管

試験問題は、必ず科目開設大学で印刷していただき、試験実施 1 週間前までに財団へ持参するか、簡易書留またはレターパックプラス（520 円）にてお届けください。試験当日まで財団で保管します。

②試験監督・補助監督の配置

試験監督は、科目担当教員が代表者として務めてください。また、補助監督が必要な場合は、科目開設大学にて派遣していただき、不正が起こらない環境を整えてください。

なお、財団のスタッフが補助監督を務めることはできませんのでご了承ください。

<不正行為が発生した場合>

万が一、プラザ科目の定期試験において、不正行為が発覚した場合は、その証拠（カンニングペーパー等）を押さえた上で、自大学生及び京カレッジ生の場合は、科目開設大学の基準に準じて対処してください。単位互換履修生の場合は、財団事務局に知らせてください。財団から所属する大学に状況を連絡しますので、処分は学生所属大学の基準に準じて対処してください。

③試験問題・解答用紙の送付

試験用紙及び解答用紙は、担当教員が持ち帰るか、財団から郵送（レターパックプラス）しますのでいずれかをお知らせください。

7. レポート試験について

(1) レポートの提出方法について

授業時に回収するか、郵送の場合は送付先（郵便番号・住所・宛名）を学生へご周知ください。レポートの表紙（所定の青紙）はキャンパスプラザ 1 階で配布しています。なお、財団を提出先とする場合は、以下を条件として回収に協力します。

①レポート受付期間

前 期	2021 年 7 月 30 日（金）～8 月 5 日（木）
集中講義	2021 年 8 月 6 日（金）～9 月 19 日（日） ※うち最長 6 日間
後 期	2022 年 1 月 23 日（日）～1 月 29 日（土）

※本財団職員の出勤体制上、締切最終日の設定はなるべく日曜日を外していただきますようお願いいたします。

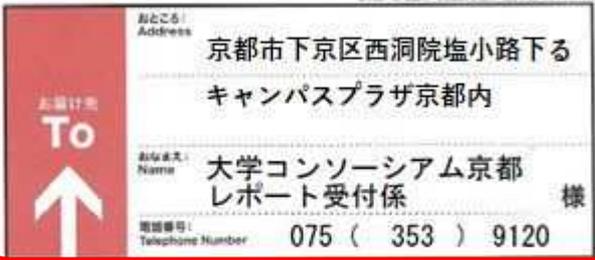
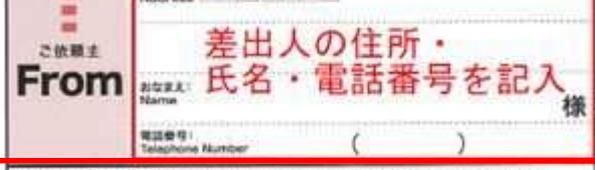
②キャンパスプラザ京都へのレポート提出方法

提出方法は以下の 2 種類からいずれか 1 つを科目担当教員が選択してください。

提出方法	手続き	提出場所	レポート締切
財団宛	レターパックライト（370 円）にて送付	日本国内郵便局	最終締切日 16:30 まで ※時間は追跡します。
レポート 回収 BOX	該当科目の レポート回収 BOX に投函	キャンパスプラザ京都 1 階受付前	9:00～16:30 (月曜日は休館日)

※いずれも所定のレポート表紙を添付してください。

【郵便局留の場合の記入例】

6 0 0 8 2 1 6	財団の郵便番号を記入
	財団の住所等を記入
	差出人の住所・氏名 電話番号を記入
レポート (科目名)	科目名を記入

③レポートの送付

財団が受領したレポートは、表紙に受領印を押印し、科目開設大学から提供を受けた受講生リスト（所属大学別、50音順）をもとに提出状況を確認してご返送します。レポートの返送については、提出期間終了後にキャンパスプラザ京都まで回収にお越しいただくか、郵送（レターパックプラス）いずれかご希望の方法を財団までお知らせください。

8. キャンパスプラザ京都で実施する授業・試験・講座の休講・補講の取り扱いについて

(1) 休講等に関する注意点

キャンパスプラザ京都で実施する授業・試験・講座は、財団の定める共通の学年暦や休講基準に基づいた運営を行うため、休講措置に関し、以下の点にご協力をお願いします。

①学校行事による休講

科目開設大学の創立記念日や学園祭などの理由から学校行事による休講は、プラザ科目には適用されません。休講される場合は、財団へのご連絡と、e 京都ラーニングの「お知らせ機能」を通じて休講情報を受講生に周知してください。

②連絡体制の整備

科目開設大学の休業日（土日祝等）に開講されるプラザ科目で、事前連絡なしに担当教員が出講されないケースの対応に苦慮しております。このようなケースに財団がスムーズに対応できるようにするため、休業日のプラザ科目を担当する教員の緊急連絡先（ご自宅もしくは携帯電話番号）を必要に応じてご提供していただきます。教員の緊急連絡先が必要な場合の照会依頼については、財団より行いますのでその際にご協力ください。

なお、ご提供いただいた情報については、休業日における緊急連絡が必要な場合のみに利用することとします。

③休講基準（特別措置）

担当教員が当該講義開始時間から30分を経過しても出講しない場合、特別措置として休講とします。この場合、財団から科目開設大学の事務担当者へ特別措置を実施した旨を報告しますので、補講等の必要な追加措置をお願いします。また、開始時間になっても出席者がなかった場合は、30分程度の経過を目安に担当教員の判断により休講としてください。

(2) 振替日の決定に関する注意点

振替日は、教室確保の都合上、候補日を財団と調整の上で確定してください。定期試験に関しては、2017年度より試験予備日を前期・後期に各1日設けています。極力試験予備日に試験日を再設定してください。

確定後は、e 京都ラーニングの「お知らせ機能」で受講生に通知してください。

なお、補講希望日がある場合は下記ウェブサイトにてキャンパスプラザ京都の空き状況をご確認のうえご相談ください。

【キャンパスプラザ京都（貸会場・施設利用案内）：空き状況確認】

<http://reserve.consortium.or.jp/reserve/rsvwebsys/index.html>

(3) 「プラザ科目」および「大学リレー講座」における授業・試験休止の取扱基準について

キャンパスプラザ京都で開講される「プラザ科目」および「大学リレー講座」では、暴風警報や特別警報、特別警報に位置づける警報の発令時や、災害またはストライキ等で交通機関の運行休止等が発生した場合、および、上記に関わらず、授業・試験・講座の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合、授業・試験を休止する基準を以下のとおり定めています。

なお、大学・短期大学のキャンパスで開講される「オンキャンパス科目」については、各大学・短期大学の指示に従ってください。

「プラザ科目」における授業・試験休止の取扱基準について

1. 授業・試験の休止基準

1) 授業・試験当日において次の(1)、(2)、(3)いずれかに該当する場合、下記【判断基準および対応】で示した基準に沿って、授業や試験を休止・延期します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

(1) 警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

(2) 交通機関の運行休止

下記の①～⑤うち2つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線）

②JR（京都駅発着の在来線）

③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）

④阪急電車（河原町～梅田間）

⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

(3) その他

上記の基準に関わらず授業・試験の実施について大学コンソーシアム京都・教育事業部長が困難であると判断した場合

【判断基準および対応】

- 7 : 00 以降、10 : 30 までに警報発令または運行休止等が発生している場合 : 1、2 講時の授業・試験を休止
- 10 : 30 以降、14 : 00 までに警報発令または運行休止等が発生している場合 : 2・3・4 講時の授業・試験を休止
- 14 : 00 以降、警報発令または運行休止等が発生している場合 : 5 講時以降の授業・試験を休止
*なお、授業または試験実施中に発令または運行休止等が発生した場合は、原則として実施中の授業・試験については休止しないものとします。

2) 授業の前日、または前々日において、授業・試験の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、授業・試験をあらかじめ休止します。

2. 授業休止または試験延期後の措置

授業休止による補講、試験休止による試験日の設定は、教員や科目提供大学との調整の上、e 京都ラーニングや大学コンソーシアム京都ウェブサイト (<http://www.consortium.or.jp/>) 内「重要なお知らせ」にてお知らせします。

〈参考〉 特別警報に位置づける警報

- ・津波 : 大津波警報
- ・火山噴火 : 噴火警報 (噴火警戒レベル 4 以上) 及び噴火警報 (居住地域)
- ・地震 : 緊急地震速報 (震度 6 弱以上)

キャンパスプラザ京都で開講される大学コンソーシアム京都主催 京カレッジ「京都学講座」および「大学リレー講座」における講座休止の取扱基準

1. 講座の休止基準

1) 講座当日において次の(1)、(2)、(3)いずれかに該当する場合、下記【判断基準および対応】で示した基準に沿って、講座を休止します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

(1) 警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域 (二次細分区域) に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

(2) 交通機関の運行休止

下記の①～⑤うち2つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全面的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

- ①京都市バス・京都市営地下鉄 (全路線)
- ②JR (京都駅発着の在来線)
- ③京阪電車 (出町柳～淀屋橋または中之島間)
- ④阪急電車 (河原町～梅田間)
- ⑤近鉄電車 (京都～大和西大寺間)

(3) その他

上記の基準に関わらず講座の実施について大学コンソーシアム京都・教育事業部長が困難であると判断した場合

【判断基準および対応】

○ 7 : 00 以降、午前講座(※1)開始時刻までに警報発令または運行休止等が発生している場合：午前講座を休止

○ 10 : 30 以降、警報発令または運行休止等が発生している場合：午後講座(※2)を休止

※なお、講座実施中に警報発令または運行休止等が発生した場合は、原則として実施中の講座については休止しないものとします。

※1「午前講座」：開始時刻が午前である講座

※2「午後講座」：開始時刻が午後である講座

2) 講座の前日あるいは前々日において、講座の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、講座をあらかじめ休止します。

※ なお、「京都学講座」の休止を教育事業部長が判断する場合は、原則、事前に京都学企画検討委員長と休止方針を確認していることとする。

2. 講座休止時の告知

大学コンソーシアム京都ウェブサイト(<http://www.consortium.or.jp/>)内「重要なお知らせ」にてお知らせします。

3. 講座休止後の措置

講座休止による振替日設定の有無等については、後日調整の上、大学コンソーシアム京都ウェブサイトやキャンパスプラザ京都1階掲示板等でお知らせします。

〈参考〉 特別警報に位置づける警報

- ・津 波：大津波警報
- ・火山噴火：噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域）
- ・地 震：緊急地震速報（震度6弱以上）

(4) 台風接近時等による休講に備えた対応について

上記取扱基準のとおり、授業・試験・講座の前日あるいは前々日において、実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、授業・試験・講座をあらかじめ休止します。

その場合は財団から科目開講大学へ連絡を行いますので、科目開講大学から受講者および科目担当教員へ周知をお願いします。

9. キャンパスプラザ京都での教科書販売について

キャンパスプラザ京都においては物品の販売が禁止されているため、教科書を販売することはできません。受講者が教科書を各自で購入できるよう、シラバス等に書名・著者・出版社・ISBNを示してください。なお、その際は、絶版・品切れがないかあらかじめご確認ください。

(公財)大学コンソーシアム京都

参考資料

単位互換科目(京カレッジ) 受講・受験証明書

所属大学	
学籍番号(所属大学)	
単位互換(京カレッジ) 履修生番号	
氏名	
科目開設大学	
科目番号	
科目名	
受講・受験の別	受講・受験
受講日 または 受験日	年 月 日 () 講時 (時 分 ~ 時 分)
備考	

上記のとおり証明します。

年 月 日

大学・短期大学名

印



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

公益財団法人大学コンソーシアム京都

作成：2020年11月

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

TEL. 075-353-9120 (単位互換担当) TEL. 075-353-9140 (京カレッジ担当)

FAX. 075-353-9121 (共通) E-MAIL : tg@consortium.or.jp (共通)

<http://www.consortium.or.jp/>

2021 年度版

「プラザ・オンライン科目」「プラザ推奨科目」・
「京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)
開設補助費」ガイド



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto



目 次

資料 1	1～2 ページ
	「プラザ・オンライン科目」に関するガイドラインについて
資料 2	3～7 ページ
	「プラザ推奨科目」に関するガイドラインについて
資料 3	8 ページ
	プラザ推奨科目【京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目】 科目運営補助金追加申請書
資料 4	9～10 ページ
	プラザ推奨科目【演習・実習形式、京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目】 活動支援補助金 取扱要項
資料 5	11～13 ページ
	プラザ推奨科目【演習・実習形式、京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目】 活動支援補助金申請書(活動支援補助金申請書(別紙①)、活動支援補助金申請明細書(別紙②)、 旅費・交通費明細書(別紙③))
資料 6-①	14～15 ページ
	プラザ推奨科目【講義形式、演習・実習形式】新規開設申請書
資料 6-②	16～17 ページ
	プラザ推奨科目【京都世界遺産 PBL 科目】新規開設申請書
資料 6-③	18～19 ページ
	プラザ推奨科目【京都ミュージアム PBL 科目】新規開設申請書
資料 7-①	20～21 ページ
	プラザ推奨科目【講義形式、演習・実習形式】授業計画書(継続)
資料 7-②	22～23 ページ
	プラザ推奨科目【京都世界遺産 PBL 科目】授業計画書(継続)
資料 7-③	24～25 ページ
	プラザ推奨科目【京都ミュージアム PBL 科目】授業計画書(継続)
資料 8	26 ページ
	プラザ推奨科目開講中断申請書
資料 9	27～30 ページ
	京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設補助費公募要領
資料 10	31～34 ページ
	京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設申請書(様式 1)
資料 11	35 ページ
	京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設補助費申請書(様式 2)
資料 12	36 ページ
	京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)プログラム実施報告書(兼 講師料補助申請書)(様式 3)

「プラザ・オンライン科目」に関するガイドラインについて

1. プラザ・オンライン科目とは

プラザ・オンライン科目とは、単位互換事業に提供する目的で、下記いずれかの形式で授業を運営する科目である。

- ・ 主にキャンパスプラザ京都における対面形式のみで運営する科目
- ・ キャンパスプラザ京都における対面形式と特定の会場を使用しないオンライン形式を組み合わせで運営する科目
- ・ 特定の会場を使用しないオンライン形式のみで運営する科目

2. プラザ科目に関するガイドラインについて

科目の特色化・精選化を図るため、各加盟校が提供科目を選定する際の基準となるガイドライン（申し合わせ）等を設定する。

（1）＜単位互換科目提供ガイドライン＞

- ①科目を提供する大学・短期大学（部）の学則に定める科目であること。
- ②科目開設大学において特色があると判断する科目であること。
- ③オンライン形式の採用にあたっては、オンラインの持つ特徴を活かした展開を計画しシラバスに記載できること。
- ④科目担当教員は、原則、科目開設大学の専任教員であること。ただし、名誉教授や客員教授、招聘教授、その他その分野において業績が認められる者についてはこの限りではない。
- ⑤チェーンレクチャー科目の場合は科目開設大学の専任教員がコーディネータを務めること。
- ⑥連続して3年の間、単位互換生の出願が0名だった場合は科目の提供を見直すこと。
- ⑦同一大学において、提供する科目名や講義概要（シラバス）が同じものについては1科目に選択して提供すること。
- ⑧上記以外で、提供科目に関して何らかの課題が生じた場合は財団と科目提供大学・短期大学（部）が協議する。

（2）受講者の受入れ

定員を超える多数の受講希望があった場合、公表された講義定員数については必ず受入れるものとする。なお、講義定員についてはプラザ推奨科目に準ずるものとする。

3. 関係者の役割分担

（1）科目担当教員

- ・ 科目開設のための学内手続
- ・ シラバス作成
- ・ 講師の選任と確保（チェーンレクチャー等を行う場合）
- ・ 講義の実施（休講・補講等に関する担当部署への諸連絡を含む。）
- ・ 成績判定

（2）科目開設大学

- ・ 科目開設（シラバス情報の財団への提供等を含む）
- ・ 授業で使用する教室や機器類についての財団との調整
- ・ 科目運営補助金（ゲストスピーカー等の給金・謝金）の支出・管理
- ・ 担当講師への出講案内
- ・ 学生に対する各種教務連絡（休講、補講、教室変更、試験・レポート情報等）
- ・ e 京都ラーニングを通じた休講情報等の公開

- ・受講学生の災害障害保険・賠償責任保険の加入確認（フィールドワーク等の場合）

（3）財団

- ・科目開設に向けた教室手配
- ・学生への周知・広報
- ・科目開設大学が発信する教務連絡の包括協定締結大学・短期大学への周知協力
- ・科目運営補助金の法人への支給

4. 経費について

（1）キャンパスプラザの教室・施設利用料について

授業で使用するキャンパスプラザの教室およびプロジェクター等の機器類の使用料については、財団が負担する。

（2）科目運営補助金の支給について

科目運営補助金の支給額、支給条件等は以下のとおりとする。

支給額：半期3万円（通期6万円）

支給条件：単位互換生・京カレッジ生が10名以上受講していること。

支給先：科目開設大学（法人）

5. プラザ・オンライン科目に関するガイドラインの見直し・修正について

本ガイドラインは、必要に応じて教育事業企画検討委員会で見直し・変更を行う。

6. ガイドラインの適用について

本取り決めは、2021年度開設科目から適用する。

以上

「プラザ推奨科目」に関するガイドラインについて

1. プラザ推奨科目とは

単位互換制度の「プラザ推奨科目」とは、公益財団法人大学コンソーシアム京都（以下「財団」という。）が開設を求める科目・概要に対して、加盟大学・短期大学がそれに応じた科目を計画・申請し、財団が特色ある科目と認定した科目をいう。

プラザ推奨科目は、原則、キャンパスプラザ京都で開講し、単位互換に関する包括協定締結大学・短期大学の学生が履修できる。

なお、科目の開設及び運営にあたっては、財団が定める支給基準（「科目運営補助金 支給基準」、
「活動支援補助金 取扱要項」）に基づいて、全科目に科目運営補助金を、演習・実習形式及び京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目には活動支援補助金を支給する。

2. プラザ推奨科目開設基準

上記の枠組みで提供される新規プラザ推奨科目の開設可否については、教育事業企画検討委員会で審議し、開設可否を科目開設大学および事務担当者会議に報告することとする。なお、新規プラザ推奨科目の開設基準は次のとおりとする。

（1）単位互換科目提供ガイドラインに定めた基準を満たす科目であること

＜単位互換科目提供ガイドライン＞

- ①科目を提供する大学・短期大学（部）の学則に定める科目であること。
- ②科目開設大学において特色があると判断する科目であること。
- ③科目担当教員は、原則、科目開設大学の専任教員であること。ただし、名誉教授や客員教授、招聘教授、その他その分野において業績が認められる者についてはこの限りではない。
- ④チェーンレクチャー科目の場合は科目開設大学の専任教員がコーディネータを務めること。
- ⑤連続して3年の間、単位互換生の出願が0名だった場合は科目の提供を見直すこと。
- ⑥同一大学において、提供する科目名や講義概要（シラバス）が同じものについては1科目に選択して提供すること。
- ⑦「世界遺産 PBL 科目」については、今後も計画的に科目を開講し、安定的に運営できるよう、3年ごとに科目全体の開講方針を策定する。開講方針は各科目の総括、明日の京都文化遺産プラットフォーム事務局との調整などを踏まえ、教育事業企画検討委員会で確認する。
- ⑧上記以外で、提供科目に関して何らかの課題が生じた場合は財団と科目提供大学・短期大学（部）が協議する。

（2）プラザ推奨科目の以下のいずれかの定義を満たすこと

- ①2名以上のゲスト講師（行政、産業界等の専門家・実務家など、学生除く）や他大学・他機関の教員・研究者との連携講義で構成する科目（チェーンレクチャー、オムニバス方式等）
- ②フィールドワークやワークショップ、PBLを取り入れた課題解決型の能動的学修科目
- ③「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」と連携して開講する科目

（3）以下のいずれかの科目分類で申請すること

科目	概要
プラザ推奨科目（講義形式）	京都に関するテーマやその他特色のあるテーマについて、複数の研究者や実務者などから多角的に学ぶことができる科目

<u>プラザ推奨科目(演習・実習形式)</u>	フィールドワークやワークショップ、PBL または実習等を通して、学生が主体的・能動的に研究・発表・討議できる演習・実習科目
<u>プラザ推奨科目(京都世界遺産 PBL 科目)</u>	財団が提供する枠組みで、京都の世界遺産をフィールドに展開する PBL 科目（明日の京都 文化遺産プラットフォーム連携）
<u>プラザ推奨科目(京都ミュージアム PBL 科目)</u>	財団が提供する枠組みで、京都の文化施設をフィールドに展開する PBL 科目

(4) 原則としてキャンパスプラザ京都を会場とすること（プラザ科目となること）。

- ①プラザ科目の会場費（プロジェクター等機器使用料含む）は、財団が負担する。
- ②使用機器などについては、事前申請を必要とする。

(5) 開設年限

- ①「講義形式」「演習・実習形式」「京都ミュージアム PBL 科目」
 - ・原則として同一大学、同一科目名称で3年間開設する(京都ミュージアム PBL 科目は1～3年間)。
 - ・開設期間3年で一旦終了し、その後の継続については、原則として、当補助金の支給対象とならない「プラザ科目」とする。
 - ・科目を3年間設置することができないとあらかじめ判明している場合は、申請書にその旨記載する。
- ②「京都世界遺産 PBL 科目」
 - ・科目ごとの開設年限は定めない。ただし、3年ごとに科目全体の開講方針を策定し、開設年限はそれに基づく。プログラムのさらなる充実と安定化を進めていくため、年度ごとに科目総括を行い、継続申請を行う。

(6) 開講形態

プラザ推奨科目の開講形態は、前期・後期・夏期集中（90分×15コマ程度）、通年（90分×30コマ程度）のいずれかとする。

(7) 講義定員

「講義形式」および「演習・実習形式」の講義定員は、単位互換履修生に限るのではなく、京カレッジ生の定員枠を設けることが望ましい（科目開設大学が所属学生の優遇を行う場合は定員の1/3までとする）。「京都世界遺産 PBL 科目」および「京都ミュージアム PBL 科目」は自大学生と単位互換履修生に限り、京カレッジ生は含めない。

また、「演習・実習形式」、「京都世界遺産 PBL 科目」および「京都ミュージアム PBL 科目」は、授業運営を考慮して、20名程度に設定することが望ましい。

(8) 受講者の受入れ

定員を超える多数の受講希望があった場合、公表された講義定員数については必ず受入れるものとする。

3. プラザ推奨科目の開設フロー

(1) 科目開設の提案

科目開設を希望する大学等（担当教員）は、所定の「プラザ推奨科目」新規開設申請書（以下、申請書）を開講前年度の指定期日（例年9月）までに担当部署から財団へ提出する。

(2) 財団審議

申請書を教育事業企画検討委員会で審議する。その後、財団事務局より申請大学に開設の可否を伝える。特定の大学に開設科目が集中した場合には、科目の内容に拘らず、大学間の調整を行うことがある。

(3) 科目開設決定後の学内諸手続

開設依頼後、科目開設大学において学内手続を行う（大学ごとに手続方法が異なるため、それぞれの学内規程に従って手続を行う）。なお、手続は前年度中に行うものとする。

(4) 学内手続完了報告

学内手続の完了後、前年度中に財団事務局にその旨を報告する。

(5) シラバス入力

科目開設大学において次年度シラバスをe 京都ラーニングシステムに入力する（1月下旬の指定締切日まで／厳守）。万一、2年目以降の科目継続ができない場合は、前年度の指定期日（例年10月）までに財団に連絡をすること。

4. 関係者の役割分担**(1) プラザ推奨科目担当教員**

- ・ 科目開設のための学内手続
- ・ シラバス作成
- ・ 各回講師の選任と確保（コーディネート業務含む）
- ・ 講義の実施（休講・補講等に関する担当部署への諸連絡を含む。）
- ・ 補助金執行にかかわる学内手続
- ・ 成績判定

(2) 科目開設大学

- ・ 科目開設（シラバス情報の財団への提供等を含む）
 - ※学則に定める科目として開設することが前提となる。
- ・ 科目運営補助金（ゲストスピーカー等の給金・謝金）の支出・管理
- ・ 活動支援補助金の財団への申請（演習・実習形式、京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目）
- ・ 担当講師への出講案内
- ・ 学生に対する各種教務連絡（休講、補講、教室変更、試験・レポート情報等）
- ・ e 京都ラーニングを通じた休講情報等の公開
- ・ 受講学生の災害障害保険・賠償責任保険の加入確認（フィールドワーク等の場合）
- ・ 寄付受入（寄付講座型の場合のみ）

(3) 関係する諸団体（寄付講座などの場合）

- ・ 科目開設・実施に係る費用の寄付（対科目開設大学）
- ・ 必要に応じて科目開講における講師派遣等の協力
- ・ 必要に応じて科目の内容・シラバスについて担当教員と調整

(4) 財団

- ・科目開設の発案及び関係教員・大学・諸団体への働きかけ・諸調整
- ・科目開設にかかる加盟大学等からの要望聴取
- ・科目開設大学及び科目担当教員との申請等手続き各種調整
- ・科目開設に向けた教室手配や学生への周知・広報
- ・科目開設大学が発信する教務連絡の包括協定締結大学・短期大学への周知協力
- ・活動支援補助金の担当教員への振込、科目運営補助金の法人への支給
- ・明日の京都 文化遺産プラットフォームと連携し、世界遺産側との調整(京都世界遺産 PBL 科目)

5. 経費について

(1) 支給する補助金について

財団は所定の基準に基づき全科目について科目運営補助金を、「演習・実習形式」「京都世界遺産 PBL 科目」および「京都ミュージアム PBL 科目」については活動支援補助金を支給する。活動支援補助金の詳細については、「活動支援補助金補助金取扱要項」を参照のこと。

(2) 補助金の金額・支給条件等について

2020 年度からの補助金支給金額・支給条件は以下のとおりとする。なお、科目運営補助金は科目開設大学（法人）に、活動支援補助金は科目担当教員からの申請に基づき科目担当教員本人に支給する。

(3) 追加申請手続き（「京都世界遺産 PBL 科目」および「京都ミュージアム PBL 科目」対象）

科目運営補助金の追加を申請する場合は、次の申請書を本財団に提出すること

■科目運営補助金：科目運営補助金追加申請書（別紙①）

□補助金制度（科目運営補助金・活動支援補助金）

対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
① プラザ推奨科目 【講義形式】	科目運営 補助金	100,000 円 ※財団規程による学 外講師 2 名分の謝金+ 交通費相当額で算出	単位互換生・京カ レッジ生が 10 名 以上受講している こと。	学外講師の招聘にかかる準備費、学 外講師・TA 謝礼、教材費、その他開 設・運営にかかる経費を科目開設大 学の基準で使用。
② プラザ推奨科目 【演習・実習形式】	科目運営 補助金	100,000 円	単位互換生が 1 名 以上受講している こと	学外講師の招聘にかかる準備費、学 外講師・TA 謝礼、教材費、その他経 費を科目開設大学の基準で使用。
	活動支援 補助金	70,000 円	教員の申請に基づ き実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品 費、機材等の賃借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿 などの業務委託費 ・調査・研究に必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場 料・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費

対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
③ プラザ推奨科目 【京都世界遺産 PBL 科目】 【京都ミュージアム PBL 科目】	科目運営 補助金	100,000 円	原則として単位互換生が 1 名以上受講していること	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝礼、教材費、その他経費を科目開設大学の基準で使用。
		20,000 円までを上限に追加交付することができる	10 万円を超えて補助金を使用する場合、TA 謝礼等として使用すること	TA 謝礼等に限る
	活動支援 補助金	70,000 円	教員の申請に基づき実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品費、機材等の賃借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿などの業務委託費 ・調査・研究に必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場料・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費

6. プラザ推奨科目に関するガイドラインの見直し・修正について

本ガイドラインは、必要に応じて教育事業企画検討委員会で見直し・変更を行う。

7. ガイドラインの適用について

本取り決めは、2021 年度開設科目から適用する。

以 上

科目運営補助金追加申請書(別紙①)

年 月 日

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 宛

プラザ推奨科目【京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目】

科目運営補助金追加申請書

下記の PBL 科目の運営に係り、交付いただいた補助金額の上限を超え必要となりましたので TA 等の運営サポート謝礼として使用することを誓約のうえ、下記のとおり追加申請いたします。

記

() 京都世界遺産 PBL 科目 () 京都ミュージアム PBL 科目

※該当する方に○を記入してください。

追加補助金額：(上限 2 万円) _____ 円

【科目運営補助金使用全体内訳】

使用経費名 (学外講師・TA 謝礼・教材費等)	金額
合計	

※申請する追加補助金も含めた使用する全体の内訳を記載願います。

_____ 大学・短期大学

開設科目名 _____

科目担当者名 _____ 印

教務担当者名 _____ 印

以上

**プラザ推奨科目【演習・実習形式、京都世界遺産 PBL 科目、
京都ミュージアム PBL 科目】活動支援補助金 取扱要項**

1. 活動支援補助金について

(1) 活動支援補助金について

プラザ推奨科目のうち、「演習・実習形式」と「京都世界遺産 PBL 科目」、「京都ミュージアム PBL 科目」に対して、実習やフィールドワーク等の活動にかかる経費を支援する補助金

(2) 補助金の支給先

科目担当教員からの申請に基づき、科目担当教員本人に支給する。

(3) 支給金額

上限：70,000 円 ※科目担当教員からの申請に応じて支給する。

2. 活動支援補助金の用途について

活動支援補助金は、授業活動の必要経費を補助するための補助金です。

補助金の使用、申請において不明な点がある場合は、事前に財団までご相談ください。

<支給対象となる事例>

- ・ワークや実習で使用する消耗品費
- ・機材レンタル、施設借用費等の賃借費
- ・他団体・機関での実習や研修合宿などの業務委託費
- ・調査活動等で必要な図書費（同一図書の購入は2冊上限）
- ・フィールドワーク等で必要な入場料・拝観料
- ・成果物作成等にかかる印刷製本費
- ・実習、フィールド現場への科目担当教員の交通費
- ・調査等による科目担当教員の旅費・交通費
（授業共同担当者及び学生は代表者1名同行可）
※旅費・交通費は通勤経路外で申請してください。
※交通経路は、原則として、最も経済的かつ合理的な経路を選択してください。
※タクシーは1乗車3千円上限とします。
- ・その他、財団が適切と判断したもの

<支給対象とならない事例>

- ・教員（科目担当教員とゲスト講師等）の打ち合わせにかかる会議費、旅費・交通費
- ・ゲスト講師、TA等の謝金、旅費交通費
- ・科目担当教員のキャンパスプラザまでの交通費
- ・受講生の交通費
- ・授業終了後にかかる経費（反省会等）
- ・その他、財団が不適切と判断したもの

3. 申請期限

前期開講科目	開講年度7月末日
夏期集中講義開講科目	開講年度9月末日
後期・通年開講科目	開講年度1月末日

※申請期限を過ぎた申請については、補助金を支給しない。

4. 留意事項について

(1) 補助金で購入した物品等の転用について

本補助金で購入した物品等を他の用途に転用することを禁止する。

(2) 補助金の支給年限について

プラザ推奨科目は原則3年間開設するものであるため、3年終了後に継続して設置した場合は、活動支援補助金は支給しない。

但し、「京都世界遺産 PBL 科目」についてはこの限りではない。

5. 申請手続

活動支援補助金を希望する場合は、次の申請書を本財団に提出することとする。

- 「活動支援補助金：活動支援補助金申請書」 (別紙①)
- 「活動支援補助金：活動支援補助金申請明細書」 (別紙②)
- 「活動支援補助金：旅費・交通費明細書」 (別紙③)
- 「領収書」(コピー不可)

6. 本取扱要項の改廃

- (1) 本取扱要項は、2020年度より適用する。
- (2) 本取扱要項の改廃は、本財団の教育事業企画検討委員会にて行う。

以上

活動支援補助金：活動支援補助金申請書(別紙①)

年 月 日

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 宛

プラザ推奨科目
【演習・実習形式、京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目】
 活動支援補助金申請書

担当科目の活動にかかる諸費用相当額に対する補助について、以下のとおり申請します。

記

請求金額 _____ 円

金融機関名 _____ 銀行
 _____ 信用金庫 ※どちらかを○で囲んでください

支店名 _____ 支店 (店番: _____)

口座番号 普通 _____

口座名義 (加付) _____ (_____)

本人住所 〒 _____

_____ 大学・短期大学

開設科目名 _____

科目担当者名 _____ 印

以上

活動支援補助金:活動支援補助金申請明細書(別紙②)

年 月 日

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 宛

プラザ推奨科目

【演習・実習形式、京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目】

活動支援補助金申請明細書

請求金額 _____ 円

使用日	内 容	使用目的	支払先	金 額

<申請にあたっての留意点>

- *必ず領収書(コピー不可)を添付してください。
- *旅費・交通費の場合は、活動支援補助金申請用紙(別紙③)に、区間や同行者等を明記してください。タクシーは1乗車3千円上限です。
- *以下の用途については、支給致しません。
 - ・教員(科目担当教員とゲスト講師等)の打ち合わせにかかる会議費、旅費・交通費
 - ・ゲスト講師、TA等の謝金、旅費交通費
 - ・科目担当教員のキャンパスプラザまでの交通費
 - ・受講生の交通費
 - ・授業終了後にかかる経費(反省会等)
 - ・その他、財団が不適切と判断したもの。

_____大学・短期大学

開設科目名 _____

科目担当者名 _____ 印

教務担当者名 _____ 印

以上

活動支援補助金：旅費・交通費明細書(別紙③)

年 月 日

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 宛

プラザ推奨科目

【演習・実習形式、京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目】

活動支援補助金：旅費・交通費明細書

下記の通り、旅費・交通費を使用しましたので報告します。

使用(期間)日	年 月 日() ~ 年 月 日()			
訪問先				
同行者 氏名				
交通費明細				
年月日	交通機関	出発地	到着地	金額
訪問の目的及び成果				

大学・短期大学

開設科目名 _____

科目担当者名 _____ 印

教務担当者名 _____ 印

以上

受付番号 -

2. 授業実施スケジュール (授業実施準備段階含む)

日程	実施項目	授業形態 (講義/実習/ワーク等)

3. 曜日・時間帯

* 学年暦やキャンパスプラザの講義時間割はガイドラインを参照してください。

第1希望	曜日(集中は期間を明記、月 日～月 日)	時限	限
第2希望	曜日(集中は期間を明記、月 日～月 日)	時限	限
第3希望	曜日(集中は期間を明記、月 日～月 日)	時限	限

4. 授業実施体制

[学外講師・ゲストスピーカー]

※講義形式の科目は、2名以上のゲスト講師(行政、産業界等の専門家・実務家など、学生除く)や他大学・他機関の教員・研究者による実施体制を確保してください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割

[学内教員] ※科目担当教員と同様の場合も再度ご記入ください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者

個人情報の取り扱いについて: ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

受付番号 - _____

新規：京都世界遺産 PBL 科目用

プラザ推奨科目【京都世界遺産PBL科目】新規開設申請書

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり、開設申請を行います。なお、科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日： 年 月 日

科目名（仮）						
希望連携先 (複数希望可)	()	清水寺	()	仁和寺	()	醍醐寺
	()	延暦寺	()	上賀茂神社	()	二条城
開講期間 (いずれかに○)	() 前期 () 夏期集中 () 後期 () 通年					
受講定員	合計[] 名 (内 単位互換[] 名)			単位数	() 単位	
申請大学名						
科目担当教員	所属			(ふりがな) (氏名)	印	
	TEL			FAX		
	Email					
事務連絡先	部署			(ふりがな) (氏名)		
	住所	〒				
	TEL			FAX		
	Email					

1. プログラムの概要 今回申請されているプログラムの要点・特徴（受講者向けのアピールポイント）を400字以上で記入して下さい。

受付番号 -

2. 授業実施スケジュール

<授業実施時期・時限>

※曜日・時限については前期・後期ごとに曜日時限を固定してください。夏期集中期間に行う場合は期間を記入してください（授業時間・学年暦はガイドラインを参照してください）。

	キャンパスプラザでの授業		世界遺産・その他フィールドでの授業		その他※夏期集中期間に実施の場合は実施期間（8月～9月）を記入
第1希望	曜日	限～限	曜日	限～限	
第2希望	曜日	限～限	曜日	限～限	
第3希望	曜日	限～限	曜日	限～限	

<授業スケジュール>

日程	実施項目	場所
①	全体講義（京都世界遺産に関する共通講義等）【5月実施予定】	キャンパスプラザ京都
②		
	成果発表会【12月～1月実施予定】	

※全体講義と成果発表会は、他の京都世界遺産 PBL 科目との合同で実施する必須プログラムですので、それを含めたスケジュールを作成ください。

備考 ※その他、留意点、申告事項等がありましたらご記入ください。

※上記の申請をもとに世界遺産側と調整し、財団事務局より申請大学に開設の可否をおってお伝えいたします。

（事務局記入欄）

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

受付番号 _____

新規：京都ミュージアム PBL 科目用

プラザ推奨科目【京都ミュージアムPBL科目】新規開設申請書

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり、開設申請を行います。なお、科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日： 年 月 日

科目名（仮）				
希望連携先 (複数希望可)	()	京都鉄道博物館	()	京都国際マンガミュージアム
	()	京都市動物園	()	京都市京セラ美術館
開講期間 (いずれかに○)	()	前期	()	夏期集中
	()	後期	()	通年
受講定員	合計[] 名 (内 単位互換[] 名)		単位数	() 単位
申請大学名				
科目担当教員	所属		(ふりがな) (氏名)	印
	TEL		FAX	
	Email			
事務連絡先	部署		(ふりがな) (氏名)	
	住所	〒		
	TEL		FAX	
	Email			

1. プログラムの概要 今回申請されているプログラムの要点・特徴（受講者向けのアピールポイント）を400字以上で記入して下さい。

受付番号 -

2. 授業実施スケジュール

<授業実施時期・時限>

※曜日・時限については前期・後期ごとに曜日時限を固定してください。夏期集中期間に行う場合は期間を記入してください（授業時間・学年暦はガイドラインを参照してください）。

	キャンパスプラザでの授業		文化施設・その他フィールドでの授業（定期的に行う場合）		その他※夏期集中期間に実施の場合は実施期間（8月～9月）を記入
第1希望	曜日	限～限	曜日	限～限	
第2希望	曜日	限～限	曜日	限～限	
第3希望	曜日	限～限	曜日	限～限	

<授業スケジュール>

日程	実施項目	場所
①	全体講義（京都の文化施設に関する共通講義等）【5月実施予定】	キャンパスプラザ京都
②		
	成果発表会【12月～1月実施予定】	

※全体講義と成果発表会は、他の京都ミュージアム PBL 科目との合同で実施する必須プログラムですので、それを含めたスケジュールを作成ください。

【備考 ※その他、留意点、申告事項等がありましたらご記入ください。

※上記の申請をもとに文化施設と調整し、財団事務局より申請大学に開設の可否をおってお伝えいたします。

（事務局記入欄）

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

継続：講義形式、演習・実習形式用

プラザ推奨科目【講義形式、演習・実習形式】

授業計画書(継続)

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり提案します。なお、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日： 年 月 日

科目名					
科目分類 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> プラザ推奨科目(講義形式) <input type="checkbox"/> プラザ推奨科目(演習・実習形式)				
開講期間 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 夏期集中 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年				
受講定員	合計[] 名 内 単位互換[] 京カレッジ[] 名				
申請大学名					
科目担当教員	所属		(ふりがな) (氏名)		印
	TEL		FAX		
	Email				
事務連絡先	部署		(ふりがな) (氏名)		
	住所	〒			
	TEL		FAX		
	Email				

1. プログラムの概要

今回申請されているプログラムの要点・特徴(受講者向けのアピールポイント)を400字以上で記入して下さい。

演習・実習形式の場合は、その演習や実習内容(フィールドワークを行う場所や活動内容等)を具体的にご記入ください。

--

2. 授業実施スケジュール（授業実施準備段階含む）

日程	実施項目	授業形態 (講義/実習/ワーク等)

3. 曜日・時間帯

*学年暦やキャンパスプラザの講義時間割はガイドラインを参照してください。

第1希望	曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	限
第2希望	曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	限
第3希望	曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	限

4. 授業実施体制

[学外講師・ゲストスピーカー]

※講義形式の科目は、2名以上のゲスト講師（行政、産業界等の専門家・実務家など、学生除く）や他大学・他機関の教員・研究者による実施体制を確保してください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割

[学内教員] ※科目担当教員と同様の場合も再度ご記入ください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

継続：京都世界遺産 PBL 科目用

プラザ推奨科目【京都世界遺産 PBL 科目】

授業計画書(継続)

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり、開設申請を行います。なお、科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日： 年 月 日

科目名						
希望連携先 (複数希望可)	()	清水寺	()	仁和寺	()	醍醐寺
	()	延暦寺	()	上賀茂神社	()	二条城
開講期間 (いずれかに○)	()	前期	()	夏期集中	()	後期
	()			()	通年	
受講定員	合計[] 名 (内 単位互換[] 名)			単位数	() 単位	
申請大学名						
科目担当教員	所属			(ふりがな) (氏名)	印	
	TEL			FAX		
	Email					
事務連絡先	部署			(ふりがな) (氏名)		
	住所	〒				
	TEL			FAX		
	Email					

- 1. プログラムの概要** 今回申請されているプログラムの要点・特徴（受講者向けのアピールポイント）を400字以上で記入して下さい。

2. 授業実施スケジュール

<授業実施時期・時限>

※曜日・時限については前期・後期ごとに曜日時限を固定してください。夏期集中期間に行う場合は期間を記入してください（授業時間・学年暦はガイドラインを参照してください）。

	キャンパスプラザでの授業		世界遺産・その他フィールドでの授業		その他※夏期集中期間に実施の場合は実施期間（8月～9月）を記入
第1希望	曜日	限～限	曜日	限～限	
第2希望	曜日	時～時	曜日	限～限	
第3希望	曜日	時～時	曜日	限～限	

<授業スケジュール>

日程	実施項目	場所
①	全体講義（京都世界遺産に関する共通講義等）【5月実施予定】	キャンパスプラザ京都
②		
	成果発表会【12月～1月実施予定】	

※全体講義と成果発表会は、他の京都世界遺産 PBL 科目との合同で実施する必須プログラムですので、それを含めたスケジュールを作成ください。

備考 ※その他、留意点、申告事項等がありましたらご記入ください。

※上記の申請をもとに世界遺産側と調整し、財団事務局より申請大学に開設の可否をおってお伝えいたします。

（事務局記入欄）

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

継続：京都ミュージアム PBL 科目用

プラザ推奨科目【京都ミュージアム PBL 科目】 授業計画書(継続)

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり、開設申請を行います。なお、科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日： 年 月 日

科目名				
希望連携先 (複数希望可)	()	京都鉄道博物館	()	京都国際マンガミュージアム
	()	京都市動物園	()	京都市京セラ美術館
開講期間 (いずれかに ○)	()	前期	()	夏期集中
	()	後期	()	通年
受講定員	合計[]名 (内 単位互換[]名)		単位数	()単位
申請大学名				
科目担当教 員	所属		(ふりがな) (氏名)	印
	TEL		FAX	
	Email			
事務連絡先	部署		(ふりがな) (氏名)	
	住所	〒		
	TEL		FAX	
	Email			

1. プログラムの概要 今回申請されているプログラムの要点・特徴(受講者向けのアピールポイント)を400字以上で記入して下さい。

2. 授業実施スケジュール

<授業実施時期・時限>

※曜日・時限については前期・後期ごとに曜日時限を固定してください。夏期集中期間に行う場合は期間を記入してください（授業時間・学年暦はガイドラインを参照してください）。

	キャンパスプラザでの授業			文化施設・その他フィールドでの授業（定期的に行う場合）			その他※夏期集中期間に実施の場合は実施期間（8月～9月）を記入
第1希望	曜日	限～	限	曜日	限～	限	
第2希望	曜日	時～	時	曜日	限～	限	
第3希望	曜日	時～	時	曜日	限～	限	

<授業スケジュール>

日程	実施項目	場所
①	全体講義（京都の文化施設に関する共通講義等）【5月実施予定】	キャンパスプラザ京都
②		
	成果発表会【12月～1月実施予定】	

※全体講義と成果発表会は、他の京都ミュージアム PBL 科目との合同で実施する必須プログラムですので、それを含めたスケジュールを作成ください。

備考 ※その他、留意点、申告事項等がありましたらご記入ください。

※上記の申請をもとに文化施設側と調整し、財団事務局より申請大学に開設の可否をおってお伝えいたします。
（事務局記入欄）

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

年 月 日

プラザ推奨科目開講中断申請書

プラザ推奨科目は3年間の継続開講が求められていますが、以下の科目について次年度より開講ができなくなりましたのでご報告申し上げます。

大学名	
科目名	
担当者名	
開設年度 ※開講が始まった年度をご記入下さい。	年度 [今年度で 継続 年]
開講中断の理由	

担当組織名	
代表者名	印

以 上

京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)

開設補助費 公募要領

1. 京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設補助費の目的

「京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設補助費」(以下「講座開設補助費」という。)は、京都市と大学コンソーシアム京都が主催する「京カレッジ」で提供する市民教養講座の特色化を図るために2016年度から新たに開設されました。

講座開設補助費は、大学コンソーシアム京都加盟校が有する研究成果の還元促進や、地方公共団体や企業等と連携し、市民にとって魅力ある講座を開設することを支援することで、市民の生涯学習意欲や教養力を高めることを目的とします。

2. 補助の概要について

(1) 補助の対象

講座開設補助費は京カレッジ「市民教養講座」における「京都力養成コース」及び「教養力養成コース」に提供される講座を対象に支給します。講座は原則5月から翌年1月までの間で設定してください。

なお、講座開設補助費は受講生の経費負担を軽減する目的を持っているため、受講料の設定については無料あるいは実費負担程度となるように計画してください。

<「京都力養成コース」の補助対象>

- ①京カレッジ用に提供される講座であること。
- ②専任の教員がコーディネーターを務めること。
- ③蓄積された研究から京都をより深く学べる講座であること。
- ④フィールドでの学習(現地見学)を一部取り入れた講座であること。
- ⑤実務者など外部講師を活用した講座であることが望ましい。

<「教養力養成コース」の補助対象>

- ①京カレッジ用に提供される講座であること。
- ②専任の教員がコーディネーターを務めること。
- ③大学の強みを生かした講座、地域力・文化力向上(地域人材の育成)につながる講座であること。
- ④フィールドでの学習(現地見学)を一部取り入れた講座であること。
- ⑤実務者など外部講師を活用した講座であることが望ましい。

(2) 補助する金額

<「京都力養成コース」の補助対象>

講座運営補助 100,000円(キャンパスプラザ京都またはそれ以外でも対象)
講師料補助(1コマ) 22,274円

<「教養力養成コース」の補助対象>

講座運営補助 100,000円(キャンパスプラザ京都の開講が対象)
講師料補助(1コマ) 22,274円

(3) 補助金の用途

講座運営補助	印刷製本費、図書購読費、資料作成費、実習先の入館料、打ち合わせにかかる会合費（アルコール類は除く）、講師料の補てん、その他講座運営に必要と判断される経費
講師料補助	講師謝礼（講師料について各大学に支払い基準がある場合は各大学にて支払額を判断してください。なお、不足分については講座運営補助から補てんする等で対応してください）

(4) 補助の件数

「京都力養成コース」、「教養力養成コース」 各 10 件程度

(5) 補助の条件

講座の内容は、学問を深めるための導入講座を「入門講座」とし、フィールド調査や企画立案実習を通してより深く学べる専門講座を「演習・実習講座」として区分し、「入門講座」は上限 8 コマまで、「演習・実習講座」は上限 15 コマまで講師料補助を支給します。

「入門講座」は 4 コマ～8 コマ、「演習・実習講座」は 10 コマ～15 コマで構成し、学習の到達目標を達成できるよう計画を立ててください。学習環境を保つため、「入門講座」の定員は 30 名程度、「演習・実習講座」の定員は 20 名程度で設定してください。

- ① 「入門講座」・・・学問を深めるための導入講座。京都に関する知識を高める講座やボランティア養成など地域の活動に加わるきっかけとなる講座。
- ② 「演習・実習講座」・・・フィールドワーク等を通して京都や地域の活性化に貢献する講座。

(6) 補助金の支給

講座運営補助は「京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設補助費申請書」(様式 2) の提出を受けて、講座提供大学が指定する銀行口座に振り込みます。

講師料補助は、一連の講座が終了した際に作成する「京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)プログラム実施報告書(兼講師料補助申請書)」(様式 3) の提出を受けて、講座提供大学が指定する銀行口座に振り込みます。

なお、講師料補助は、「京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設申請書」(様式 1) で申請したコマ数を上限に支給し、休講等が生じた場合のコマ数分はこれを支給しません。

(7) 経費の免除

キャンパスプラザ京都で開講する講座の場合は、以下の経費を免除します。

- キャンパスプラザ京都における教室使用料
- 機器、備品使用料（全額）

3. 応募について

(1) 申請対象機関

講座開設補助費は、申請代表が次の団体に限り応募できます。

- ① 大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学
- ② 大学コンソーシアム京都

<注意事項>

- ・①で応募の場合、採択は1大学あたり両コースあわせて3件までとします。
- ・同一内容での実施は原則2年間まで可としますが、新たな視点を加えてください。
また、前年度に選考委員・財団から指摘等があった場合は、その工夫・改善点を記載してください。

(2) 申請者

申請は教員個人ではなく、大学の窓口（京カレッジ担当部署または生涯学習担当部署）を通じて応募してください。申請代表者は講座運営の責任者（専任教員）とし、事務連絡は大学の窓口・担当者を明記してください。

(3) 応募方法

指定された期間内に別紙「京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設申請書」(様式1)を郵送または持参にて1部提出してください。

(4) 提出先

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内
公益財団法人 大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当 宛
※封筒に「京都力養成コース・教養力養成コース開設申請書在中」と朱書きで記載してください。

(5) その他

本公募に関する全体説明会は行いません。公募に関する質問等については、担当までお問い合わせください。

4. 選考について

(1) 選考方法

大学コンソーシアム京都の専門委員会が招集する委員で選考します。

(2) 選考基準

次の審査基準をもとに採用を決定します。

- ① 設定した目標を達成できる講座内容となっているか。
- ② 講座終了時に受講生が地域貢献へのモチベーションを持ちうる内容であるか。
- ③ 計画が具体的か。
- ④ 受講生が集まるような魅力的なテーマであるか。
- ⑤ 「入門講座」の場合、本プログラムの終了後、京都や地域の活性化のきっかけ作りに効果が見込まれるか。
- ⑥ 「演習・実習講座」の場合、地域の教育力を活用するプログラムであり、本プログラム終了後、京都や地域の活性化に貢献する人材育成が見込まれるか。
- ⑦ 個性豊かな特色のあるプログラムとなっているか。

(3) 採択件数

上記(2)の条件に合う講座について、「京都力養成コース」及び「教養力養成コース」で各10件程度採択します。

(4) 採択通知

申請書に掲載の事務連絡先に文章で通知します。選考に関する内容についてはお答えできません。

5. 講座の計画について

採択された講座については申請大学が責任を持って講座の計画や補助金の管理を行い、適正に講座を運営することとし、必要に応じて京カレッジの担当者と連携を取ってください。講座開講の準備については、別に定める「事務担当者ガイド」に従ってください。

以上

(様式1)

受付 No.

京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース) 開設申請書

以下の内容にて、京カレッジ市民教養講座開設補助費の対象となる講座を申請します。

申請日： 年 月 日

コース	<input type="checkbox"/> 京都力養成コース <input type="checkbox"/> 教養力養成コース ※ <input type="checkbox"/> にチェック
講座名	
サブタイトル	

申請団体名			
申請代表者	(所属・役職)	(氏名)	印
事務連絡先	(所属・役職)	(氏名)	
	住所 〒		
	部署名		
	TEL	FAX	
	Email	URL	

(以下、該当する場合はご記入ください。)

連携団体名			
連携団体代表者	(所属・役職)	(氏名)	印
連携団体 連絡責任者	(所属・役職)	(氏名)	
	TEL	Email	
連携団体 連絡先	住所 〒		
	TEL	FAX	
	Email	URL	

出願区分 (何れかに○)	<input type="checkbox"/> 入門講座 →キャンパス外での学習や鑑賞活動を通して京都活性化のきっかけをつくる科目 <input type="checkbox"/> 演習・実習講座 →フィールドワークやグループワーク、実習等を通して京都地域に貢献する科目
-----------------	---

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

(様式1)

1. プログラムの概要 *今回申請されるプログラムの要点・特徴を400字以内でご記入ください。**2. プログラムの内容** *全ての項目についてご記入ください。**(1) 受講生にとっての教育効果（受講生にとってのメリット）****(2) 地域人材育成のきっかけ作りにどのように貢献するか****(3) 本プログラム実施に際して、申請団体・連携団体が有している強み**

[申請団体]

[連携団体] *該当する場合のみ記入

(4) 本プログラムの授業構成（各回のタイトルと授業内容を3～4行程度におまとめいただきご記入ください）

日程	コマ数	構成内容
月 日	1コマ目	
月 日	2コマ目	
月 日	3コマ目	
月 日	4コマ目	
月 日	5コマ目	

(様式1)

月 日	6コマ目	
月 日	7コマ目	
月 日	8コマ目	
月 日	9コマ目	
月 日	10コマ目	
月 日	11コマ目	
月 日	12コマ目	
月 日	13コマ目	
月 日	14コマ目	
月 日	15コマ目	

(5)講義の開講場所 (○を記入ください)

() オンキャンパス(自大学)で開講する () キャンパスプラザ京都で開講する

(6)学外実習場所とその選定理由

[実地場所]

[選定理由]

(7)申請団体と連携団体等との連携内容 (*該当する場合のみ記入してください。)

(8)過年度の開催実績 (同一内容で開催された年度に○を記入ください)

2018年度 [] 2019年度 [] 2020年度 []

(9)受講料および受講定員

受講料:[]円 受講定員:[]名

* 実費経費を除き、原則、無料が望ましい。

(様式1)

3. 授業実施体制

[授業担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割

[事務担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割

4. その他特記事項

以上

(様式2)

年 月 日

公益財団法人大学コンソーシアム京都

理事長 仲谷 善雄 様

申請団体名 _____

申請代表者 _____ ⑩

^{みやこ}京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)

開設補助費申請書

^{みやこ}京カレッジ市民教養講座【京都力養成コース・教養力養成コース】として採択された講座について、下記のとおり開設補助費を申請いたします。

講座名 _____

申請金額 合計 _____ 円
 内訳 講座運営補助 ¥100,000-
 講師料補助 ¥22,274- × () コマ

振込先口座

金融機関名	口座名義
銀行 信用金庫	(フリガナ)
本店 支店	普通・当座

- 【補足】 ①振込先口座は申請団体の口座名義をご記入ください。
 ②講師料補助は「プログラム実施報告書」提出後の支給となります。
 ③講師料補助は申請時点のコマ数を上限として支給いたします。

以 上

(様式2)

年 月 日

公益財団法人大学コンソーシアム京都 宛

申請団体名 _____

申請代表者 _____ 印

京^{みやこ}カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)
開設補助費申請書

京^{みやこ}カレッジ市民教養講座【京都力養成コース・教養力養成コース】として採択された講座について、下記のとおり開設補助費を申請いたします。

講座名 _____

申請金額 合計 _____ 円
内訳 講座運営補助 ¥100,000-
講師料補助 ¥22,274- × () コマ

振込先口座

金融機関名	口座名義	
銀行 信用金庫	(フリガナ)	
本店 支店	普通・当座	

- 【補足】①振込先口座は申請団体の口座名義をご記入ください。
②講師料補助は「プログラム実施報告書」提出後の支給となります。
③講師料補助は申請時点のコマ数を上限として支給いたします。

以 上

(様式3)

年度 京カレッジ 市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース) プログラム実施報告書(兼 講師料補助申請書)

コース名	
------	--

大学名	
科目名	

1. 実施状況(講座の開講状況を以下の表により報告してください)

回	実施日時		実施場所	内容	担当講師	所属・職名等	参加者	特記事項
1	5月1日	11:00~12:30	キャンパスプラザ京都	京を旅する	〇〇 〇〇	△▽大学教授	20	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

【講師謝金】 実施コマ数(申請時を上限) コマ × 22,274円 = 申請額 0円

2. 申請時からの変更点(プログラムが申請時から変更のあった場合は以下の表により報告してください)

変更事項	
変更理由	

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会
2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2021年度プラザ推奨科目申請の採択等について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

- 2021年度プラザ推奨科目の申請について、教育事業企画検討委員による事前審査を踏まえ、No.1~3を採択とする。事前審査の詳細は別紙のとおり。
- No.4、5については、「京都世界遺産PBL科目」において"同一方針で3年間開講した後の1年目"として申請され、授業計画が確認された。

No.	形式	申請種別	科目名	大学名
1	講義	新規	天文学と私たち-光の実験室・神山天文台-	京都産業大学
2	演習・実習	新規	人文学の多面的展開	京都大学
3	演習・実習	新規	京都観光振興研究	平安女学院大学
4	世界遺産 PBL科目	継続	特殊講義 I 「清水寺の△△(良い点)を磨け!、もしくは□ □(困っている点)を救え!」	立命館大学
5	世界遺産 PBL科目	継続	世界遺産PBL科目 価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	同志社大学

以上

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会
2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2021年度プラザ推奨科目申請事前審査・継続確認結果

大学コンソーシアム京都
教育事業部

No.	申請種別	形式	科目名	大学名	各委員判定	各委員コメント
1	新規	講義	天文学と私たち-光の実験室・神山天文台-	京都産業大学	<input type="radio"/>	
					<input type="radio"/>	
					<input type="radio"/>	提供大学の特徴的な研究施設を有効に活用した講義であり、他にはない独自で興味深い内容が提供されることが期待できます。
					<input type="radio"/>	天体からくる光を観察し、機器で撮影実験することで、天文台で行われている研究を理解することができる。
					<input type="radio"/>	講義と実験が組み合わせられた、貴重な学習体験となることが期待される。
					<input type="radio"/>	受講定員200名に対し内訳人数が単位互換150名、京カレッジ70名？
2	新規	演習・実習	人文学の多面的展開	京都大学	<input type="radio"/>	
					<input type="radio"/>	
					<input type="radio"/>	取り上げられる内容も興味深いものですが、今後の環境変化に適合した新しい教育手法の可能性について考える取り組みにも期待できます。
					<input type="radio"/>	「リレー形式」で行われる各回の授業内容が、どのような内容で、また他の授業とどのような関連があるのか、もう少し具体的に述べられることを希望する。
					<input type="radio"/>	人文学を多角的視点から学ぶ機会は、履修者にとって大きな経験となることを期待することができる。
					<input type="radio"/>	

No.	申請種別	形式	科目名	大学名	各委員判定	各委員コメント	
3	新規	演習・実習	京都観光振興研究	平安女学院大学	○	観光分野の今後については不透明なところもありますが、京都という地域にとって重要な要因であることは確かではあるので、現実的な今後の方向性等を見出していけることに期待します。	
					○		
					○		
					○		コロナ禍により観光関連産業が大きな影響を受けている中、今後の観光のあり方を考えていくうえで、有意義な内容であると思われる。
					○		民間企業のノウハウを学生に伝える特長を持つ。
					○		学内教員1名でマネジメントする演習、実習形式の科目としては受講定員60名は少し多いのでは。単位互換・京カレッジの受け入れ人数未記載
4	継続	世界遺産PBL科目	特殊講義！ 「清水寺の△△(良い点)を磨け！、もしくは□□(困っている点)を救え！」	立命館大学	/	感染症の拡大、予防の観点等で世界遺産PBL科目は集合と現地活動を前提とした従来の方法が難しくなっていますが、単位互換事業の特色的な取り組みですので、オンライン環境の活用等積極的な工夫を期待します。	
					/		
					/		
					/		
					/		申請大学名未記入
					/		
5	継続	世界遺産PBL科目	世界遺産PBL科目 価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	同志社大学	/	感染症の拡大、予防の観点等で世界遺産PBL科目は集合と現地活動を前提とした従来の方法が難しくなっていますが、単位互換事業の特色的な取り組みですので、オンライン環境の活用等積極的な工夫を期待します。	
					/		
					/		
					/		
					/		申請大学名未記入
					/		

以上

受付番号 - _____

新規：講義形式、演習・実習形式用

プラザ推奨科目【講義形式、演習・実習形式】新規開設申請書

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり提案します。なお、プラザ推奨科目として科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日：2020年 10月 6日

科目名(仮)	天文学と私たち - 光の実験室・神山天文台 -		
科目分類 (いずれかに○)	<input type="radio"/> プラザ推奨科目(講義形式) <input type="radio"/> プラザ推奨科目(演習・実習形式)		
開講期間 (いずれかに○)	<input type="radio"/> 前期 <input checked="" type="radio"/> 夏期集中 <input type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年		
受講定員	合計[200] 名 内 単位互換[150] 京カレッジ[70] 名		
申請大学名	京都産業大学		
科目担当教員	所属	共通教育推進機構	(ふりがな) なかみち あきか (氏名) 中道 晶香 
	TEL	090-5783-2603	FAX 075-705-3002
	Email	nakamich@cc.kyoto-su.ac.jp	
事務連絡先	部署	教学センター	(ふりがな) いのうえ ひろやす (氏名) 井上 央康
	住所	〒603-8434 京都府京都市北区上賀茂本山	
	TEL	075-705-1425	FAX 075-705-1582
	Email	kyogaku-center-tg@star.kyoto-su.ac.jp	

1. プログラムの概要

今回申請されているプログラムの要点・特徴(受講者向けのアピールポイント)を400字以上で記入して下さい。

演習・実習形式の場合は、その演習や実習内容(フィールドワークを行う場所や活動内容等)を具体的にご記入ください。

天文学は人類最古の学問と言われるほど、私たち人間とかけがえのない深い学問である。京都産業大学は初代創設者が宇宙物理学者であったということから、天文学には縁のある大学であり、そのシンボルとして神山天文台を設置し、最新の天文学研究を推進している。宇宙を通して、人類の存在を新たな視点で捉えることが本講義の目的であり、私たちの置かれている立場と未来を受講者が認識することが講義の到達目標である。

また、天文学と社会とのかかわりについて、日本と諸外国の学校教育や社会教育の変遷と現状についても紹介する。

京都産業大学神山天文台では、天体からくる光に吸収線や輝線・連続光として刻まれた物理情報を抽出している。天文台は何をすることで、天体からくる光を調べると何がわかるのかを理解し、実感してもらうため、講義の中で光の実験を行う。グループごとにレンズを組み合わせ望遠鏡を組み立てたり、回折格子フィルムを用いて多様な光源のスペクトルを観察し、各自のスマートフォンやカメラで撮影する実験を通して、天文台で行われている研究を理解し体験することが本講義の特徴である。

受付番号 -

2. 授業実施スケジュール (授業実施準備段階含む)

日程	実施項目	授業形態 (講義/実習/ワーク等)
8月31日(火)	第1回 世界の星座	講義
	第2回 天体の運行と月食、日食、西洋と日本の天文学史	講義
	第3回 宇宙の成り立ち：銀河、銀河団、宇宙の大規模構造	講義
	第4回 私たちの太陽	講義
9月1日(水)	第5回 星の明るさ、星の温度、恒星の分類	講義
	第6回 望遠鏡の仕組み、世界の望遠鏡、望遠鏡の組立と光の実験	実験と講義
	第7回 恒星の一生Ⅰ～中小質量星～ 惑星状星雲、白色矮星	講義
	第8回 恒星の一生Ⅱ～大質量星～ 中性子星、ブラックホール	講義
9月2日(木)	第9回 いろいろな惑星 この時期に見える天体	講義
	第10回 太陽系小天体、太陽系の形成	講義
	第11回 スペクトル(虹)とは、分光実験	実験と講義
	第12回 天文教育・普及を考える	講義
9月3日(金)	第13回 宇宙膨張の証拠、宇宙の歴史、ダークマターとは	講義
	第14回 宇宙の未来、ダークエネルギーとは	講義
	第15回 座談会 質問コーナー 最新天文ニュース 宇宙を仕事にするには、 学生時代にやっておくとよいこと、等	講義(座談会)
	第16回 試験	

3. 曜日・時間帯

*学年暦やキャンパスプラザの講義時間割はガイドラインを参照してください。

第1希望	夏期集中曜日(集中は期間を明記、8月31日～9月3日)	時限	2-5	限
第2希望	夏期集中曜日(集中は期間を明記、8月24日～8月27日)	時限	2-5	限
第3希望	夏期集中曜日(集中は期間を明記、9月7日～9月10日)	時限	2-5	限

4. 授業実施体制

[学外講師・ゲストスピーカー]

※講義形式の科目は、2名以上のゲスト講師(行政、産業界等の専門家・実務家など、学生除く)や他大学・他機関の教員・研究者による実施体制を確保してください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割
池田 優二	フォトコーディング・代表 (元・京都産業大学理学部准教授)	観測天文学・観測装置開発と恒星の専門家として講義と実験 座談会にも登壇
小林 仁美	エストリスタ・代表 (元・京都産業大学理学部臨時職員)	太陽系小天体・観測天文学の専門家として講義と実験 座談会にも登壇

受付番号 -

【学内教員】 ※科目担当教員と同様の場合も再度ご記入ください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割
中道 晶香	共通教育推進機構	授業内容のとりまとめ(コーディネーター)、理論天文学の講義(座学)、光の実験指導補助

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者

個人情報の取り扱いについて: ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

受付番号 -

新規：講義形式、演習・実習形式用

プラザ推奨科目【講義形式、演習・実習形式】新規開設申請書

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり提案します。なお、プラザ推奨科目として科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日：2020年9月17日

科目名(仮)	人文学の多面的展開		
科目分類 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> プラザ推奨科目(講義形式) <input checked="" type="checkbox"/> プラザ推奨科目(演習・実習形式)		
開講期間 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 夏期集中 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年		
受講定員	合計[30] 名 内 単位互換[制限なし] 京カレッジ[制限なし]		
申請大学名	京都大学		
科目担当教員	所属	文学研究科	(ふりがな) すぎむら やすひこ (氏名) 杉村 靖彦 
	TEL	075-753-2450	FAX 075-753-2831
	Email	sugimura.yasuhiko.2v@kyoto-u.ac.jp	
事務連絡先	部署	教育推進学生支援部教務企画課 教務掛	(ふりがな) こ ぼやし かすみ (氏名) 小林 和美
	住所	〒 606-8501 京都市左京区吉田二本松町	
	TEL	075-753-2499	FAX 075-753-9590
	Email	ksui-kkikaku-kyom@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	

1. プログラムの概要

今回申請されているプログラムの要点・特徴(受講者向けのアピールポイント)を400字以上で記入して下さい。

受付番号 -

演習・実習形式の場合は、その演習や実習内容(フィールドワークを行う場所や活動内容等)を具体的に記入ください。

人文学は今も昔も、複雑に絡み合った複雑な事象を様々な学問分野から多面的に究明することによって、真実を明らかにする努力を続けてきた。人文学が哲学、社会学、心理学、歴史学など歴史的に多様な展開をみせてきたのは、その努力の現れである。そして、グローバル化や情報革命、コロナ禍のために大きく変動しつつある現代世界の諸問題を考えるためには、専門性に閉じこもることなく、その人文学の多面的な諸相を自由に見通していく能力が、かつてないほど求められている。本授業では、それぞれの学問分野の若手研究者による授業を通じて、人文学が培ってきた多面的な視点を身につけることによって、困難な時代を乗り越える力を養いたい。

本授業は、「ディープ・アクティブラーニング」の手法によって学生の深い学びを促すという、前身の授業「京都で学ぶ人文学」でも活用した教授法・コンセプトを受け継ぎつつ、オンライン授業と対面授業とを組み合わせる「ハイブリッド型授業」を積極的に導入することで、新たな授業形態のあり方を提示する。ハイブリッド型授業には、どのような状況・環境下であっても、学生が、対面とオンラインの双方の特性を活かした多様な学びを経験できるという利点があり、これとディープ・アクティブラーニングの手法を結びつけることは、「ポスト/With コロナ」の新たな人文学の授業形態を展望する上で有効な手法の一つと思われる。

授業は、京都大学で学んできた新進気鋭の若手研究者がリレー形式で担当する。授業の設計・準備・実施にあたっては、ディープ・アクティブラーニング並びにオンライン授業に関するノウハウをもつ、本学の高等教育研究開発推進センターと連携し、同センターの全面的なサポートを受けつつ行われる。本授業を通じて学生は、学んだ知識を自らの問題関心と結びつけながら主体的に考察することができるようになり、人文学の思考法を実践的に修得することが期待できる。

2. 授業実施スケジュール (授業実施準備段階含む)

日程	実施項目	授業形態 (講義/実習/ワーク等)
2020.8.28	シラバス作成ミーティング (第1回)	各回とも、受講生間のディスカッションやワークなどを行い、アクティヴ・ラーニング形式の授業を実施する予定。
2020.9.8	担当講師間でコースの目的の共有 シラバス作成ミーティング (第2回) コースデザイン (担当回の決定、リレー講義担当テーマの共有)	
2021.1.中旬	教材開発ミーティング (第1回)	
2021.6.中旬	教材開発ミーティング (第2回)	
2021.8.中旬	教材開発ミーティング (第3回)	
2021.9.中旬	直前打ち合わせ	
2021.10	授業開始	
[1]	イントロダクション (杉浦・全員)	
[2]	「動物の心から探る人文学」 第1回 (別役)	
[3]	「動物の心から探る人文学」 第2回 (別役)	
[4]	「知覚・想像力・身体」 第1回 (小林)	
[5]	「知覚・想像力・身体」 第2回 (小林)	
[6]	「ケアの倫理と障害者」 第1回 (安井)	
[7]	「ケアの倫理と障害者」 第2回 (安井)	
[8]	「剥き出しの生の生産」 第1回 (武田)	
[9]	「剥き出しの生の生産」 第2回 (武田)	
[10]	「知識と行為」(現代認識論) 第1回 (澤田)	
[11]	「知識と行為」(現代認識論) 第2回 (澤田)	
[12]	「ネットワーク分析入門」 第1回 (ギョーム)	
[13]	「ネットワーク分析入門」 第2回 (ギョーム)	

受付番号 -

[14]	「作られた京都像」 第1回（マルチン）	
[15]	「作られた京都像」 第2回（マルチン）	

3. 曜日・時間帯

*学年暦やキャンパスプラザの講義時間割はガイドラインを参照してください。

第1希望	木曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	6	限
第2希望	木曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	5	限
第3希望	火曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	6	限

4. 授業実施体制

〔学外講師・ゲストスピーカー〕

※講義形式の科目は、2名以上のゲスト講師（行政、産業界等の専門家・実務家など、学生除く）や他大学・他機関の教員・研究者による実施体制を確保してください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割
別役透	神戸女学院大学非常勤講師	授業担当
小林敬	甲南大学非常勤講師	授業担当
安井絢子	滋賀大学非常勤講師	授業担当
澤田和範	関西学院大学日本学術振興会特別 研究員 PD	授業担当

〔学内教員〕 ※科目担当教員と同様の場合も再度ご記入ください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割
杉浦和子	京都大学文学研究科教授	コーディネーター
杉村靖彦	京都大学文学研究科教授	コーディネーター
田口真奈	高等教育研究開発推進センター	コーディネート支援
長岡徹郎	高等教育研究開発推進センター	コーディネート支援
武田龍樹	京都大学非常勤講師	授業担当
ラドミラル・ギヨーム	京都大学非常勤講師	授業担当
マルチン・タタルチュ ック	京都大学非常勤講師	授業担当

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

受付番号 - _____

新規：講義形式、演習・実習形式用

プラザ推奨科目【講義形式、演習・実習形式】新規開設申請書

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり提案します。なお、プラザ推奨科目として科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日：2020年9月11日

科目名(仮)	京都観光振興研究		
科目分類 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> プラザ推奨科目(講義形式) <input checked="" type="checkbox"/> プラザ推奨科目(演習・実習形式)		
開講期間 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 夏期集中 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年		
受講定員	合計[60] 名 内 単位互換[] 京カレッジ[] 名		
申請大学名	平安女学院大学		
科目担当教員	所属	国際観光学部	(ふりがな) もうりけんいち (氏名) 毛利 憲一 
	TEL	075-414-8150	FAX
	Email	mouri@heian.ac.jp	
事務連絡先	部署	教務チーム	(ふりがな) いいだ ひろこ (氏名) 飯田 裕子
	住所	〒569-1092 大阪府高槻市南平台 5-81-1	
	TEL	072-693-2462	FAX 072-696-4919
	Email	hjukyomu@heian.ac.jp	

1. プログラムの概要

今回申請されているプログラムの要点・特徴(受講者向けのアピールポイント)を400字以上で記入して下さい。

演習・実習形式の場合は、その演習や実習内容(フィールドワークを行う場所や活動内容等)を具体的にご記入ください。

現在の観光業の情勢、実情、旅行業界を取り巻く環境、旅行会社の実際の仕事、JTBが取り組む地域振興事業の事例を紹介し、今後の観光振興(SDGsに資するまちづくり、ウィズコロナおよびアフターコロナを見据えた観光)の課題、あり方について考えます。あわせて、自治体(京都市)や教育機関(大学コンソーシアム京都)、NPO法人(グローバル人材開発センター)等と連携して取り組む京都B&S事業(地域交流ビジネス)の仕組みの理解と課題認識を行うとともに、京都を訪れる修学旅行生へ提供する「京都B&Sプログラム」に実際に参加しながら、修学旅行生に対し付加価値あるサービスをいかに提供し、参加生徒それぞれの思い出に残る修学旅行にしてゆけるかを実践の中で学び解決してゆきます。持続的な観光振興事業として互いに発展していく方法について考えます。

【この演習の特色】

- ①CSV(共通価値の創造)の観点でビジネスを考えられるようになる事
- ②京都B&Sプログラムへの参加を通じ、コミュニケーションレベルを向上させ、修学旅行生に対し京都のまちを案内できるようになり、自身の魅力向上を目指すこと
- ③実際の観光活性化素材「京都B&Sプログラム」に参加する事で、「観光交流」について考えるきっかけにする事

受付番号 -

2. 授業実施スケジュール (授業実施準備段階含む)

日程	実施項目	授業形態 (講義/実習/ワーク等)
	<p>【授業準備】</p> <p>2020年12月頃までに、ゲスト講師を決定する。なお木曜になった際の試案として、下記の日程を入れています。未確定です。通年で、授業を実施する予定です。課外研修は、5月～11月頃に随時入れていきます。</p> <p>【授業実施予定】</p> <p>4月22日(木)</p> <p>第1回 観光、旅行業界を取り巻く環境と実際の仕事 ～ウィズコロナおよびアフターコロナを見据えた取組～①</p> <p>第2回 観光、旅行業界を取り巻く環境と実際の仕事 ～ウィズコロナおよびアフターコロナを見据えた取組～②</p> <p>5月13日(木)</p> <p>第3回 JTBの地域交流ビジネス～事例紹介から地域振興を考える～</p> <p>第4回 京都B&Sプログラム～京都を訪れる修学旅行生をおもてなす～</p> <p>5月20日(木)</p> <p>第5回 SDGsなまちづくり(1)</p> <p>第6回 SDGsなまちづくり(2)</p> <p>5月27日(木)</p> <p>第7回 京都市(行政)における観光振興策(1)～全体政策～</p> <p>6月03日(木)</p> <p>第8回 京都市(行政)における観光振興策(2)～民泊政策～</p> <p>10月07日(木)</p> <p>第9回 グローカル人材の開発(1)</p> <p>第10回 グローカル人材の開発(2)</p> <p>10月14日(木)</p> <p>第11回 グローカル人材の開発(3)</p> <p>第12回 グローカル人材の開発(4)</p> <p>10月28日(木)</p> <p>第13回 グローカル人材の開発(5)</p> <p>第14回 グローカル人材の開発(6)～発表～</p> <p>12月16日(木)</p> <p>第15回 これからの観光振興のあり方とは？</p> <p>【課外研修】</p> <p>※平日に多く実施、後日お知らせ致します。JTBが年間を通じて実施する京都B&Sプログラム(京都へ訪れる修学旅行生に対し、班別行動時に大学生がアテンドし、京都市内の観光地や大学キャンパスなどを街歩きし紹介する着地型観光コンテンツ)に参加する。日時は、JTBから提示された日程と時間(4時間コース、6時間コース、8時間コースあり)から個人で選択するものとする。</p>	

受付番号 - _____

3. 曜日・時間帯

*学年暦やキャンパスプラザの講義時間割はガイドラインを参照してください。

第1希望	木曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	5・6限連続
第2希望	木曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	6限
第3希望	曜日（集中は期間を明記、月 日～月 日）	時限	限

4. 授業実施体制

[学外講師・ゲストスピーカー]

※講義形式の科目は、2名以上のゲスト講師（行政、産業界等の専門家・実務家など、学生除く）や他大学・他機関の教員・研究者による実施体制を確保してください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割
村川 武嗣	株式会社JTB京都支店 事業開発室 観光開発プロデューサー	コーディネート・講義
胎中 啓紀	株式会社JTB京都支店 営業第一課長 京都B&S事務局長	コーディネート・講義
森野 治	株式会社JTB京都支店 営業第一課 京都B&S事務局担当	コーディネート・講義
木下 京介	認定NPO法人 グローカル人材開発センター／サステナビリティ戦略クリエイター見習い WorldShift コミュニケーター	講義

[学内教員] ※科目担当教員と同様の場合も再度ご記入ください。

氏名	所属・役職	授業の担当・役割
毛利憲一	国際観光学部・教授	コーディネート

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

継続科目（京都世界遺産 PBL 科目）

「京都世界遺産 PBL 科目」授業計画書

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり、開設申請を行います。なお、科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日： 2020年 9月 15日

科目名	特殊講義 I 「清水寺の△△の〇〇（良い点）を磨け！、もしくは□□（困っている点）を救え！」					
希望連携先 (複数希望可)	(○)	清水寺	()	仁和寺	()	醍醐寺
	()	延暦寺	()	上賀茂神社	()	二条城
開講期間 (いずれかに○)	() 前期 () 夏期集中 () 後期 (○) 通年					
受講定員	合計[20] 名 (内 単位互換[10] 名)			単位数	(2) 単位	
申請大学名	立命館大学					
科目担当教員	所属	理工学部	(ふりがな) むねもと しんさく (氏名) 宗本 晋作			
	TEL	077-599-4186		FAX		
	Email	munemoto@fc.ritsumeit.ac.jp				
事務連絡先	部署	理工学部事務室	(ふりがな) こじま ななみ (氏名) 児島 七海			
	住所	〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 理工学部事務室				
	TEL	077-561-2624		FAX		
	Email	se-kyomu@st.ritsumeit.ac.jp				

1. プログラムの概要 今回申請されているプログラムの要点・特徴（受講者向けのアピールポイント）を400字以上で記入して下さい。

世界遺産・清水寺を対象に、独自に境内の魅力を見直しそれを伸ばす、あるいは独自に問題点を発見しその問題解決を図るなど、独自の視点で新しい課題を見つけそれを解決するPBL型授業を実施する。清水寺でもまだ気づいていない、時代を超え後世まで維持していくべき良い点は何か？逆にまだ気づいていない困っている点は何か？未来の清水寺のために見つける課題は、良い点でも、困っている点でもよい。清水寺での講話やフィールドワークから良い点または困っているのを発見し、良い点なら伸ばし、困っている点なら改善できるように考えてもらいたい。自分で独自に設定した課題を既成概念にとらわれることなく、創造性豊かに解決する提案を求めている。

20名の学生を数グループに分け、清水寺で講話を聞き実地調査を行う。グループごとに独自の視点で清水寺の良い点、もしくは困っている点を発見してもらう。本共同作業を経て、他大学の学生や専門分野が異なる学生同士が、積極的な交流を図ることも目的の一つとしている。成果物はホームページ等で公開し活用いただくことが期待される。

2. 授業実施スケジュール

<授業実施時期・時限>

※曜日・時限については前期・後期ごとに曜日時限を固定してください。夏期集中期間に行う場合は期間を記入してください（授業時間・学年暦はガイドラインを参照してください）。

	キャンパスプラザでの授業		世界遺産・その他フィールドでの授業		その他※夏期集中期間に実施の場合は実施期間（8月～9月）を記入
第1希望	曜日	限～限	曜日	限～限	調整中
第2希望	曜日	時～時	曜日	限～限	
第3希望	曜日	時～時	曜日	限～限	

<授業スケジュール>

日程	実施項目	場所
①5月下旬	オリエンテーション・開講式 ※授業後に次回の概要説明と事務連絡（30分程度）	キャンパスプラザ
②③6月中旬	概要説明、グループ分け、現地調査の指示、課題・進行説明、自己PR	現地
④6月下旬	清水寺の建築的視点と歴史	キャンパスプラザ
⑤⑥7月中旬	現地調査計画の発表、動画作成に関する講義、フィールドワーク	現地
⑦⑧8月下旬	内容、問題整理、動画作成のためのストーリーと絵コンテの確認	現地
⑨⑩9月中旬	草案批評1・2、動画撮影	現地
⑪10月中旬	草案批評3	現地
⑫10月下旬	中間発表、講評	現地
⑬11月下旬	草案批評4	キャンパスプラザ
⑭12月初旬	成果発表会準備、内容確認	現地
⑮12月中旬	成果発表会	キャンパスプラザ

※全体講義と成果発表会は、他の京都世界遺産 PBL 科目との合同で実施する必須プログラムですので、それを含めたスケジュールを作成ください。

備考 ※その他、留意点、申告事項等がありましたらご記入ください。

--

※上記の申請をもとに世界遺産側と調整し、財団事務局より申請大学に開設の可否をおってお伝えいたします。

（事務局記入欄）

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

継続：京都世界遺産 PBL 科目用

プラザ推奨科目【京都世界遺産 PBL 科目】

授業計画書(継続)

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり、開設申請を行います。なお、科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日：2020年9月2日

科目名	世界遺産 PBL 科目 価値主導型に基づく文化遺産マーケティング					
希望連携先 (複数希望可)	()	清水寺	()	仁和寺	()	醍醐寺
	()	延暦寺	()	上賀茂神社	(○)	二条城
開講期間 (いずれかに○)	(○) 前期 () 夏期集中 () 後期 () 通年					
受講定員	合計[30] 名 (内 単位互換[10] 名)			単位数	(2) 単位	
申請大学名	同志社大学					
科目担当教員	所属	政策学部	(ふりがな) ただ みのる (氏名) 多田 実 			
	TEL	075-251-3506		FAX	075-251-3041	
	Email	mtada@mail.doshisha.ac.jp				
事務連絡先	部署	政策学部事務室	(ふりがな) わかき ともひろ (氏名) 若城 智浩			
	住所	〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入				
	TEL	075-251-3107		FAX	075-251-3108	
	Email	ji-seijm@mail.doshisha.ac.jp				

1. プログラムの概要

今回申請されているプログラムの要点・特徴(受講者向けのアピールポイント)を400字以上で記入して下さい。

一般的に、地域マーケティングと言えば、特産品や観光名所をいかに上手くアピールするかに力点が置かれるが、知名度の高い文化遺産では、見どころや人気のスポットなどが既に定まっていることが少なくない。本講義のフィールドとなる二条城においても、その例外ではなく、毎年恒例のいくつかのイベントでの集客はもちろんのこと、観光客が注目するポイントも特定の場所に限定されているように思われる。しかしながら、特定のイベントが行われない通常の日に繰り返し来場した人の割合(リピート率)や文化遺産修復の一助となる募金をしている人の数は決して多くはなく、何らかの改善策が望まれていることも事実である。

そこで、本講義では、人間の感情的な部分を考慮する「マーケティング3.0」の適用をベースとする文化遺産マーケティングを考える。この手法は、近年、マーケティングの世界的権威コトラーによって提唱された、別名「価値主導型マーケティング」とも呼ばれるもので、製品が中心だった「マーケティング1.0」、顧客中心の「マーケティング2.0」とは一線を画す、ハート・マインドといった人間の感情的な部分を重要視するマーケティング手法である。

2. 授業実施スケジュール

<授業実施時期・時限>

※曜日・時限については前期・後期ごとに曜日時限を固定してください。夏期集中期間に行う場合は期間を記入してください（授業時間・学年暦はガイドラインを参照してください）。

	キャンパスプラザでの授業		世界遺産・その他フィールドでの授業		その他※夏期集中期間に実施の場合は実施期間（8月～9月）を記入
第1希望	火曜日	2限～限	曜日	限～限	
第2希望	火曜日	1時～時	曜日	限～限	
第3希望	金曜日	1時～時	曜日	限～限	

<授業スケジュール>

日程	実施項目	場所
① 5/23（日）？	全体講義（京都世界遺産に関する共通講義等）【5月実施予定】	キャンパスプラザ京都
② "	オリエンテーション（授業の進め方など）	"
③ 5/25（火）	フィールド（二条城）に関するゲストスピーカー講義	"
④ 6/1（火）	フィールド（二条城）に関するグループワーク	"
⑤ 6/8（火）	マーケティング基礎から応用	"
⑥ 6/15（火）	マーケティング基礎から応用に関するグループワーク	"
⑦ 6/20（日）	二条城とその周辺のフィールドワーク（3コマ連続）	二条城とその周辺
⑧ "	"	"
⑨ "	"	"
⑩ 6/22（火）	価値主導型マーケティングとその周辺事例	キャンパスプラザ京都
⑪ 6/29（火）	価値主導型マーケティングに関するグループワーク	"
⑫ 7/6（火）	イベント実施に向けてのグループ別中間報告	"
⑬ 7/13（火）	イベント実施に向けてのグループワーク（企画・調整）	"
⑭ 12/5（日）？	成果発表会【12月～1月実施予定】	"
⑮ "	"	"

※全体講義と成果発表会は、他の京都世界遺産 PBL 科目との合同で実施する必須プログラムですので、それを含めたスケジュールを作成ください。

備考 ※その他、留意点、申告事項等がありましたらご記入ください。

--

※上記の申請をもとに世界遺産側と調整し、財団事務局より申請大学に開設の可否をおってお伝えいたします。

（事務局記入欄）

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

2020年10月17日

教育事業企画検討委員各位

2021年度プラザ推奨科目申請の事前審査・継続確認について(依頼)

大学コンソーシアム京都
教育事業部

平素は当財団の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

6月の教育事業企画検討委員会にてご報告しましたとおり、このたび2021年度プラザ推奨科目の募集を行い、加盟大学からの申請を受け付けました。

つきましては、11月の教育事業企画検討委員会における採択等を円滑に行わせいただくため、従来どおり、対象科目について下記のとおり事前審査等をお願い申し上げます。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、10月26日(月)までに、「【別紙1】2021年度プラザ推奨科目申請事前審査・継続確認表」に必要事項をご入力の上 tg@consortium.or.jp へメール提出くださいますようお願いをお願いいたします。ご不明な点等ございましたら、担当までお問い合わせください。

1 事前審査あるいは継続確認の対象科目について

- ・ 「【別紙1】2021年度プラザ推奨科目申請事前審査・継続確認表」にて対象科目をご確認ください。
- ・ 「【別紙2】2021年度プラザ推奨科目申請事前審査・継続確認_申請書一式」にて対象科目の申請内容をご参照ください。

2 審査基準について

- ・ 「【別紙3】プラザ推奨科目に関するガイドラインについて」に記載の「2. プラザ推奨科目開設基準」をご参照ください。

3 判定、確認、コメントの入力について

- ・ 「【別紙1】2021年度プラザ推奨科目申請事前審査・継続確認表」の該当欄に、判定および(必要に応じて)コメントをご入力ください。※継続確認対象科目の判定欄は入力不要のため斜線
- ・ 判定は○(採用)、△(改善の余地あり)、×(不採用)のいずれかをお願いします。最終的な採択可否は、各委員の判定をもとに総合的に判断されます。
- ・ 事前審査において「△」「×」と判定された科目は、指摘事項について事務局から科目開設大学に改善を求めます。「×」と判定されていた科目は再度事前審査を行います。

4 その他

- ・ 今回の審査あるいは継続確認の対象ではない、継続開講されるその他プラザ推奨科目は、11月の教育事業企画検討委員会にてご報告いたします。

以上

<本件のお問合せ先> 大学コンソーシアム京都 教育事業部
tg@consortium.or.jp 075-353-9120 担当/安部・津田・安福

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会
2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2021年度プラザ推奨科目一覧

大学コンソーシアム京都
教育事業部

2021年度プラザ推奨科目は、新規申請採択分も含め下記のとおりとする。

No.	新規/ 継続	形式	科目名	大学名	担当者	開講期 間	開始 年度	備考
1	新規	講義	天文学と私たち-光の実験室・神山天文台-	京都産業大学	中道 晶香	夏期集中	2021	
2	新規	演習・実習	人文学の多面的展開	京都大学	杉村 靖彦	後期	2021	
3	新規	演習・実習	京都観光振興研究	平安女学院大学	毛利 憲一	通年	2021	
4	継続	演習・実習	地域公共人材特別講座(新PBL入門)	龍谷大学	只友 景士	通年	2019	
5	継続	世界遺産PBL 科目	京都の世界遺産PBL～上賀茂神社の魅力を 学生の視点で発信する～	京都産業大学	吉野 秋二	通年	2015	2020年度は感 染拡大により 不開講
6	継続	世界遺産PBL 科目	特殊講義Ⅰ「清水寺の△△の○○(良い 点)を磨け!、もしくは□□(困ってい る点)を救え!」	立命館大学	宗本 晋作	通年	2015	
7	継続	世界遺産PBL 科目	産官学連携科目(京都世界遺産PBL)	京都光華女子大学	朝比奈 英夫	通年	2020	
8	継続	世界遺産PBL 科目	「お山」の魅力を探る・伝える	京都文教大学	手嶋 英貴	前期	2016	
9	継続	世界遺産PBL 科目	世界遺産PBL科目 価値主導型に基づく文 化遺産マーケティング	同志社大学	多田 実	前期	2015	
10	継続	世界遺産PBL 科目	特殊講義Ⅰ「京都の文化遺産とその保護 ～清水地域の防災への取り組み」	立命館大学	大窪 健之	夏期集中	2017	
11	継続	ミュージア ムPBL科目	フィールドワーク特殊演習(PBL)	大谷大学	宮崎 健司	後期	2020	
12	継続	ミュージア ムPBL科目	コラボレーション概論 A(京都ミュージア ム企画デザイン演習)	京都精華大学	葉山 勉	通年	2020	
13	継続	ミュージア ムPBL科目	感動を伝えるサイエンスコミュニケー ション:動物園をフィールドに	同志社大学	服部 篤子	通年	2020	
14	継続	ミュージア ムPBL科目	サービス・マネジメントの視点から考え る博物館施設の魅力向上	立命館大学	近藤 宏一	通年	2020	

下記科目は3年間の開講がされていないが、開設大学の申請により開講を中止する。

No.	—	形式	科目名	大学名	担当者	開講期 間	開始 年度	備考
1	中止	講義	京都の文化と観光-京都検定への誘い-	京都産業大学	平竹 耕三	前期	2018	2020年度は感 染拡大により 不開講

以上

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会(報告)

2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2020年度前期単位互換生アンケート集計結果について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

1 実施対象・時期・方法・回答者数

2020年度前期受講登録科目のある単位互換生を対象として、7月20日(月)～9月20日(日)の間、WEB上のアンケートシステムにて回答を受け付けた。回答者数は18名(157名中)であった。

なお、2020年度後期受講科目にかかるアンケートも2～3月ころ実施する予定である。

2 回答者の所属大学および学年

所属大学	学年				総計
	2	3	4	5	
京都教育大学			3		3
京都大学		1			1
京都文教大学			1		1
同志社大学		1			1
立命館大学		2	2	1	5
龍谷大学	1	5			6
佛教大学		1			1
総計	1	10	6	1	18

3 回答結果

No.	設問	回答	人数
1	受講した授業の形式についてお答えください	すべてオンライン授業	12
		オンラインおよび対面による授業	4
		すべて対面による授業	2
2	オンライン授業で行った活動をお答えください(複数回答可)	リアルタイムでWEBを活用した授業を受けた	11
		授業動画やスライドを視聴した	13
		文献や資料を読んだ	7
		課題を提出した	17
		小テストに答えた	5
		受講者間で話し合いやワークをした	1
		WEBを活用した授業で発表した	1
		担当教員と質疑応答した	6
		課題や小テストの結果を返してもらった	3
3	オンライン授業で利用したWEBシステムについてお答えください(複数回答可)	Moodle	2
		manaba	2
		Zoom	11
		Teams	0
		Google Classroom	2
		その他[YouTube]	1
4	オンライン授業の受講姿勢についてお答えください	いつもより前向きに受講した	12
		いつもどおりに受講した	6
		仕方なく受講した	0
		途中から受講をやめた	0
		最初から受講しなかった(放棄した)	1
5	「途中から受講をやめた/最初から受講し	対面授業を受けに行くことが目的だったから	0

No.	設問	回答	人数
	なかった(放棄した)」と回答した方は、その理由をお答えください(複数回答可)	設備環境(インターネット・プリンタ等)が不十分だから	0
		担当教員の授業進行に不満があったから	0
		授業内容がおもしろくなかったから	0
		その他[オンライン講義は行われていない]	1
6	オンライン授業においてよかったこと・うまくいったことをお答えください(複数回答可)	担当教員と双方向のやりとりができた	10
		受講者同士でのやりとりができた	1
		好きな時間に授業に取り組めた	9
		授業動画を繰り返し閲覧できた	6
		特にな	2
		その他[交通費・宿泊費などが浮いたこと]	1
7	オンライン授業において残念だったこと・困ったことをお答えください(複数回答可)	担当教員と双方向のやりとりができなかった	2
		受講者同士でのやりとりができなかった	4
		期待していたことが学べなかった	2
		担当教員からの指示がわかりにくかった	1
		課題等の量が多かった	6
		インターネット通信やプリントにかかる費用が大きかった	1
		特にな	5
		その他[オンライン講義は行われていない]	1
		その他[つい開始時間を忘れて過ごしてしまうことがあった]	1
8	授業の内容についてお答えください	満足	11
		やや満足	5
		どちらでもない	1
		やや不満	0
		不満	1
11	授業全体の満足度をお聞かせください	満足	12
		やや満足	4
		どちらでもない	1
		やや不満	0
		不満	1
12	この科目を履修した理由をひとつだけお答えください	シラバスの内容が良かった	11
		大学カリキュラムの受講指定科目だった	0
		卒業必要単位修得のため	2
		時間的に都合が良かった	1
		単位修得しやすそうだった	0
		通しやすい場所だった	0
		先輩・友人・教職員の勧め	1
		他大学教員・学生との交流	2
		その他[その領域の見地を深めるため]	1
13	授業の感想をお聞かせください(自由記述)	実践を通して技能を身につけることができるだけでなく、グループワークなどを通して楽しく自由に講義・課題に取り組めて、非常に面白い講義でした。	—
		資料も説明もとても分かりやすかったです。先生の物腰も柔らかく聞きやすく、勉強になりました。オフラインだと通学がかなり大変だったと思うので、オンラインで良かったと感じました。	—
		自分の大学にいたのでは絶対に受講できない講義だったので、毎日がとても楽しかったです。	—
		もともと興味のある分野を受講することができてよかった	—
		実りある学びができた。	—

No.	設問	回答	人数
		現代人が抱える健康問題、虐待、孤独死など詳しく知ることができ、今後の研究に活かすことができると感じた。	—
		社会人になってからも、活用できるような学びができ、非常に良かった。 また、先生の対応も早く、受講しやすかった。	—
		一方向の授業であり、質問がしにくい。また、授業後の課題に質問欄があり、質問をいくつかしたが、返答が返ってこなかった。 スライドを読み上げているような形式であり身にならなかった。	—
		社会人になる上で、知っておくべきことも沢山学ぶことができ、非常に良かった。	—
		学びたかった内容だったため、とても有意義な時間だったが、カリキュラム上中々他の大学に行くことが出来ないのでキャンパスに行ってみてみたかった気持ちがある。 また、ディスカッションもzoomということもあり消極的な印象だった。	—
14	授業内容に興味がある科目がオンライン授業として開講・募集されている場合、履修したいですか？ (理由は自由記述)	したい	14
		したくない	2
		わからない	2
		【したい】の理由	—
		時間に融通が効く、交通費を要しないなど、メリットが多かったというように思うため	—
		所属大学から申請できる科目がかなり限られていた点。所属大学を通して申請しないといけません、単位認定される科目がかなり限られていました。単位認定科目が増えればうれしいですし、単位はなくてもかまわないので興味がある科目を聴講できるシステムにしていただけると嬉しいです。	—
		様々な大学が密集している京都を、学問の側面からでも思う存分に楽しみたいから。	—
		実りある学びができた。	—
		HPで授業を検索するのが少しわかりにくいので改善してほしい。	—
		距離の遠い大学も受講しやすくなるため。	—
		事前に学生からの評価など閲覧できると嬉しい。	—
		遠い距離の大学も、より受講しやすくなるため。	—
		【したくない】の理由	—
		オンラインに不慣れな科目担当者が多く、従来の対面型の講義に比べ理解度や内容が劣るため。	—
		オンライン講義が好きでないため。	—
		【わからない】の理由	—

No.	設問	回答	人数
		オンラインにはメリットとデメリットがあるが、今の段階ではスムーズにいかなかったり使い方がわからないなどデメリットの方が目立つと感じているのでオンライン浸透するまではまだ分からない	—
		オンライン授業が本当に実入りのあるものだと思えない。対面だからこそ、雰囲気の中で学ぶからもっと知りたいという感情がある部分もあると思うから。	—
15	単位互換制度で改善してほしい点があればご記入ください	<p>手続きの方法から実際に大学で講義を受講するまでの手順や流れ、手続き等が既存の説明ではわかりにくい。</p> <p>実際、複数回大学へ問い合わせを行わなければならなかった。</p> <p>特になし</p> <p>特にありません。</p> <p>特になし</p> <p>特になし</p> <p>安易にオンライン授業にしてほしくないです。</p> <p>春学期は仕方なかったとはいえ学費と授業がいささか釣り合っていなかった部分が所属大学でよく見られました。せっかくの学べる機会だからこそ、長考してオンラインを決めてほしいです。</p>	—

以上

2020 年度単位互換事業の出願状況について

1. 概要

2020 年度の単位互換事業には、加盟校から 401 科目（2019 年度 415 科目）の提供があった。また、3 月 19 日から 4 月 10 日までを前期出願期間として、9 月 4 日から 9 月 18 日までを後期出願期間として履修生を募ったところ、延べ 1,111 名（2019 年度 1,405 名）の出願があった。なお、開講期別では前期 844 名、後期 267 名であった。

2. 実績

別紙参照

3. 総括

（1）単位互換への提供科目数について

2020 年度前期提供科目数は、2019 年度から 14 科目減の 401 科目となり、過年度からの減少傾向は続いている。これは、各大学におけるカリキュラムポリシーに基づく科目の充実や単位互換履修の条件設定等の影響、履修登録期間の厳格化、近年に見られた新学部学科認可審査における包括的な単位互換科目への指導の影響による受講可能な学生数の母数減少があるとみられる。その上今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により計 119 科目において不開講あるいは提供取りやめが発生した。

2019 年度に国において単位互換を促進する形で大学設置基準の解釈が見直されたことを踏まえ、引き続き、単位互換・京カレッジ事務担当者会議等を中心に丁寧な周知・助言に取り組み、各大学における学内規程及び関連ポリシー整備等につなげていくことが必要である。

なお、2020 年度の後期提供科目数は 97 科目で、2019 年度の 136 科目に比べ大きく減少した。

（2）単位互換科目への出願状況

前期出願期間(3/19～4/10)の出願者数は延べ 844 名であった(前年度比 356 名減(▲29.6%))。前年度と比べ減少者数が多かった大学は主に立命館大学-214 名、京都女子大学-60 名、京都産業大学-31 名であり、一方、増加した大学は、龍谷大学 15 名、京都先端科学大学 7 名など一部にとどまった。受入者数は延べ 442 名(前年度比 628 名減(▲58.6%))。出願者数に対する受入者数の割合は 52.3%であった(前年度の割合は 89.1%)。

大きく減少した要因は主に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの大学において一定期間の休校やオンライン授業への変更措置などが講じられ、単位互換においても送受および受入が中止あるいは大幅縮小されたことであると考えられる。

また、後期出願期間(9/4～18)の出願者数は延べ 267 名であった(前年度比 62 名増(+30.2%))。出願者数が多かったのは主に京都先端科学大学 104 名(前年度比 45 名増)、京都産業大学 73 名(前年度比 17 名増)、龍谷大学 65 名(前年度比 11 名増)。受入者数は延べ 245 名(前年度比 44 名増(+21.8%))であった。

（3）今後について

2020 年度、多くの単位互換科目で行われているオンライン授業の実施状況について調査をし、大学コンソーシアム京都としての新たな e ラーニング展開に活かしていく予定である。

また、「京都世界遺産 PBL 科目」と並び特に意欲的な学生層に向けて 2020 年度から開設した「京都ミュージアム PBL 科目」の運営を適切にサポートし、京都ならではの特色ある単位互換科目群のさらなる発展を目指す。

以上

2020年度単位互換事業の出願状況について(別紙)

2020年度(後期登録)											
大学・短期大学(部)名		送出し				受入れ				提供 科目数	
		延べ出願者数1		延べ履修許可者数		延べ出願者数2		延べ履修許可者数			
			前年度同 期比		前年度同 期比		前年度同 期比		前年度同 期比		
1	201	池坊短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	202	大阪医科大学	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	-	大阪成蹊大学	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	204	大谷大学	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	205	大谷大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	206	華頂短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	
7	207	京都大学	0	0	0	0	33	10	17	-6	3
8	208	京都外国語大学	0	0	0	0	0	-1	0	-1	0
9	209	京都外国語短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	210	京都先端科学大学 (旧:京都学園大学)	104	48	95	41	16	16	16	16	7
11	211	京都教育大学	0	-1	0	-1	6	1	6	1	9
12	212	京都経済短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	213	京都光華女子大学	0	0	0	0	0	-2	0	-1	0
14	214	京都光華女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	215	京都工芸繊維大学	7	7	7	7	12	-5	12	-5	4
16	216	嵯峨美術大学 (旧:京都嵯峨芸術大学)	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0
17	217	嵯峨美術短期大学 (旧:京都嵯峨芸術大学短期大学部)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	218	京都産業大学	73	17	64	8	7	5	7	5	6
19	219	京都女子大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	-	京都女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	221	京都市立芸術大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	222	京都精華大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	223	京都西山短期大学	0	0	0	0	1	1	0	0	1
24	224	京都芸術大学 (旧:京都造形芸術大学)	0	-4	0	-4	0	-1	0	-1	0
25	225	京都橘大学	2	2	1	1	9	6	9	6	6
26	-	成美大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	227	京都ノートルダム女子大学	0	0	0	0	15	5	12	2	6
28	228	京都府立大学	0	-1	0	-1	0	-1	0	-1	0
29	229	京都府立医科大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	230	京都文教大学	1	-8	1	-8	31	28	31	28	6
31	231	京都文教短期大学	0	0	0	0	4	4	4	4	3
32	232	京都薬科大学	1	0	1	0	22	7	22	7	1
33	233	種智院大学	0	0	0	0	10	10	10	10	7
34	234	成安造形大学	0	-4	0	-4	0	-18	0	-13	0
35	-	京都聖母学院短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	236	同志社大学	7	6	7	6	34	-12	34	-12	14
37	237	同志社女子大学	3	3	3	3	0	0	0	0	0
38	238	花園大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	239	佛教大学	4	-1	4	-1	35	16	33	14	10
40	240	平安女学院大学	0	-7	0	-7	0	0	0	0	0
41	241	平安女学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	242	明治国際医療大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	243	立命館大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	244	龍谷大学	65	11	62	9	32	-9	32	-9	14
45	245	龍谷大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	246	早稲田大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	-	昭和女子大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	-	昭和女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	249	京都華頂大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	250	京都美術工芸大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
51	703	福知山公立大学 (旧:成美大学)	0	-4	0	-4	0	0	0	0	0
計			267	62	245	44	267	62	245	44	97

2020年度単位互換事業の出願状況について(別紙)

大学・短期大学(部)名		2020年度(前期登録+後期登録)								提供 科目数	
		送出し				受入れ					
		延べ出願者数1		延べ履修許可者数		延べ出願者数2		延べ履修許可者数			
			前年度同 比		前年度同 比		前年度同 比		前年度同 比		
1	201	池坊短期大学	0	0	0	0	60	-18	60		1
2	202	大阪医科大学	1	-2	1	-2	0	0	0	0	2
3	-	大阪成蹊大学	0	0	0	0	0	0	0	0	-
4	204	大谷大学	3	-9	1	-11	46	-27	33	-40	12
5	205	大谷大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	206	華頂短期大学	0	-1	0	-1	0	-2	0	-2	1
7	207	京都大学	5	2	4	1	127	3	76	-48	41
8	208	京都外国語大学	4	-4	3	-5	3	-2	2	-3	3
9	209	京都外国語短期大学	2	0	1	-1	1	0	1	0	1
10	210	京都先端科学大学 (旧:京都学園大学)	159	55	115	16	27	13	27	13	12
11	211	京都教育大学	6	2	5	1	35	18	30	13	30
12	212	京都経済短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	3
13	213	京都光華女子大学	0	0	0	0	4	0	3	0	14
14	214	京都光華女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	215	京都工芸繊維大学	9	4	9	4	12	-29	12	-29	6
16	216	嵯峨美術大学 (旧:京都嵯峨芸術大学)	0	-3	0	-2	1	-3	0	-4	2
17	217	嵯峨美術短期大学 (旧:京都嵯峨芸術大学短期大学部)	0	-4	0	-4	6	5	0	-1	2
18	218	京都産業大学	143	-14	100	-48	142	-51	9	-106	24
19	219	京都女子大学	0	-60	0	-57	0	-2	0	-2	6
20	-	京都女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	-
21	221	京都市立芸術大学	3	0	0	-3	15	14	15	14	21
22	222	京都精華大学	5	1	4	0	7	-3	2	-8	7
23	223	京都西山短期大学	0	0	0	0	34	34	33	33	2
24	224	京都芸術大学 (旧:京都造形芸術大学)	0	-11	0	-11	10	-35	10	-19	3
25	225	京都橋大学	5	5	3	3	45	-8	45	16	16
26	-	成美大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	-
27	227	京都ノートルダム女子大学	0	-7	0	-7	21	2	18	-1	11
28	228	京都府立大学	2	-7	2	-6	2	0	2	0	1
29	229	京都府立医科大学	0	0	0	0	29	23	29	23	2
30	230	京都文教大学	2	-10	2	-10	38	25	37	24	12
31	231	京都文教短期大学	0	0	0	0	4	4	4	4	5
32	232	京都薬科大学	2	1	2	1	36	8	31	3	2
33	233	種智院大学	6	-1	4	-3	21	10	10	-1	14
34	234	成安造形大学	0	-5	0	-5	5	-27	0	-27	8
35	-	京都聖母学院短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	-
36	236	同志社大学	46	-5	30	-19	72	-102	69	-105	32
37	237	同志社女子大学	10	-3	9	-4	9	-6	9	-6	11
38	238	花園大学	2	1	1	0	51	-29	0	-80	12
39	239	佛教大学	8	-19	8	-17	37	9	35	7	10
40	240	平安女学院大学	3	-9	1	-11	7	-2	1	-8	3
41	241	平安女学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	242	明治国際医療大学	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0
43	243	立命館大学	552	-214	261	-396	19	-5	10	-14	12
44	244	龍谷大学	120	26	111	19	160	-106	56	-210	46
45	245	龍谷大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	246	早稲田大学	13	3	10	0	25	-5	18	-2	10
47	-	昭和女子大学	0	0	0	0	0	0	0	0	-
48	-	昭和女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	-
49	249	京都華頂大学	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50	250	京都美術工芸大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
51	703	福知山公立大学 (旧:成美大学)	0	-4	0	-4	0	0	0	0	0
計			1111	-294	687	-584	1111	-294	687	-584	401

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会
2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2021年度京カレッジ「市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設補助費」 申請の採択について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

- 2021年度 京カレッジ「市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設補助費」の申請について、教育事業企画検討委員による事前審査を踏まえ、No.1~3を採択とする。事前審査の詳細は別紙のとおり。
- No.4・5は、2020年度に採択されていたものの感染症拡大のため不開講となった科目(同内容)の再申請であり、2021年度採択とする。

No.	コース	科目名	大学名	講座区分	回数(コマ)	受講料(円)	定員(人)	新規/継続	継続の場合の新たな視点
1	京都力養成コース	洛東の名所探訪 ～歩いて感じる観光資源としての文学2～	平安女学院大学	演習・実習	15	0	15	新規	
2	京都力養成コース	こんなに面白い京都の歴史民俗学 ～京都をもっとディープに知るための4話～	放送大学京都学習センター	入門	4	0	25	新規	
3	教養力養成コース	伝統行事からみる心と身体の関係 ～伝統行事は何故今でも続くのか?～	明治国際医療大学	入門	5	0	30	継続	2020年度は養生の方法の講義を中心に実施したが、2021年度は京都市内で行われている季節のイベントから自分たちの暮らしを考えることや、要望の多かった実技の実施を新たに取り入れる。
4	京都力養成コース	京都の歴史のなかの「新しい」時代・もの・出来事 ～多様な資料と手法によるアプローチ～	京都産業大学	入門	8	0	30	2020年度採択	
5	京都力養成コース	祇園祭と京都 ～祇園祭を多角的に検証する～	龍谷大学 龍谷エクステンションセンター	入門	6	0	20	2020年度採択	

留意事項：

前年度と同内容での継続申請は、新たな視点を盛り込むことを前提に、原則2年間まで可としています。

以上

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会

2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2021年度 京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース) 開設補助費申請事前審査結果

大学コンソーシアム京都
教育事業部

No.	コース	科目名	大学名	講座区分	新規/継続	継続の場合の新たな視点	各委員判定	各委員コメント
1	京都力養成コース	洛東の名所探訪 ～歩いて感じる観光資源としての文学2～	平安女学院大学	演習・実習	新規		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>感染症拡大の状況により、想定している形態等で開講できる環境となっているかどうか不安な面もありますが、京都における新たな観光の形の模索について期待します。</p> <p>新しい観光資源の開発に資することを期待したい。</p> <p>生きた教材として、洛東の名所を巡り、その場で感じたことを文学表現を用いて学生自身の言葉にする教育プログラムには大きな教育的な価値があると思われる。</p> <p>受講生の前提条件として、詩やエッセイを書く素養を身につけていることが求められるように思うが、募集要項にその旨明記されるのでしょうか？</p> <p>洛東に所縁のある様々な文学作品を通してその文学的表現から洛東の名所探訪へのアプローチはユニークであり教育的効果が期待される。</p>
2	京都力養成コース	こんなに面白い京都の歴史民俗学 ～京都をもっとディープに知るための4話～	放送大学京都学習センター	入門	新規		○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>大変興味深い内容であり、多くの一般市民の方々にとっても魅力的な講義であると思います。民俗学の観点からディープな京都の歴史に触れることが期待できる。</p> <p>キーワードを用いた、新しい視点での京都の魅力を知ることのできるプログラムであると評価することができる。</p> <p>普段、見過ごされがちの対象に目を向けて、京都を知る企画は、大変興味深い。</p>

No.	コース	科目名	大学名	講座区分	新規/継続	継続の場合の新たな視点	各委員判定	各委員コメント
3	教養力養成コース	伝統行事からみる心と身体の関係 ～伝統行事は何故今でも続くのか?～	明治国際医療大学	入門	継続	2020年度は養生の方法の講義を中心に実施したが、2021年度は京都市内で行われている季節のイベントから自分たちの暮らしを考えることや、要望の多かった実技の実施を新たに取入れる。	○ ○ ○ ○ ○ ○	今年度の受講生の反応等を踏まえた改善や新しい取り組みに期待します。 京都の伝統行事と心身とのかかわりについて考察するのみならず、実技を実施することに期待できる。 行事と心と体の関係に関する、古来よりの知恵をすることで、日本の伝統文化を理解することのできる優れた教育プログラムであると判断する。できれば、回数を増やすことの検討をお願いしたい。 コロナ禍の中、多くの行事や催しが中止になる中、どのように授業が展開されるのか、もう少し説明が欲しい（2021年度も現在の状況が続くことも考えられる）。 申請大学の特色を生かし日本古来の健康法「養生」への学びを通して京都の伝統文化や生活に触れることは有意義であり、新たな付加価値の創造を通じた地域人材育成への貢献も期待できる。

以上

受付 No. /

京カレッジ市民教養講座（教養力養成コース・京都力養成コース）

「講座開設補助金」申請書

 教養力養成コース
 京都力養成コースに以下の講座を申請します。（□をチェック）

申請日：2020年9月9日

講座名	洛東の名所探訪
サブタイトル	歩いて感じる観光資源としての文学 2

申請団体名	平安女学院大学		
申請代表者	(所属・役職) 国際観光学部教授	(氏名) 平居 謙	
事務連絡先	(所属・役職) 平安女学院大学 教務チーム (氏名) 飯田裕子		
	住所 部署名	〒569-1092 大阪府高槻南平台 5-81-1	
	TEL	072-693-2462	FAX 072-696-4919
	Email	hjukyomu@heian.ac.jp	URL

(以下、該当する場合はご記入ください。)

連携団体名			
連携団体代表者	(所属・役職)	(氏名)	印
連携団体 連絡責任者	(所属・役職)	(氏名)	
	TEL		Email 1
連携団体 連絡先	住所	〒	
	TEL		FAX
	Email 1		URL
出願区分 (何れかに○)	<input type="checkbox"/> 入門講座 →キャンパス外での学習や鑑賞活動を通して京都活性化のきっかけをつくる科目 <input checked="" type="checkbox"/> 演習・実習講座 →フィールドワークやグループワーク、実習等を通して京都地域に貢献する科目		

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

1. プログラムの概要

洛東には俳句・詩・短歌・小説・随筆など、さまざまな文学の舞台が存在する。事前にプリント類やテキストを通して、その中の代表的なものを把握、鑑賞する。討議に先立って実際にその場所を訪ね、その作品を知らずに行った時の感覚と比較検討する。また、その場所を訪問した際に感じたことを、詩またはエッセイの形で短くまとめ、討論のたたき台として相互に紹介しあう。またその持ち寄った作品感想・分析を相互に披露し、より幅の広い解釈に発展させる。理解をより定着させ深化させるために、各回の主題に適した外部講師を招き、受講生自らの自由主題作品合評も並行して行う。詩歌はもとより「秘められた要素の発見」「繊細さの形



象化」を旨とする。したがって、文学表現は「潜在的な洛東の魅力」を語るための媒体として最適であると考えることができる。

2. プログラムの内容 *全ての項目についてご記入ください。

(1) 受講生にとっての教育効果（受講生にとってのメリット）		
<p>《洛東の名所探訪一歩いて感じる観光資源としての文学 2》というタイトルどおり、同講座のシリーズ2として展開する。前年度受講した受講生はその経験の上に、また新しく受講する方がいる場合には、前年度受講生たちの指導のもとに観光地京都にとって大きな観光資源である名所旧跡を、具体的な文学作品と関連付ける形で体験し、その上で楽しみながら味わってゆく。これは多くの受講生にとって「観光資源」の本来の意味（観光用に演出された名所旧跡だけではなくその土地が生み出して来た文化的蓄積を感じさせるもの）を体感する絶好の機会になると考える。</p> <p>また、観光資源としての洛東の地を体験した上で、表現技法を駆使して感想・印象を発信することで、表現者としての自覚をさらに熟練させる。さまざまなイベント参加や出版の機会を持つことなく過ごしてきた書き手たちに、希望がある場合、講座終了後も引き続き勉強会の機会を提供するなど、継続して文化発信を行なう具体的方法を、同講座1同様に伝授する。</p>		
(2) 地域人材育成のきっかけ作りにどのように貢献するか		
<p>「地域人材の育成」とは、地域の特性を十分に理解した上で文化発信を自覚的に行なうことのできる人材と能力の開発であると考えている。そしてそれは特別なことではなく、それぞれが従来行なっている表現活動成果「発信」の方法を知ることであると考えている。</p> <p>本プログラムでは、現在では京都観光の前面に出てくることの少なくなってしまう観光資源としての「文学」ゆかりの地を探訪し、それに触発される形で作品を再度鑑賞。その上で丁寧で大胆な文学表現の形で発表・討議することで受講生を鍛錬する。これによって京都の魅力を外に知らしめる「京都力」人材として自立させる狙いを持つ。観光資源へのアプローチ、合評会・朗読会・出版からイベントの立ち上げ、継続的運営の方法など多岐に渡る発信方法を実際に体験できるように工夫する。講座受講生のレポート（希望者）を「Lyric Jungle」「on-line journal 月刊 新次元」に掲載するなど、フォローアップも含め、地域人材育成に関する対応は万全である。</p>		
(3) 本プログラム実施に際して、申請団体・連携団体が有している強み		
<p>[申請団体] 平安女学院大学 本学は京都に「国際観光学部」を有する。本学・本学部のポリシーの1つに「常に時代を先取りする観光の視点」により「新しい観光資源」を自ら主体的に切り拓くというものがある。担当者は同学部に所属。国際観光の視点を生かし学部全体のバックアップを得られる事が最大の強みである。</p> <p>[連携団体] *該当する場合のみ記入</p>		
(4) 本プログラムの授業構成（各回のタイトルとおおよその内容・各回2行以内でご記入ください）		
日程	コマ数	構成内容
■第1回 5月1日 (土)	1コマ目 14:20～ 15:50	「全体ガイダンス」①三十三間堂②吉田山③六波羅蜜寺④平安神宮⑤南禅寺⑥永観堂を舞台とする文学作品資料を配布。基礎的な解説を施す。
5月1日 (土)	2コマ目 16:00～ 17:30	「観光資源とは何か」観光を盛り上げるための観光資源とは何か。また現在の観光にとって「文学作品」が観光資源になり得るかどうかの考察。
■第2回 6月5日 (土)	3コマ目 14:20～ 15:50	「三十三間堂を描く」配布資料を熟読の上、講義前に各自で散策。当日とったメモを元に作品形式に仕上げた提出物を相互に批評し評価しあう。
6月5日 (土)	4コマ目 16:00～ 17:30	「三十三間堂を描いた名作を読む」三十三間堂について書かれた有名な作品を鑑賞し、受講生の作品と見比べて表現の可能性を分析・考察する。
■第3回 7月3日 (土)	5コマ目 14:20～ 15:50	「吉田山を描く」配布資料を熟読の上、講義前に各自で散策。当日とったメモを元に作品形式に仕上げた提出物を相互に批評し評価しあう。

7月3日 (土)	6コマ目 16:00～ 17:30	「吉田山を描いた名作を読む」吉田山について書かれた有名な作品を鑑賞し、受講生の作品と見比べて表現の可能性を分析・考察する。
■第4回 8月7日 (土)	7コマ目 14:20～ 15:50	「六波羅蜜寺を描く」配布資料を熟読の上、講義前に各自で散策。当日とったメモを元に作品形式に仕上げた提出物を相互に批評し評価しあう。
8月7日 (土)	8コマ目 16:00～ 17:30	「六波羅蜜寺を描いた名作を読む」六波羅蜜寺について書かれた有名な作品を鑑賞し、受講生の作品と見比べて表現の可能性を分析・考察する。
■第5回 9月4日 (土)	9コマ目 14:20～ 15:50	「平安神宮を描く」配布資料を熟読の上、講義前に各自で散策。当日とったメモを元に作品形式に仕上げた提出物を相互に批評し評価しあう
9月4日 (土)	10コマ目 16:00～ 17:30	「平安神宮を描いた名作を読む」平安神宮について書かれた有名な作品を鑑賞し、受講生の作品と見比べて表現の可能性を分析・考察する
■第6回 10月2日 (土)	11コマ目 14:20～ 15:50	「南禅寺を描く」配布資料を熟読の上、講義前に各自で散策。当日とったメモを元に作品形式に仕上げた提出物を相互に批評し評価しあう
10月2日 (土)	12コマ目 16:00～ 17:30	「南禅寺を描いた名作を読む」南禅寺について書かれた有名な作品を鑑賞し、受講生の作品と見比べて表現の可能性を分析・考察する
■第7回 11月6日 (土)	13コマ目 14:30～ 16:00	「外側から見た京都」「小説」「近代」を鍵にアプローチ。京都の魅力を作品と資料とによって客観化する。普段とは異なる視線で京都を読む
■第8回 12月4日 (土)	14コマ目 14:30～ 16:00	「永観堂を描く」配布資料を熟読の上、講義前に各自で散策。当日とったメモを元に作った作品と名作とを比較して、表現の可能性を模索する。
■第9回 1月22日 (土)	15コマ目 14:30～ 16:00	「まとめと次年度への課題」本年度（継続参加者は前年度のものも含め）探訪した観光地と観光資源について再考。次年度の講義の紹介など。
(5)講義の開講場所（○を記入ください）		
（ ） オンキャンパス（自大学）で開講する (o) キャンパスプラザ京都で開講する		
(6)学外実習場所とその選定理由		
[実地場所] 洛東に所在する観光スポット（詳細下記）を事前に訪問する		
[選定理由] 人がある場所を訪れる時、「その場所にまつわる物語」を知っていればいるほど、楽しみの度合いは大いに増す。「その場所にまつわる物語」は、歴史（史実）に依拠する場合が多い。しかし、歴史と同様、また場合によっては歴史以上に興味深いのは、その場所を舞台として為された「創作」であって、京都洛東には、様々な「物語」が残されている。本講座では、まず洛東に散在する名所・観光地を舞台とする作品を紹介する。その上で、その場所を実際に歩くことで、風景自体がどのように感じられるか、その場所が放つメッセージ感受がどのように深まるかを受講生実感できるような場所を設定した。条件として非常に有名で、多くの人が一度は訪れたことがあるだろう場所、に限定した。作品を鑑賞したのちに訪れた時の印象と、作品を知らずに行った時の感覚とを比較することにもつながるようになるためである。「長身のひかへの射手や弓始」（山口青邨）で知られる①三十三間堂、中川与一『天の夕顔』に現れる②吉田山、「六波羅や市の聖の裘」（後藤綾子）その他の句に多く詠われている③六波羅蜜寺、谷崎潤一郎『細雪』の④平安神宮、「冷さまじや疎水の下南禅寺」（桂樟蹊子）で有名な⑤南禅寺、佐藤春夫『明子曼荼羅』にも登場する⑥永観堂を訪れる。（ちなみに1年目は高浜虚子の「花篝衰へつゝも人出かな」で知られる円山公園、渡辺淳一『化粧』に見られる祇園界隈、梶山千鶴子の「萩刈りて高き蓑は知恩院」に現れる知恩		

院、五木寛之『燃える秋』で知られる岡崎界限、山田みづえ「産寧坂ななめ斜めに春日射す」他、多くの句に見られる三年坂、そして「哲学の道を春着の裾捌き」（山口誓子）の哲学の道を対象として選んだ。） また年間を通して講義を行う予定の教室（キャンパスプラザ京都）は、2000年から2008年にかけて毎夏、集中講義「詩のボクシング講座」が開催され、2002年から2008年までの8年間「POEM バザール」の開催地として表現者たちの記憶に残っている場所である。さらには、在京都創作者育成の一翼を担い続けてきた講座「POP現代詩創作講座」「未来詩人講座」「Lyric Quest」の開催地として、表現者の間では重要な場所として既に認識されており、当地で講義を行うことは近年の京都の詩の躍動の歴史を追体験することでもあり、極めて意義深い。

(7) 申請団体と連携団体等との連携内容（*該当する場合のみ記入してください。）

(8) 過年度の開催実績（同一内容で開催された年度に○を記入ください）
2018年度[] 2019年度[] 2020年度[]

(9) 受講料および受講定員
受講料：[無料]円 受講定員：[15]名
* 実費経費を除き、原則、無料が望ましい。
テキスト代金 2,500円 文学関連書籍（テキスト）

3. 授業実施体制

[授業担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
佐藤義雄	前 京都教育大学教授 現 明治大学文学部名誉教授	小説の方法 ／空間描写と観光情報
西村成樹	九州国際大学教授	詩で場所を描くということ
岩村美保子	詩人・エッセイスト	エッセイの書き方／人前で表現する事
橋本文也	詩人・DJ	新しい時代の言葉／有効なプレゼン法
魚野真美	詩人	詩の書き方／楽しい表現
平居謙	平安女学院大学教授	本講座 企画責任・コーディネート

[事務担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
飯田裕子	平安女学院大学 高槻キャンパス教務チーム	キャンパスプラザ京都への事務連絡
平居謙	平安女学院大学 国際観光学部教授	（本企画コーディネーター） 各講師への連絡、企画説明、授業運営補助等

4. その他特記事項

- ①通常大学授業は90分で行い、それを1コマと換算している。本プログラムの場合もそれに合わせて開催する
- ②以前別の社会人講座において「講義の日程までの間に、日時を決めて観光地を探訪」という形式を取ったところ、社会人であるため都合が合わない受講生が多かった。従って本講座では、事前に周知し、各自で対象地を訪問する形を取る。
- ③同講座1（2020年実施）同様、講座に受講生以外に、必要に応じて主に関西在住の詩人たちをゲストとして迎え、詩を巡る討論に参加願う場合がある（ゲストは、謝礼対象外）。これは講座生だけでは、読み切れない、「創作を長く続けている立場からの鑑賞」を共に討論する中

で講座生に実感してもらい、レベルを底上げする目的で行われる。また、現在の目から見た名作の限界や可能性に関する意見・提案を受講生とともに共同討議する。

④洛東には多くの名所が存在するため、本講座は2020年度に開催した「1」と21年度の「2」の2年間に渡って開催する予定である。2020年度は単年度で一旦完結させたため、受講生が2021年度のみ受講することも可能なように配慮している。

参考 探訪予定地

前半予定（2020年度） ①円山公園②祇園界限③知恩院④岡崎界限⑤三年坂⑥哲学の道
後半予定（2021年度） ⑦三十三間堂⑧吉田山⑨六波羅蜜寺⑩平安神宮⑪南禅寺⑫永観堂

以上

(様式1)

受付 No.

京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース) 開設申請書

以下の内容にて、京カレッジ市民教養講座開設補助費の対象となる講座を申請します。

申請日：2020年9月25日

コース	<input checked="" type="checkbox"/> 京都力養成コース <input type="checkbox"/> 教養力養成コース ※ <input type="checkbox"/> にチェック
講座名	こんなに面白い京都の歴史民俗学
サブタイトル	京都をもっとディープに知るための4話

申請団体名	放送大学京都学習センター		
申請代表者	(所属・役職) 所長	(氏名) 杉島 敬志	
事務連絡先	(所属・役職) 事務長	(氏名) 藤本 佳人	
	住所	〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都3階	
	部署名	放送大学京都学習センター 担当：松本	
	TEL	075-371-3001	FAX 075-371-3033
	Email	kyoto-sc@ouj.ac.jp	URL http://www.ouj.ac.jp

(以下、該当する場合はご記入ください。)

連携団体名			
連携団体代表者	(所属・役職)	(氏名)	印
連携団体連絡責任者	(所属・役職)	(氏名)	
	TEL	Email	
連携団体連絡先	住所	〒	
	TEL	FAX	
	Email	URL	

出願区分 (何れかに○)	<input type="radio"/> 入門講座 →キャンパス外での学習や鑑賞活動を通して京都活性化のきっかけをつくる科目 <input type="radio"/> 演習・実習講座 →フィールドワークやグループワーク、実習等を通して京都地域に貢献する科目
-----------------	---

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

(様式1)

1. プログラムの概要 *今回申請されるプログラムの要点・特徴を400字以内でご記入ください

あまり知られていない京都の歴史と民俗の中から、一般の方々の興味を引く4話を取り上げ、歴史民俗学のまなざしからその謎解きを試みます。歴史と伝承が織りなす独自の世界を、いろいろな見方から読み解いてみましょう。京都は千年余にわたって都がおかれた世界的にも稀有な都市です。それゆえに、私たちが当たり前、何の疑問も抱かずに暮らしている身近な場所に、実は様々な謎がひしめいています。それらの知られざる謎を掘り起し、歴史を遡りながらそれぞれの事象の背景に何があるのかについて考えてゆきます。具体的には「川」・「辻」・「風流」・「山」という4つの項目を設定し、京都ならではの千年を超える歴史を紐解きながら、受講生の皆さんとともに考えてみたいと思います。

2. プログラムの内容 *全ての項目についてご記入ください。**(1) 受講生にとっての教育効果(受講生にとってのメリット)**

今まで知らなかったディープな京都の歴史と伝承の世界を覗くことができます。そのことにより、これまで考えることがなかった、さらに、知っているようで実は知らなかった身近な場所の民俗的意味や歴史的背景について学び、考えることができるようになります。

(2) 地域人材育成のきっかけ作りにどのように貢献するか

京都の表面的な歴史を学ぶだけではなく、いわば京都の裏側の顔を知ることによって、京都を見る目が変わります。そのことによって、自分たちが暮らす京都の町のさまざまな側面を知ることができ、結果として、それぞれの地域で暮らす人々のアイデンティティを喚起し、地域を愛する豊かな感性を養うことに繋がると思います。

(3) 本プログラム実施に際して、申請団体・連携団体が有している強み

[申請団体]

従来から幅広い年齢層に対応する教育プログラムを蓄積している。

[連携団体] *該当する場合のみ記入

(4) 本プログラムの授業構成(各回のタイトルと授業内容を3~4行程度におまとめいただきご記入ください)

日程	コマ数	構成内容
6月 22日 2講時	1コマ目	「川」・・・京都の人々にとって河川はどのような役割を果たしていたのでしょうか。鴨川を中心として、河川と橋の歴史を辿りながら、その民俗的意味について考えます。
7月 20日 2講時	2コマ目	「辻」・・・京都には「〇〇の辻」と称する地名がいくつか存在します。中でももっとも象徴的な場所は、この世とあの世の境とされる「六道の辻」でしょう。六道の辻とは、何処なのでしょう。

(様式1)

8月 3日 2講時	3コマ目	「風流」・・・風流とは京都で生まれ育まれた独自の文化です。講座では、祇園祭と盆行事の共通性について、風流という概念を媒介として考えてみたいと思います。
9月 28日 2講時	4コマ目	「山」・・・京都は三方を山に囲まれた盆地です。京都を代表する山といえば、西の愛宕山、東の比叡山でしょう。特に謎の多い愛宕山を中心に、京都の人々と山との係わりについて考えます。
月 日	5コマ目	
月 日	6コマ目	
月 日	7コマ目	
月 日	8コマ目	
月 日	9コマ目	
月 日	10コマ 目	
月 日	11コマ 目	
月 日	12コマ 目	
月 日	13コマ 目	
月 日	14コマ 目	
月 日	15コマ目	

(5)講義の開講場所 (○を記入ください)

 オンキャンパス(自大学)で開講する キャンパスプラザ京都で開講する

(6)学外実習場所とその選定理由

[実地場所]

[選定理由]

(7)申請団体と連携団体等との連携内容 (*該当する場合のみ記入してください。)

(様式1)

(8) 過年度の開催実績 (同一内容で開催された年度に○を記入ください)

2018年度 [] 2019年度 [] 2020年度 []

(9) 受講料および受講定員

受講料:[0]円 受講定員:[25]名

* 実費経費を除き、原則、無料が望ましい。

3. 授業実施体制

[授業担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
八木 透	佛教大学・教授	講義全般を担当

[事務担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
藤本 佳人	放送大学京都学習センター 事務長	事業に関する事務全般等
松本 裕子	放送大学京都学習センター 事務職員	上記の補佐

4. その他特記事項

- ・ 授業は6月～9月、月1回を予定しています。
- ・ 対面授業を予定しています。感染予防の観点から、第4講義室の利用をお願いいたします。
- ・ 授業時間は、2講時でお願いいたします。

以上

(様式1)

受付 No.

京カレッジ市民教養講座（教養力養成コース・京都力養成コース）

「講座開設補助金」申請書

■教養力養成コース 京都力養成コースに 以下の講座を申請します。（をチェック）

申請日： 2020 年 10 月 7 日

講座名	伝統行事からみる心と身体の関係
サブタイトル	～伝統行事は何故今でも続くのか？～

申請団体名	明治国際医療大学		
申請代表者	（所属・役職）鍼灸学部 学部長	（氏名）伊藤 和憲	
事務連絡先	（所属・役職）教務課	（氏名）	
	住所 〒629-0392		
	部署名 京都府南丹市日吉町 明治国際医療大学 教務課		
	TEL 0771-72-1183	FAX 0771-72-1189	
	Email sec_educ@meiji-u.ac.jp	URL	

(以下、該当する場合はご記入ください。)

連携団体名			
連携団体代表者	（所属・役職）	（氏名）	印
連携団体連絡責任者	（所属・役職）	（氏名）	
	TEL	Email	
連携団体連絡先	住所 〒		
	TEL	FAX	
	Email	URL	

出願区分 (何れかに○)	(○) 入門講座 →キャンパス外での学習や鑑賞活動を通して京都活性化のきっかけをつくる科目
	() 演習・実習講座 →フィールドワークやグループワーク、実習等を通して京都地域に貢献する科目

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

(様式1)

1. プログラムの概要 *今回申請されるプログラムの要点・特徴を400字以内でご記入ください。

日本独特の健康法に「養生」という季節に応じた生活習慣があります。

「養生」とは、「命を正しく全うすること」とされており、健康で美しく・長生きするためには季節に応じた生活が必要であると解いています。特に季節の生活は、お祭りなどの伝統文化や生活習慣と密接に関係していることから、伝統文化が根付いている京都での生活は、健康を維持するための養生暮らしに適した環境といえます。

そこで、今回は全国各地に残る伝統習慣、さらには京都のイベントが心と身体にどのような関係を与えるのかを考えてみたいと思います。

2. プログラムの内容 *全ての項目についてご記入ください。**(1) 受講生にとっての教育効果（受講生にとってのメリット）**

日本に古くから伝わる健康法である養生を学習することで、季節に応じた健康管理ができるようになるとともに、京都で古くから行われてきた伝統文化や生活習慣と健康の関連について再認識することで、京都で暮らす意味を健康という視点から再認識できる。

(2) 地域人材育成のきっかけ作りにどのように貢献するか

京都の伝統文化や生活習慣が我々の健康法にどれだけ深くかかわっているのかを知ることで、京都歴史に健康という新たな付加価値をつけることができる。そして、京都の伝統文化や生活習慣を最大限に活用した京都ならではの健康タウンを築くきっかけになり、ヘルスツーリズムという新たな産業を担う人材を育成できる可能性がある。

(3) 本プログラム実施に際して、申請団体・連携団体が有している強み

【申請団体】申請団体 明治国際医療大学

日本で数少ない東洋医学を基盤とした大学であり、伝統医学と健康に関する数多くのデータと蓄積しており、地域の方々の健康増進に力を入れている。

【連携団体】*該当する場合のみ記入

(4) 本プログラムの授業構成

(各回のタイトルと授業内容を3,4行程度におまとめ頂き、ご記入ください。)

日程	コマ数	構成内容
7月3日	1コマ目	養生ことはじめ 日本には季節ごとに色々なお祭りや伝統習慣があります。そこで、それらの伝統習慣にはどんな意味があるのを考える上で、その基本となる身体の原理を学びます。
8月7日	2コマ目	春の行事と健康 春にはたくさんの伝統行事があります。節分に始まり、ひな祭り、都踊り、八十八夜などが何故行われ、身体や心にどのような影響を与えるのかについて考えてみたいと思います。

(様式1)

9月4日	3コマ目	夏の行事と健康 夏にはたくさんの伝統行事があります。貴船まつり、田植え祭り、夏の大祓、七夕、祇園祭などが何故行われ、身体や心にどのような影響を与えるのかについて考えてみたいと思います。
10月2日	4コマ目	秋の行事と健康 秋にはたくさんの伝統行事があります。お盆や重陽の節句、八朔、十五夜や十三夜などが何故行われ、身体や心にどのような影響を与えるのかについて考えてみたいと思います。
11月6日	5コマ目	冬の行事と健康 冬にはたくさんの伝統行事があります。亥の子の祝い、七五三、歳の市、大晦日、七草がゆなどが何故行われ、身体や心にどのような影響を与えるのかについて考えてみたいと思います。
月 日	6コマ目	
月 日	7コマ目	
月 日	8コマ目	
月 日	9コマ目	
月 日	10コマ目	
月 日	11コマ目	
月 日	12コマ目	
月 日	13コマ目	

(様式1)

月 日	14 コマ 目	
月 日	15 コマ 目	

(様式1)

(5)講義の開講場所 (○を記入ください)		
() オンキャンパス(自大学)で開講する (○) キャンパスプラザ京都で開講する		
(6)学外実習場所とその選定理由		
[実地場所] 知恩院 和順会館		
[選定理由]		
知恩院は京都市内にあるも関わらず、周囲には自然が多く、四季の変化を感じやすい場所である。そのため、季節に応じた生活を提案する本講座にはふさわしい環境である。また、本講座では身体を動かすなどのアクティビティを行うが、近くには円山公園など人が少なく広いスペースもあり、外で呼吸法やヨガなどを行うには適している上、雨の場合でも和順会館内のスペースで同様な活動が行えることから知恩院を選択した。		
(7)申請団体と連携団体等との連携内容(*該当する場合のみ記入してください。)		
(8)過年度の開催実績 (同一内容で開催された年度に○を記入ください)		
2017年度 [] 2018年度 [] 2019年度 [○]		
(9)受講料および受講定員		
受講料:[0]円 受講定員:[30]名		
* 実費経費を除き、原則、無料が望ましい。		

3. 授業実施体制

[授業担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
伊藤 和憲	鍼灸学部・教授・学部長	全体のコーディネート・講師
山崎 翼	鍼灸学部・講師	講師
吉田 行宏	鍼灸学部・講師	講師
和辻 直	鍼灸学部・教授	講師
廣 正基	鍼灸学部・教授	講師

[事務担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
伊藤 庸古	教務課	事務手続き

(様式1)

4. その他特記事項

本講座は、前年度の「季節に応じた養生生活」と同系の講座である。前回は養生の方法を中心にお話をしたが、今回は特に養生のやり方だけでなく、京都市内で行われている季節のイベントを題材に、それぞれの意味や役割をみんなで考えながら、自分たちの暮らしを考える講座に特化する。また、今回の講座では実技に関する要望が多かったことから、キャンパスプラザでの講義でも座学だけでなく、座学に対応した実技を毎回30分程度実施することでより、養生の習得を目指す。

なお、養生ことおさめでは、7回の学習成果を振り返ったうえ、自分たちの知識を他の人に伝える練習として、参加者とともに冬の養生イベント（2-3月）をキャンパスプラザで開催するための、企画作りにも参加してもらい、学んだ内容を実践できる場を提供する予定である。

以上

(様式1)

受付 No. 2

京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース) 開設申請書

以下の内容にて、京カレッジ市民教養講座開設補助費の対象となる講座を申請します。

申請日： 2020 年 9 月 24 日

コース	■京都力養成コース □教養力養成コース ※□にチェック		
講座名	京都の歴史のなかの「新しい」時代・もの・出来事		
サブタイトル	一多様な資料と手法によるアプローチ		
申請団体名	京都産業大学		
申請代表者	(所属・役職) 社会連携センター・ 社会連携センター長	(氏名) 寺崎 友芳	 印
事務連絡先	(所属・役職) 社会連携センター事務局 (氏名) 茶園 桜		
	住所	〒603-8555 京都市北区上賀茂本山	
	部署名	社会連携センター事務局	
	TEL	075-705-2952	FAX 075-705-1960
	Email	shakai-renkei@star.kyoto-su.ac.jp	URL https://www.kyoto-su.ac.jp/

(以下、該当する場合はご記入ください。)

連携団体名			
連携団体代表者	(所属・役職)	(氏名)	印
連携団体連絡責任者	(所属・役職)	(氏名)	
	TEL	Email	
連携団体連絡先	住所	〒	
	TEL	FAX	
	Email	URL	

出願区分 (何れかに○)	(○) 入門講座 →キャンパス外での学習や鑑賞活動を通して京都活性化のきっかけをつくる科目 () 演習・実習講座 →フィールドワークやグループワーク、実習等を通して京都地域に貢献する科目
-----------------	---

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----



(様式1)

1. プログラムの概要 *今回申請されるプログラムの要点・特徴を 400 字以内でご記入ください。

2021 年度は、前年度採択されたものの、新型コロナウイルスの流行により、開催できなかったプログラムに、若干の手直しを行い企画を立てた。

基本的には例年通り、京都産業大学文化学部の教員（いずれも日本文化研究所の兼務所員）と、本学の日本文化研究所の上席特別客員研究員（京都・観光文化検定試験 1 級に合格し、同研究所で研鑽を積み、さらに活動している）の共同による、各自の研究成果をふまえた講義とフィールドワークである。

テーマは、「京都の歴史のなかの「新しい」時代・もの・出来事—多様な資料と手法によるアプローチ—」。平成から令和へと時代（元号）が変わるなか、京都の歴史を振り返り、人々の生活や技術も含め、時代の大きな変化・新たな動きに注目した。具体的には、京都の様々な時代の「伝統」と「革新」、明治維新の実像など、各担当者が興味・関心のある題材を取り上げ、それぞれ得意とするアプローチの方法により、講義やフィールドワークを行う。

受講者には、これらを通して、京都の特色・京都研究のおもしろさ・奥の深さを感じていただき、さらに自ら調べるための視点・方法などをつかんでもらいたい。

2. プログラムの内容 *全ての項目についてご記入ください。

(1) 受講生にとっての教育効果（受講生にとってのメリット）

京都の文化をより深く理解するための新たな視点・方法・知識の獲得。京都の歴史のなかの「新しい」時代・もの・出来事に関して、さまざまな画期・内容に即して、また多様な視点やアプローチの方法を通して、考えることができ、京都文化をより深く理解することができる。大学の教員からは、各種資料の読み解き、文化財の理解などについて、具体的に学ぶことができる。上席特別客員研究員からは、専門研究者と少し異なる視点・発想や聞き取り・フィールドワークなどの身近な調査手法を知ることにより、同じ京都の歴史に関心をもつ者として、学ぶ意欲や探究心が深まるものと考えられる。また、京都文化に関する知識も増える。

(2) 地域人材育成のきっかけ作りにどのように貢献するか

受講生は、もともと京都に関心をもつ方々だと想定される。今回は全体として、京都の歴史のなかの「新しい」時代・もの・出来事を扱うが、取り上げる時期・対象によって、その内容や位置づけは大きく異なる。たとえば、京都には「伝統」重視と「革新」の両面があること、京都における明治維新の様々な具体像を提示することなどは、京都に対する再認識や多様性の理解につながるものといえよう。このような、講座から得られる、広い意味での京都に関する新たな発見を通して、京都の学びの奥深さやおもしろさを体感でき、そのことがさらに京都への関心を深めることにつながるであろう。特に、上席特別客員研究員の研究や取り組みからは、京都を学ぶ意欲をかきたてられ、京都検定の合格をめざすことや、日常生活のなかで京都と関わること（ボランティアガイドなど）を考え、実践するようになるものと考えられる。

(様式1)

(3) 本プログラム実施に際して、申請団体・連携団体が有している強み**【申請団体】**

本学では、1980年より一般市民を対象とした市民講座を実施し、現在は、人文科学・社会科学・自然科学の各分野から多岐にわたる講座を提供している。京都に特化したテーマの講座の開講実績もあり、2015年4月には文化学部で京大文化学科が開設され、さらに2019年4月には、大学院京都文化科学研究科修士課程（通信教育課程）がスタートした。講義及びフィールドワークを担当するメンバーは、京都の歴史に関する研究蓄積をもつ教員と「京都・観光文化検定1級」に合格し本学の日本文化研究所で研鑽を積んだ上席特別客員研究員であり、ともに広く活躍している。本学がこのように京都文化学に関する人的財産を抱えていることが、強みである。

【連携団体】 *該当する場合のみ記入**(4) 本プログラムの授業構成（各回のタイトルと授業内容を3～4行程度におまとめいただきご記入ください）**

日程	コマ数	構成内容
5月 8日	1コマ目 9:30-11:00	若松正志「このプログラムの紹介」・同「総論：京都の歴史のなかの「新しい」時代・もの・出来事」（仮題。以下同じ）（90分講義） この講座のねらい・概要を述べるとともに、総論として、「新しい」時代・もの・出来事をキーワードに、古代から近現代に至る京都の歴史を概観する。特に、「伝統」と「革新」、江戸時代の「特権」と「新規（参入）」について詳しく述べる。
5月 8日	2コマ目 11:00- 12:30	鈴木久男「日本庭園を明日に伝える人たちを支える活動」（90分講義） 京都には、伝統的な庭園（文化財庭園）の本質や価値を後世へ継承させる事務局がある。その取り組み理念や活動を紹介しながら、日本庭園を守る人々の新たな取り組みを概観する。
5月 15日	3コマ目 9:30-11:00	吉野秋二「上賀茂神社と地域形成－1018年の転換－」（90分講義） 寛仁2年(1018)の愛宕郡八郷の上賀茂神社・下鴨神社への寄進が、平安京北方地域のその後の地域形成を決定づけたことを講義する。
5月 15日	4コマ目 11:00-12:30	高橋信治「北野社人たちの明治維新」（45分講義） 西京七之保社に分かれ北野天満宮に神饌奉仕していた北野社人。社人の保有していた麴の専売権の崩壊による社人の変化と明治新政府の新宗教施策に対する社人の行動に関する研究成果を述べる。 山中雅之「伏見稻荷大社とその周辺の『お滝』について」（45分講義） 伏見稻荷大社の社領とその周辺には、修行・潔斎のための「お滝」が数多く存在する。それらは近代になって爆発的に増えたものと考えられ、その成立時期や、多数成立した理由について、古地図や現地調査などを通して研究した。その成果を述べる。

(様式1)

5月 22日	5コマ目 9:30-11:00	笹部昌利「志士」と時代祭—丹波郷土と近代京都— (90分講義) 前近代の丹波国に存在した「弓射連中」は、明治維新を経、近代という時代にどのように向き合ったのだろうか。同じく丹波国で著名な山国隊の事例も交えて、考察する。
5月 22日	6コマ目 11:00- 12:30	高畑好子「明治改暦～京での改暦をめぐる様相～」 (45分講義) 時の文明開化ともいえる明治改暦(太陽暦の採用・不定時法から定時法への改変)は、明治5年11月9日に詔が發布された。詔発布前後の京での改暦をめぐる動きについて、その当時の府令や新聞を通して探ったことを述べる。 二村盛寧「京都の近代建築の魅力について」 (45分講義) 近年、東京の赤坂離宮などの明治時代に建てられた建築物が国宝に指定されるなど、近代建築について文化財的な評価が高まりつつある。京都でも、聴竹居など、昭和初期に建てられた建築物が重要文化財に指定されるなど、新たな展開がみられる。この講義では、京都の近代建築の魅力について講義する。
5月 29日	7・8 コマ目 9:30-12:30	中江好喜「北野天満宮及び衣笠<絵描き>村を訪ねて」 (180分フィールドワーク) 御土居や神仏分離など、京都の「新たな」時代を伝える北野天満宮、日本美術の近代における展開を推進した木島桜谷関係史跡などを巡る。
月 日	9コマ目	
月 日	10コマ目	
月 日	11コマ目	
月 日	12コマ目	
月 日	13コマ目	
月 日	14コマ目	
月 日	15コマ目	

(5)講義の開講場所(○を記入ください)

() オンキャンパス(自大学)で開講する (○) キャンパスプラザ京都で開講する

(6)学外実習場所とその選定理由

【実地場所】 北野天満宮、木島桜谷邸など(予定)

(様式1)

【選定理由】 京都の新たな時代・もの・出来事を感じることができる。講義の内容と関わる場所を含める。3時間で見て回ることができる、まとまった範囲（西京）にある。普段あまり公開していないところを含める。

(7) 申請団体と連携団体等との連携内容（*該当する場合のみ記入してください。）

(8) 過年度の開催実績（同一内容で開催された年度に○を記入ください）

2018年度 [] 2019年度 [] 2020年度 []

(9) 受講料および受講定員

受講料：[無料] 円 受講定員：[30] 名

* 実費経費を除き、原則、無料が望ましい。

3. 授業実施体制

[授業担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
若松 正志	京都産業大学・文化学部・教授	全体の統括、5/8 講義、5/29 フィールドワーク補助
鈴木 久男	京都産業大学・文化学部・教授	5/8 講義
吉野 秋二	京都産業大学・文化学部・教授	5/15 講義
笹部 昌利	京都産業大学・文化学部・准教授	5/22 講義
高橋 信治	京都産業大学・日本文化研究所・上席特別客員研究員	5/15 講義
山中 雅之	京都産業大学・日本文化研究所・上席特別客員研究員	5/15 講義
高畑 好子	京都産業大学 日本文化研究所・上席特別客員研究員	5/22 講義
二村 盛寧	京都産業大学・日本文化研究所・上席特別客員研究員	5/22 講義
中江 好喜	京都産業大学・日本文化研究所・上席特別客員研究員	5/29 フィールドワーク

[事務担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
寺崎 友芳	社会連携センター長	申請代表者
茶園 桜	社会連携センター事務室・課員	講座運営・調整等

(様式1)

4. その他特記事項

この講座の過去の講義・フィールドワークの概要は、本学の『あふひ（京都産業大学日本文化研究所報）』に毎年掲載し、参加できなかった人にも理解できるよう、情報発信を行っている。最新号（26号。2020年9月刊行予定）には、2019年度の講座の概要が記されている。

以上

(様式1)

受付 No. 4

京カレッジ市民教養講座 (京都力養成コース・教養力養成コース)開設申請書

以下の内容にて、京カレッジ市民教養講座開設補助費の対象となる講座を申請します。

申請日：2020(令和2)年 10 月 1 日

コース	<input checked="" type="checkbox"/> 京都力養成コース <input type="checkbox"/> 教養力養成コース ※ <input type="checkbox"/> にチェック		
講座名	祇園祭と京都		
サブタイトル	祇園祭を多角的に検証する		
申請団体名	龍谷大学 龍谷エクステンションセンター (REC)		
申請代表者	(所属・役職) センター長	(氏名) 深尾 昌峰	
事務連絡先	(所属・役職) REC 事務部 (京都)	(氏名) 川崎 正嗣	
	住所 〒612-8577		
	部署名 京都市伏見区深草塚本町 67		
	TEL 075-645-2098	FAX 075-645-9222	
	Email Kawasaki-m@ad.ryukoku.ac.jp	URL https://rec.seta.ryukoku.ac.jp	

(以下、該当する場合はご記入ください。)

連携団体名			
連携団体代表者	(所属・役職)	(氏名)	印
連携団体連絡責任者	(所属・役職)	(氏名)	
	TEL	Email	
連携団体連絡先	住所 〒		
	TEL	FAX	
	Email	URL	

出願区分 (何れかに○)	<input type="radio"/> 入門講座 →キャンパス外での学習や鑑賞活動を通して京都活性化のきっかけをつくる科目 <input type="radio"/> 演習・実習講座 →フィールドワークやグループワーク、実習等を通して京都地域に貢献する科目
-----------------	---

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----



(様式1)

1. プログラムの概要 *今回申請されるプログラムの要点・特徴を400字以内でご記入ください。

本講座は、京都の行事の中心であり、ユネスコの無形文化遺産となった祇園祭について、関連する各界から照射するものである。①聖護院や八坂神社、神泉苑から、祇園祭の起源・歴史や展開、宗教的儀礼祭礼の観点を中心として述べる部分(神事仏事、起源と歴史等々)、②現地の町衆、とりわけ女性の立場から慣習や伝説も含めた民俗学的視点で語られる部分(ジェンダー論や屏風祭・體祭等々)、③京都の政治や経済、社会との関わりで社会的に講ぜられる部分(観光資源・経済効果やゴミ問題・交通規制・後継者育成問題等)、④祇園祭が行われている現場にフィールドワークに出かけ、祭りを体感する部分(吉符入りやくじあため、鉾立、曳き初め、稚児舞披露、山鉾風流の緒行事等々、一日ですべてを体験することはできないが、執行される場所や様子・雰囲気伝える)、の4つから構成される。

2. プログラムの内容 *全ての項目についてご記入ください。**(1) 受講生にとっての教育効果(受講生にとってのメリット)**

祇園祭は日本を代表する京都市的な祭であるとともに、非常にグローバル化・国際化の面でも優れた足跡を残すものである。美術工芸品などにみられるように、遺産面では、洋の東西を問わず、各国の優れた文物が展示される。近年は、外国人インバウンドの激増や外国人留学生によるボランティアなどから、多文化国際交流の拠点の一つとなっている。

また、華やかに見える祇園を縁の下で支える人々の苦労や工夫などを学ぶことができる。さらに、行政や経済の面からも捉えることにより、社会科学の視点を持つことができるようになる。このように、国際感覚を高めつつ、美芸や都市論、人口論についても習得すべき点がある。

(2) 地域人材育成のきっかけ作りにどのように貢献するか

山鉾町は一見華やかに見えるものの、実は深刻な後継者問題や祭の執行者の高齢化が大きな課題となっている。また、一方で他府県や諸外国から鉾町への転入者にどのように祇園祭を理解してもらい、どのように協力・参加してもらうかという問題も抱える。女性の参加についても同様のことが言える。大学の持つ多文化共生やジェンダーの研究成果が、未来志向或いは先進的な理論として、一石を投ずることに成り得る可能性もある。座学理論編として受講し、現地をフィールドワークすることにより、地域をさらによく理解していくことができる。

本講座を通して、この祇園祭への地域の関わり方を知って頂くことで、受講者各自の地元の祭への関わり方に参考となるものであろう。

(3) 本プログラム実施に際して、申請団体・連携団体が有している強み

[申請団体]

[連携団体] *該当する場合のみ記入

(様式1)

(4) 本プログラムの授業構成 (各回のタイトルと授業内容を3~4行程度におまとめいただきご記入ください)

日程 【暫定】	コマ数	構成内容
5月 18日	1コマ目	【宮城 泰年】「聖護院と祇園祭:無事安寧の祈り」 修験道総本山聖護院門跡の山伏は修験道ゆかりの7基の山を巡拝し、祇園祭の無事巡行や町内安全を祈願している。聖護院と門跡の関連について講述する。
5月 25日	2コマ目	【仲林 亨】「八坂神社と祇園祭:神事祭礼の中から学ぶ」 厄除け粽伝説に関わる素戔鳴尊や牛頭天王の話や、神輿洗い等に代表される祇園祭の神事祭礼について、祇園祭が今日のように発展してきた過程について詳述する。
6月 1日	3コマ目	【鳥越 英徳】「神泉苑と祇園祭:起源発祥をたずねて」 平安京遷都時に禁苑として造営された神泉苑神泉苑は、祇園祭発祥の地でもある。その起源に迫りながら、祇園祭において神泉苑が担う役割について述べる。
6月 8日	4コマ目	【玉村 千恵子】「町衆と祇園祭:市民目線で辿る祇園祭」 鉾町・寄町(鉾町近隣の祭に協力する町)に暮らす地元の町衆の祇園祭と向き合う姿を紹介する。とりわけ女性の役割や参加について、種々の例を示しながら説く。
6月 15日	5コマ目	【築地 達郎】「京都の社会と祇園祭:統計分析の視点から」 国際観光都市、京都の中心行事である祇園祭が京都の社会とどのように関わっているかについて分析する。観光資源や経済効果、ゴミ問題や交通規制等々について陳ずる。
7月 15日	6コマ目	【泉 文明】「山鉾町に行く:祇園祭フィールドワーク」 実際に祇園祭が行われている鉾町を訪ねて、祭が執り行われている活気ある様子を実体験する。現地ではか理解できない迫力や人々の取組みや制度や慣習等についての学びの場とする。

(様式1)

(5)講義の開講場所(○を記入ください)

(○) オンキャンパス(自大学)で開講する () キャンパスプラザ京都で開講する

(6)学外実習場所とその選定理由

[実地場所] 四条室町近辺

[選定理由]

銚が立ち並ぶ壮麗の地であり、地元の感覚を体感して頂きやすいエリアである。また、ゴミ問題・後継者育成問題・資金運営の問題等々、最も身近に感じ取ることができるエリアである。

(7)申請団体と連携団体等との連携内容(*該当する場合のみ記入してください。)

(8)過年度の開催実績(同一内容で開催された年度に○を記入ください)

2018年度[] 2019年度[] 2020年度[不開講]

(9)受講料および受講定員

受講料:[0]円 受講定員:[20]名

* 実費経費を除き、原則、無料が望ましい。

3. 授業実施体制

[授業担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
宮城 泰年	聖護院門跡門主	聖護院と祇園祭:無事安寧の祈り
仲林 亨	八坂神社権禰宜	八坂神社と祇園祭:神事祭礼の中から学ぶ
鳥越 英徳	神泉苑住職	神泉苑と祇園祭:起源発祥をたずねて
玉村 千恵子	京都外国語大学講師	町衆と祇園祭:市民目線で迎える祇園祭
築地 達郎	龍谷大学社会学部准教授	京都の社会と祇園祭:統計分析の視点から
泉 文明	龍谷大学国際学部教授	山鉾町に行く:祇園祭フィールドワーク

[事務担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割
深尾 昌峰	龍谷エクステンションセンター(REC)センター長	申請代表者
西坂 正雄	龍谷エクステンションセンター(REC)事務部課長	事務統括
川崎 正嗣	龍谷エクステンションセンター(REC)事務部課員	講座企画・連絡調整・講座運営

(様式1)

4. その他特記事項

過年度の講座と関連性を保ちつつ、これまでの祇園祭の起源・歴史や展開、宗教的儀礼祭礼といった観点に加え、今回は現地の町衆、とりわけ女性の立場から慣習や伝説も含めた民俗学的視点を取り入れた。また、京都の政治や観光、経済といった社会学的な視点等も取り入れた。

このように、企画にあたっては、祇園祭と京都との関わりを多角的な視点で学ぶことができるよう構成を行い、歴史をふり返りながら現在に活かし、未来を展望するものであるように心がけた。

(4) プログラムの授業構成に記載している日程は、2021年度の本学学年暦は現在検討中であることから、暫定としている。学年暦の決定により変更が生じた場合、速やかに事務局へ報告する。

また、授業最終回を祇園祭のフィールドワークとしているが、新型コロナの感染状況や今後の祇園祭の実施形態などによっては、オンラインで実施する可能性があることを付記する。

以上

2020年10月17日

教育事業企画検討委員各位

2021年度京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)
開設補助費申請事前審査について(依頼)大学コンソーシアム京都
教育事業部

平素は当財団の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

6月の教育事業企画検討委員会にてご報告しましたとおり、このたび2021年度京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)開設補助費の募集を行い、加盟大学からの申請を受け付けました。

つきましては、11月の教育事業企画検討委員会における採択等を円滑に行わせいただくため、従来どおり、対象科目について下記のとおり事前審査等をお願い申し上げます。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、10月26日(月)までに、「2021年度京カレッジ市民教養講座開設補助費申請事前審査表」に必要事項をご入力の上 tg@consortium.or.jp へメール提出くださいますようお願いをお願いいたします。ご不明な点等ございましたら、担当までお問い合わせください。

1 事前審査あるいは継続確認の対象科目について

- ・ 「【別紙1】2021年度京カレッジ市民教養講座開設補助費申請事前審査表」にて対象科目をご確認ください。
- ・ 「【別紙2】2021年度京カレッジ市民教養講座開設補助費申請事前審査_申請書一式」にて対象科目の申請内容をご参照ください。

2 審査基準について

- ・ 「【別紙3】2021年度京カレッジ市民教養講座開設補助費公募要領」に記載の「4. 選考について (2)選考基準」をご参照ください。

3 判定、コメントの入力について

- ・ 「【別紙1】2021年度京カレッジ市民教養講座開設補助費申請事前審査表」の該当欄に、判定および(必要に応じて)コメントをご入力ください(※ご参考:【別紙4】2020年度コメント一覧)。
- ・ 判定は○(採用)、△(改善の余地あり)、×(不採用)のいずれかをお願いします。最終的な採択可否は、各委員の判定をもとに総合的に判断されます。
- ・ 事前審査において「△」「×」と判定された科目は、指摘事項について事務局から科目開設大学に改善を求めます。「×」と判定されていた科目はその上で再度事前審査を行います。
- ・ 京都地域活性化につながる市民対象大学講座の提供促進という本補助費の趣旨に鑑み、今回のように採択件数が上限(各コース10件)に満たない場合は、必要な修正をしつつ採択できる方向で進めさせていただきたく、何とぞご理解ご協力のほどお願いいたします。

以上

<本件のお問合せ先> 大学コンソーシアム京都 教育事業部
tg@consortium.or.jp 075-353-9120 担当/安部・中谷

2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議

2021年度京カレッジ生募集ガイドの校正等について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

平素は当財団の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年度京カレッジ事業の出願者募集に向けて、京都市内各所へ設置および2020年度受講者等へ配付する紙冊子「2021年度京カレッジ生募集ガイド」を作成します。

京カレッジに科目提供を行う大学のご担当者におかれましては、校正等にご協力くださいますようお願いいたします。

詳細は追ってご案内しますが、あらかじめ下記の点にご留意のほどよろしくお願いいたします。

1 2021年度京カレッジ生募集ガイドに掲載するシラバスデータの入稿について

- ・ 大学担当者がe京都ラーニング内へ入力することによって行います。
- ・ 入力期間は2020年11月13日(金)～2021年1月18日(月)23時59分までです。
 - ※ 上記期間終了後に修正あるいは追加が発生しますと、以降の校正等に影響し、大学担当者、印刷会社および財団事務局において事務負担となります。期間内に誤りなく入力をご完了くださいますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。
 - ※ どうしても間に合わない場合でも、最低限、必須項目に仮の内容を入力する等により、科目としての「枠」を必ず登録完了してください。
- ・ e京都ラーニングへのシラバス入力の詳細については、別紙「2021年度シラバスの入力依頼および「e京都ラーニング」マニュアルについて」をご参照ください。

2 ページごとの校正スケジュール(大枠)について

- 1) 巻頭カラーページ(「京都力養成コース・教養力養成コース」「大学リレー講座」)
 - ・ 2020年11月から校正等開始 → 2020年12月中に校了予定
- 2) 一覧ページ(手続一覧、生涯学習講座のご案内、図書館利用一覧、地図・連絡先一覧)
 - ・ 2020年11月から校正等開始 → 2020年12月中に校了予定
- 3) シラバスページ
 - ・ 2021年1月末から校正等開始 → 2021年2月中旬に校了予定

3 校正相手について

- ・ 「巻頭カラーページ」は財団と、「一覧ページ」および「シラバスページ」は財団が業務委託する印刷会社(宮川印刷株式会社)と校正のやりとりをしていただきます。
 - ※ 従来「一覧ページ」は財団を窓口にて校正していましたが、変更しました。
- ・ 追って、詳細スケジュールや情報提供依頼等のご案内を行いますので、ご協力をお願いいたします。

以上

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会

2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2021年度京カレッジ事業に係る手続き等の変更について

大学コンソーシアム京都

教育事業部

2021年度京カレッジ事業の運営にあたり、京カレッジ生の利便性向上および事務局業務効率化を目的とし、下記のとおり手続き等を変更する。

1 WEB 出願の導入

- ・ 従来の紙ベースによる出願方法に加え、新たに構築する専用のWEBシステムからでも出願ができるようにする。
- ・ 出願者は、紙ベースの出願においては受講希望科目の開講大学数分の出願票を手書き作成する必要があるが、WEB出願においては開講大学の区別なく、画面内で受講希望科目を選択するだけでよいものとする。出願者自身のプロフィールについては、WEB出願を利用すれば初回入力時に保存され、以後(翌年度も含め)改めて入力する必要はない仕組みとする。
- ・ WEB出願された内容はシステム内で紙ベースの出願票と同体裁に帳票化され、紙ベースの出願票とあわせて事務局から開講大学へ引き渡しを行う。
- ・ 紙ベースで出願された内容は事務局で電子ファイルに手入力するが、WEB出願された内容についてその作業は不要であり、派遣社員の人件費削減を含め、大きく業務効率化をはかることができる。

2 出願票への顔写真の貼付廃止

- ・ 近年、京カレッジ生から、履修許可前に顔写真を大学等へ提供する運用に対する不満の声が寄せられていること等に考慮し、出願票への顔写真の貼付を廃止する。
- ・ 科目開講大学における学内手続上、履修許可者の顔写真を必要とする場合は、あらかじめ募集ガイドに明記し、履修許可者との手続において直接受領するものとする。

3 「e 京都ラーニング」からの休講等通知のメールの配信対象化

- ・ 従来、科目開講大学から京カレッジ生への休講等の連絡は電話あるいは文書等のみとし、単位互換生向けに利用している一斉通知システムの対象外としていたが、京カレッジ生についても対象化する。具体的には、出願時にEメールアドレスを登録した京カレッジ生には、「e 京都ラーニング」において大学が登録した休講等の通知(「お知らせ」)がEメール配信されるようにする。
- ・ しかしながらEメールの利用が困難な京カレッジ生も一定数いると考えられるため、大学では上記のEメール配信機能を活用しつつも、必要に応じて電話あるいは文書等による方法も用い、必要な情報を京カレッジ生がもれなく受け取れることに留意する。
- ・ ゆくゆくは京カレッジ生に対してEメール配信機能のみで休講等の連絡が完結することを目指し、大学コンソーシアム京都事務局においては必要に応じてマニュアルを作成するなど、WEB利用を促進していく。

以上

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会
2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2020年度^{みやこ}京カレッジ大学リレー講座の実施状況および2021年度実施方針について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

2020年度京カレッジ大学リレー講座は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により日程変更および定員縮小(250名→130名へ)のうえ、9月から2021年2月までの期間で開講を進めている。

については、2020年度の実施状況を踏まえ、2021年度の実施について方針を立て、募集要項を作成のうえ加盟大学へ募集を行う。詳細は下記のとおり。

1 2020年度の実施状況

・ 参加大学(11大学)と11講座の開講内容、参加者数

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	備考	参加者
1	9/19	明治国際医療大学	柔よく剛を制す ー柔らかさを手に入れて、健やかな生活をー	松本 和久		86
2	9/26	同志社女子大学	観光まちづくりの可能性 ー北海道富良野におけるまちづくりの実践例ー	天野 太郎		62
3	10/10	平安女学院大学	巨石信仰と日本庭園	高橋 義人		126
4	10/31	佛教大学	自己をみつめる ー法然からのメッセージー	伊藤 真宏		135
5	12/12	京都橘大学	何が人を元気にする？ ー認知症と脳の健康とWell-beingー	小川 敬之	7/4から 変更	
6	12/26	大谷大学	現代社会と仏教 ー濁世を生きる教えー	藤原 正寿		
7	1/9	京都先端科学大学	ミツバチの恵み ーミツバチとヒトとの密接なかかわりー	坂本 文夫	6/13から 変更	
8	1/16	龍谷大学	伝教大師最澄と比叡山 ー日本仏教の母山としてー	道元 徹心		
9	2/6	種智院大学	絵巻『弘法大師行状絵』を読む	西 弥生	7/11から 変更	
10	2/20	京都精華大学	戦国期京都の都市景観 ー戦災復興の視点からー	吉永 隆記	6/27から 変更	
-	中止	花園大学	ブッダの教えはどう広まったのか	柳 幹康	5/30から 変更	

※ 花園大学は、感染拡大を受けた大学判断により開講中止となった。

※ 日程変更および定員縮小(250名→130名)の告知は、「京都学講座」受講者へのチラシ送付、大学コンソーシアム京都ウェブサイトへの掲載およびキャンパスプラザ京都におけるポスター掲示等によって行った。

2 2021年度の実施方針

- 1) 実施曜日は、京カレッジ生が他大学講座他との兼ね合いで比較的参加しやすいと考えられる土曜日で継続し、京都学講座講義日や他財団事業と重ならないよう指定した日を基本に募集する。
- 2) 参加しやすい環境をつくることから参加費は無料および事前申込なしとする。定員は、感染症拡大予防の観点から130名とする。
- 3) 広報は、京カレッジ生募集ガイドと同様に、広報チラシを市役所関係施設、開講大学、プラザフロア、京

都学講座等各講座での自由配布を行い、大学コンソーシアム京都ウェブサイトと市民しんぶんへの掲載を行う。

- 4) 講義開始時間について、受付準備時間の確保のため、13:00 受付開始、13:30 講義開始、終了 15:00 の 90 分を基本とする。
- 5) 受講者アンケートについて、講座実施大学が希望すれば任意で項目追加等できる。
- 6) 司会進行は講座実施大学が行い、その中で自大学の PR を行うことができる。
- 7) 参加大学は、参加年度内においては、各種イベント等の資料を他大学の同リレー講座実施時に PR コーナーに配備できる。
- 8) 講師料他運営経費補助として、講座実施大学に対しキャンパスプラザ京都施設使用料(会場・機材含む)は免除とし、21,137 円を大学コンソーシアム京都から支給する。講座当日の運営は講座実施大学が行う。

3 2021 年度の募集要項

- ・ 別紙のとおり

以上

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会
2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

2021年度京^{みやこ}カレッジ大学リレー講座募集要項

大学コンソーシアム京都
教育事業部

1 実施目的および期待される内容等

大学リレー講座は、学習意欲の高い市民を対象とした学習の場の提供と、各大学が行う生涯学習事業や各種の特徴ある教育研究活動への市民の関心を高めることで、市民の学習機会の拡大と加盟大学の生涯学習事業の発展に繋がることを目的に実施する。方法は、多くの市民が関心に応じて気軽に参加できるリレー形式の講座とする。

対象は、京カレッジを利用する学習に意欲的な60～70才代を中心とした市民層が中心であり、アンケート等から、期待されているテーマは京都に関する全体他、宗教・哲学・歴史・文学・文化や伝統産業に関わること、また健康・医療・食・生活・スポーツに関わること、話題となっている世界情勢や社会の動き、また自然科学に関することが挙げられる。これらを参考に、各大学から市民にPRしたい公開講座等の生涯学習事業や、各大学の教育研究に係る特色あるテーマでの講義を提供していただきたい。

1) 講座の運営

- 各大学事務局にて運営を行う。大学コンソーシアム京都は当日の機材や受付にかかる事前準備のサポート等を行う。

2) 内容

- テーマは任意とし、各大学の得意分野、特にPRしたい最近の取組に係るテーマでの教養講座の提供をいただきたい。1大学で2講座までの申請を可とする。

3) 開講期間・時間・定員・会場

- 2021年5月から2022年2月の間で、別表の実施可能日の開講とする。時間は土曜日の13:30～15:00(受付開始13:00)の90分講義を基本とする。定員は130名とし、会場はキャンパスプラザ京都4階第2講義室あるいは第1講義室(いずれも会場定員289名)を基本とする。

4) 参加申込方法・受講料

- 事前申込は不要、受講料は無料とする。

5) 講師料他運営経費補助

- キャンパスプラザ京都施設使用料(会場・機材含む)は免除とし、21,137円を大学コンソーシアム京都から講座実施大学へ支給する。支給は、講座実施後に大学から実施報告書(様式有)の提出を受けたのち行う。

6) 広報

- 広報は、京カレッジ生募集ガイドと同様に、広報チラシを市役所関係施設、開講大学、プラザフロア、京都学講座等各講座での自由配布を行い、大学コンソーシアム京都ウェブサイトと市民しんぶんへの掲載を行う。リレー講座参加大学は、参加年度内においては、各種イベント等の資料をPRコーナーに配備できる。

7) 応募方法および締切

- ・ 別紙「参加申請書」を【2020年12月10日(木)】までに大学コンソーシアム京都へ提出する。

8) 採用件数

- ・ 10件程度。申請多数の場合は、新規申請大学、先着、1大学1件を優先に考慮のうえ採用する。

9) 留意事項

- ・ 申請における実施日については、キャンパスプラザ京都の利用予定等の理由により、第1希望～第3希望までを記載する。募集受付後、場合によっては会場等について一部変更することがある。

10) その他

- (1) 講義資料、受講者アンケート用紙および感染症関係文書等の配布資料一式は、講座実施大学にて基本130部+αを印刷のうえ準備する。
- (2) 当日は各大学において取り組んでいる生涯学習事業等の広報を可とする。司会進行原稿は基本形のフォーマットを大学コンソーシアム京都で用意し、内容にあわせて担当大学で作成する。
- (3) 受講者アンケート様式は統一的なフォーマットを大学コンソーシアム京都で提供し、講座実施大学が希望すれば任意で項目追加等できる。
- (4) 参加大学は、参加年度内においては、各種イベント等の資料を他大学の同リレー講座実施時にPRコーナーに配備できる。

以 上

2021年度大学リレー講座 実施可能日

※キャンパスプラザ京都内の改修工事のため、下記実施可能日はやむなく変更となる場合があります。その際は大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどお願いいたします。

※すべて土曜日で講義時間13:30～15:00(受付開始13:00)

5月	15日、29日
6月	12日、19日
7月	3日、10日、17日
8月	7日
9月	4日、18日、25日
10月	9日、23日
11月	6日、13日、20日、27日
12月	—
1月	—
2月	5日

【参加申請書提出先、問い合わせ先】(窓口受付 火～土 9:00～17:00)
 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育事業部(京カレッジ担当)
 〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ルキャンパスプラザ京都
 TEL: 075-353-9140 FAX: 075-353-9121 E-mail: tg@consortium.or.jp

申込日： 年 月 日

2021 年度 京カレッジ 大学リレー講座参加申請書

【提出締切 12/10 (木)】

2021 年度京カレッジ大学リレー講座への参加を下記のとおり申請します。

大学名			
講座タイトル※1			
講座の概要※2 (100 字～120 字 の間で作成)			
講 師	所属・役職		
	氏 名		
事務担当者 連絡先※3	部署名		
	担当者氏名		
	電話番号		
	Eメール		
希望日※4	第 1 希望	第 2 希望	第 3 希望
その他連絡事項			

※1 市民にわかりやすい講座タイトル(主題・副題)をつけてください。

※2 現時点の計画内容をお書きください。広報に使用するため、市民にわかりやすく、関心を高めるような内容をお願いします。「京カレッジ募集ガイド」への掲載内容の校正は追ってご依頼します。

※3 今後の事務連絡先についてお書きください。

※4 要項「講座実施可能日」の中から第 3 希望までご記入ください。連絡事項があればお書きください。

※5 2つの講座を申請する場合は本申請書を2つ作成し、「講座タイトル」に「第1希望」がどちらかわかるよう記載してください。

<提出先> 下記までEメールにてご提出ください。

大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当 Eメール: tg@consortium.or.jp TEL: 075-353-9140

受付印	受取印	備考
-----	-----	----

大学コンソーシアム京都加盟校
単位互換・京カレッジ事務担当者 各位

2021年度 ^{みやこ}京カレッジ「大学リカレント教育リレー講座」実施要項

公益財団法人大学コンソーシアム京都

実施目的

大学リカレント教育リレー講座は「働く人・世代」を対象として、加盟校が実施しているリカレント教育プログラムの内容や成果を受講希望者ならびに社会に広く発信し、大学で実施される本体プログラムの受講に繋げていくことを目的として実施する。また、企画全体を通して「大学のまち京都」における学生と社会人との学びあい、大学の特色を生かしたリカレント教育の取り組みを発信し、社会的認知度を高めていく。

(1) 受講対象者

仕事や社会的役割に必要とされる力量や社会的課題を解決するための力量の向上をめざし、①現役で働く人・働こうとしている人、②社会での様々な役割を持つ人・持とうとしている人、などを想定し、現職の有無、勤務歴の有無、年齢は問わず、加盟校の卒業生など受講生を限定する要件等は設けない。

(2) 講座の内容

加盟校が実施する以下のいずれかに該当するリカレント教育プログラムの内容や成果を社会的に発信することを目的として企画する講座。加盟校より各大学の教育研究の特色を活かした講座を提供していただきたい。

- ① 大学が履修証明プログラムやその開発を目的としたもの。学位取得に継続することが可能な単位認定を行えるものも含む。
 - ② 大学が企業・団体等と共同で実施するプログラム
- *以下に該当する講座は対象としない。
- ・学士、修士、博士、専門職等の学位取得を目的とした正規課程
 - ・単発の講座やイベント

(3) 講座の運営

各大学の事務局と講師にて運営を行う。財団は当日の講義機材や受付の準備サポート等を行う。

(4) 開講期間・時間帯・定員・会場

2021年6月から2022年2月の間で別表の講義実施可能日の開講とする。時間は土曜日の10:00～11:30(受付開始9:30)の90分講義を基本とする。講座定員は30～50名程度とし、会場はキャンパスプラザ京都講義室または演習室とする。オンラインによる開講も可とする。

(5) 参加申込方法・受講料

事前申込は不要、受講料は無料とする。

(6) 運営経費補助

キャンパスプラザ京都施設使用料(会場・機材含む)は免除とし、講師料他運営経費補助として20,000円を開講大学に支給する。実施後の担当大学からの実施報告書(様式有)の提出を受けて補助金の支払いを行う。

(7) 財団による広報

財団より経済団体の協力を得ながら企業へのPRを行う。特定分野を対象としたPRは講座提供大学と連携して進める。その他、市民向け広報、財団HPへの掲載や、京都市施設の生涯学習コーナー等で、京カレッジガイドブック、チラシにより広報する。

(8) 応募方法・締め切り

別紙「参加申込書」を作成し、財団事務局へ提出。締め切りは【2020年11月10日（火）】

1 大学2 講座までの申し込みを可とする。

実施日について

実施日は、他各種企画との日程調整上の理由により、以下の実施可能日から第1～第3 候補日までの記載をお願いいたします。会場については実施内容・形態にあわせて別途調整させていただきます。

2021年度実施可能日（施設上の都合等により実施可能日について一部変更することがあります）

※すべて土曜日で講義時間 10：00～11：30（受付開始 9：30）

6月	5日、19日
7月	17日、24日
10月	16日、23日
11月	13日、27日
1月	22日
2月	19日、26日

(9) 採用件数

6 件程度（申し込みがこの件数を超える場合は、1 大学 1 件、先着順を優先事項に採用する。）

(10) その他

- ① 講義資料は担当大学にて準備を依頼する。余った場合は財団で預かり希望者に配付する。
- ② 当日は各大学において取り組んでいる生涯学習事業等の広報を可とする。司会進行原稿は基本形のフォーマットを財団で用意し、内容にあわせて担当大学で作成する。
- ③ 受講者アンケート様式は統一的なフォーマットを財団で用意し、担当大学が今後の生涯学習講座等の資料を送付するために氏名・連絡先の記入を可能とする項目を追加する他、担当大学の希望する項目を調整し財団で用意する。
- ④ 財団は担当大学のイベントチラシ・パンフレットを随時預かり、実施年度の毎回の大学リレー講座時に受講者への自由配布を行う。

【参加票申請先、問い合わせ先】（窓口受付 火～土 9：00～17：00）
 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育事業部（京カレッジ担当）
 〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ルキャンパスプラザ京都
 TEL：075-353-9140 FAX：075-353-9121 E-mail：tg@consortium.or.jp

申込日： 年 月 日

2021年度 京カレッジ 大学リカレント教育リレー講座

参加申込書

【提出締切 11月10日(火)】

京カレッジ大学リカレント教育リレー講座に下記のとおり講座提供を希望します。

大学名			
講座タイトル※1			
講座の概要※2 (150字～200字の間で作成)			
大学で実施しているリカレント教育プログラムの概要 (課程・科目名、開講部局、資格等別添資料可)			
講 師	所属・役職		
	氏 名		
事務担当者 連絡先※3	部署名		
	担当者氏名		
	電話番号		
	Eメール		
希望日 他、連絡事項※4	第1希望	第2希望	第3希望

※1 市民にわかりやすい講座タイトル(主題・副題)をつけてください。

※2 講座を計画する現在の内容をお書きください。案内誌等に掲載しますので、市民にわかりやすく、関心を高めるような内容をお願いします。ガイドに掲載する文章の校正を来年1月をお願いする予定です。

※3 今後の事務連絡先についてお書きください。

※4 要項「講座実施可能日」の中から希望日を選んで第3希望までご記入ください。実施可能日以外の日程希望やその他財団への連絡事項があればお書きください。

※5 2つの講座の開講を希望する場合は本様式を2つ作成し、「講座タイトル」に「第1希望」がどちらかわかるよう記載してください。

<申し込み先> Eメールにて応募してください。

大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当 Eメール: tg@consortium.or.jp TEL: 075-353-9140

受付印	受取印	備考
-----	-----	----

2020年11月10日 教育事業企画検討委員会

2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議(報告)

大学コンソーシアム京都主催 京カレッジ「京都学講座」講座休止の取扱基準の改定、および「大学リレー講座」における講座休止の取扱基準の制定について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

・ 改定および制定の趣旨

大学コンソーシアム京都主催 京カレッジ「京都学講座」における講座休止の判断は、「プラザ科目」における取扱基準に沿って運用していたが、「プラザ科目」とは異なる時間帯で実施している特性を鑑み、独立した取扱基準として改定する。なお、時間帯に係る箇所以外について基本的に、同時に行う「プラザ科目」における授業・試験休止の取扱基準の改定内容に準ずる。

また、「大学リレー講座」においては、講座休止の取扱基準がなかったため、新たに制定する。

以上を踏まえ「京都学講座」および「大学リレー講座」をあわせた取扱基準は、下記のとおりである。

キャンパスプラザ京都で開講される大学コンソーシアム京都主催 京カレッジ「京都学講座」および「大学リレー講座」では、暴風警報や特別警報、特別警報に位置づける警報の発令時や、災害またはストライキ等で交通機関の運行休止等が発生した場合、および、上記に関わらず、講座の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合、講座を休止する基準を以下のとおり定めています。

1. 講座の休止基準

1) 講座当日において次の(1)、(2)、(3)いずれかに該当する場合、下記【判断基準および対応】で示した基準に沿って、講座を休止します。警報の発令・解除及び交通機関の運行状況は、テレビ・ラジオ等の報道機関あるいは気象庁のホームページ等で確認してください。

(1) 警報の発令

京都府南部または京都・亀岡区域（二次細分区域）に特別警報、特別警報に位置づける警報あるいは暴風警報が発令された場合

(2) 交通機関の運行休止

下記の①～⑤うち2つ以上該当するそれらの交通機関が同時に全体的・部分的に運行休止または運転見合わせの場合

①京都市バス・京都市営地下鉄（全路線）

②JR（京都駅発着の在来線）

③京阪電車（出町柳～淀屋橋または中之島間）

④阪急電車（河原町～梅田間）

⑤近鉄電車（京都～大和西大寺間）

(3) その他

上記の基準に関わらず講座の実施について大学コンソーシアム京都・教育事業部長が困難であると判断した場合

【判断基準および対応】

○7：00以降、午前講座(※1)開始時刻までに警報発令または運行休止等が発生している場合：午前講座を休止

○10：30以降、警報発令または運行休止等が発生している場合：午後講座(※2)を休止

*なお、講座実施中に警報発令または運行休止等が発生した場合は、原則として実施中の講座については休止しないものとします。

※1「午前講座」：開始時刻が午前である講座

※2「午後講座」：開始時刻が午後である講座

2) 講座の前日あるいは前々日において、講座の実施が困難であると大学コンソーシアム京都・教育事業部長が判断した場合は、講座をあらかじめ休止します。

※ なお、「京都学講座」の休止を教育事業部長が判断する場合は、原則、事前に京都学企画検討委員長と休止方針を確認していることとする。

2. 講座休止時の告知

大学コンソーシアム京都ウェブサイト(<http://www.consortium.or.jp/>)内「重要なお知らせ」にてお知らせします。

3. 講座休止後の措置

講座休止による振替日設定の有無等については、後日調整の上、大学コンソーシアム京都ウェブサイトやキャンパスプラザ京都1階掲示板等でお知らせします。

〈参考〉 特別警報に位置づける警報

- ・津波：大津波警報
- ・火山噴火：噴火警報（噴火警戒レベル4以上）及び噴火警報（居住地域）
- ・地震：緊急地震速報（震度6弱以上）

<前提>

「京都学講座」実施時間：10：00～11：30、12：30～14：00

「大学リレー講座」実施時間：10：30～12：00、13：30～15：00※午前は例外

以上

2020年度 生涯学習事業「京カレッジ」の出願状況について

1. 概要

(1) 提供科目について

2020年度、本財団加盟校の大学講義・公開講座を以下の4分野で計224科目提供した。

- ① 大学講義(A～I) 大学の正規科目で単位修得が可能な講座
- ② 市民教養講座(J) 歴史や文化、芸術、語学、健康、社会問題など多彩な公開講座
- ③ 京都力養成コース(K) 京都をより深く学べる特色ある講座
- ④ 教養力養成コース(L) 市民の文化力・地域力を向上するための京カレッジ独自の講座
※京都学講座は京都力養成コースの中で大学コンソーシアム京都主催として開講した。

(2) 広報活動について

- ① 財団ホームページに京カレッジ案内掲載(メールフォームによる募集ガイド請求)
- ② 過年度の受講者及び資料請求者へ募集ガイドを送付
- ③ 市役所、区役所、図書館等市関係施設他、科目提供大学へ広報用にチラシを配布
- ④ 市役所、区役所、図書館等市関係施設、地下鉄各駅等へ広報用ポスター配布
- ⑤ 市役所、区役所、図書館及び加盟大学・短期大学で募集ガイドを配布
- ⑥ きょうと市民しんぶんの記事掲載
- ⑦ 京都新聞・朝日新聞・読売新聞に広告掲載
- ⑧ 広報特別企画「マッハの「だから京都！ やっぱり京都！」ー海外生活の中で感じた誇りー(タレント マッハ文朱氏)」3月7日(土)実施予定(応募者300名)
→新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

(3) 出願方法・受付期間

- ① 郵送:2020年3月6日～19日必着
 - ② 持参:2019年3月18日・19日 10:00～16:00で受付
- ※後期募集科目は7月18日に大学コンソーシアム京都のホームページに掲載予定
郵送:2020年8月11日～25日必着
持参:2020年8月25日 10:00～16:00で受付

(4) 科目提供大学数、提供科目数、受講科目数、出願者数

【2020.09.27集計】

年度	科目提供大学等	提供科目数	出願科目数	出願者数						一人あたり併願科目数※2	受講許可者数
				<実数>			<延べ数>				
				前期	後期※1	合計	前期	後期	合計		
2020	29大学 2機関	224科目	97科目 前期95科目	627名	7名	634名	1070名	25名	1,095名	1.7科目	723名
2019	31大学 2機関	257科目	122科目 前期122科目	812名	7名	819名	1,558名	12名	1,570名	1.9科目	1,329名
2018	34大学 2機関	274科目	120科目 前期115科目	773名	14名	787名	1,407名	15名	1,422名	1.8科目	1,297名
2017	30大学 2機関	276科目	127科目 前期121科目	1,048名	7名	1,055名	1,655名	24名	1,679名	1.6科目	1,315名
2016	31大学 2機関	314科目	154科目 前期149科目	812名	21名	833名	1,576名	34名	1,610名	1.9科目	1,292名
2015	34大学 2機関	449科目	178科目 前期174科目	809名	10名	819名	1,921名	25名	1,946名	2.4科目	1,743名
2014	34大学 1機関	373科目	172科目 前期159科目	698名	18名	716名	1,701名	47名	1,748名	2.4科目	1,525名
2013	36大学 1機関	428科目	194科目	506名	16名	522名	1,074名	40名	1,114名	2.1科目	-
2012	36大学 1機関	469科目	228科目	596名	18名	614名	1,265名	62名	1,327名	2.1科目	-

○単位互換提供科目数と同様、ガイドラインに基づいた科目提供により科目数の絞り込みが進んでいる。

○幼保特例プログラムの終了(2019年度まで)および新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年度は出願者数が大きく減少した。また、提供科目のうち計49科目が不開講または提供中止となった。

※1 前期に出願していない新規の方のみの数字

※2 一人あたり併願科目数＝出願者数<延べ数>合計÷<実数>合計

(5) 出願者の年代

年代	男性	女性	合計	割合	2019年度の割合
20代以下	0	1	1	0.2%	0.2%
20代	2	3	5	0.8%	1.6%
30代	3	4	7	1.1%	2.6%
40代	8	10	18	2.8%	5.5%
50代	32	51	83	13.1%	15.1%
60代	122	113	235	37.1%	37.9%
70代	161	97	258	40.7%	33.4%
80代以上	20	7	27	4.3%	3.6%
合計	348	286	634	100.0%	100.0%

○男女あわせると70代の出願者が最も多く全体の40.7%を占め、昨年度の33.4%から7.7%増加した。60・70代をあわせると全体の77.8%となっている。

(6) コース別出願状況

分野	提供科目数		出願者数(人)		2019年度 出願者 人数(割合)
	科目数	割合	人数	割合	
大学講義(A~I)	196	87.5%	230	21.2%	346(22.2%)
市民教養講座(J)	19	8.5%	121	11.1%	308(19.8%)
市民教養講座 京都力養成コース	7	3.1%	624	57.5%	789(50.6%)
市民教養講座 教養力養成コース	2	0.9%	111	10.2%	115(7.4%)
合計	224	100.0%	1086	100.0%	1558(100%)

○提供科目の87.5%(196科目)が大学講義。出願者は全体の21.2%あった。

○市民教養講座(J)は昨年度と比較して提供科目数30科目→19科目、出願者数308名→121名と減少した。減少した大学は主に京都橘大学(提供科目数8科目→3科目、出願者数117名→54名)、明治国際医療大学(同4科目→1科目、同166名→53名)であった。

(7-1) 市民教養講座 京都力養成コース出願状況 ※開設補助費採択科目

No.	科目名	提供大学・機関	定員	出願者数	受講許可者数	定員に対する出願者率
1	京都学講座【午前コース】「なんで京都に来はったんです？ー京都学講座の二十歳(はたち)を祝うー」	大学コンソーシアム京都	250	248	198	99.2%
2	京都学講座【午後コース】「なんで京都に来はったんです？ー京都学講座の二十歳(はたち)を祝うー」	大学コンソーシアム京都	250	140	190	56.0%
3	洛東の名所探訪 ～歩いて感じる観光資源としての文学1～	平安女学院大学	15	23	17	153.3%
4	京都の歴史のなかの「新しい」時代・もの・出来事 ～多様な資料と手法によるアプローチ～	京都産業大学	30	60	0 ※提供中止	200.0%
5	大徳寺納豆の秘密	放送大学京都学習センター	25	37	25	148.0%
6	古都探訪(王朝貴族の生活) ～「みやこ」をとりまく文化・文学・歴史(平安京の誕生と発展)～	京都精華大学	20	63	27	315.0%
7	祇園祭と京都 ～祇園祭を多角的に検証する～	龍谷大学 龍谷エクステンションセンター	20	53	0 ※不開講	265.0%
合計			610	624	457	102.3%

(7-2) 市民教養講座 教養力養成コース出願状況 ※開設補助費採択科目

No.	科目名	提供大学・機関	定員	出願者数	受講許可者数	定員に対する出願者率
1	季節に応じた健康養生講座～京都の伝統文化を楽しみながら健康で美しく生きるための知恵～	明治国際医療大学	30	77	34	256.7%
2	モノから探る京都の大学教育のあゆみ ー大学博物館の収蔵品からみえるもの	京都・大学 ミュージアム連携	20	34	20	170.0%
合計			50	111	54	222.0%

○京都力養成コース、教養力養成コースは特に市民の関心が高い京都関連をテーマにしたものやフィールドワークによるものを京カレッジ生用科目として財団が補助費を支給し、開講している。
新型コロナウイルスの影響により、京都力養成コースの上表No.4が提供中止、No.7が不開講となった。

○「京都学講座」の出願者は今年度388名であり、昨年度の523名から大きく減少した。なお、本講座は午前・午後コースを抽選で振り分けているため、「出願者数」は第1希望者数であり、また、「受講許可者数」には第2希望者を含んでいる。

(8) 各大学の科目提供数と出願状況

大学名	大学講義	公開講座	計	出願者数
池坊短期大学	1	0	1	3
大谷大学	9	0	9	15
華頂短期大学	1	0	1	1
京都先端科学大学	6	0	6	21
京都教育大学	13	0	13	51
京都光華女子大学	13	0	13	2
京都工芸繊維大学	3	0	3	10
京都産業大学	12	1	13	63
京都市立芸術大学	20	2	22	11
京都精華大学	0	3	3	63
京都西山短期大学	2	0	2	4
京都芸術大学	1	0	1	7
京都橘大学	12	3	15	55
京都ノートルダム女子大学	10	0	10	9
京都府立大学	1	0	1	0
京都文教大学	11	0	11	0
京都薬科大学	2	0	2	5
種智院大学	4	0	4	40
同志社大学	11	0	11	10
同志社女子大学	11	0	11	17
花園大学	2	0	2	0
佛教大学	2	0	2	2
平安女学院大学	2	1	3	24
明治国際医療大学	0	2	2	130
立命館大学	15	11	26	10
龍谷大学	30	1	31	67
京都華頂大学	1	0	1	0
京都美術工芸大学	1	0	1	16
大学コンソーシアム京都	0	2	2	388
放送大学(京都学習センター)	0	1	1	37
京都・大学ミュージアム連携	0	1	1	34
合計	196	28	224	1095

(9)「京都学講座」の実施について

・2020年3月7日に俳優のマッハ文朱氏をお招きして実施予定であった特別講座については、定員250名に対し300名の応募があり、不備16名を除く284名に受講を許可する等の準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み中止することを判断した。

・2020年度出願者数は定員500名に対して388名であり、2019年度の523名から大幅に減少した。出願期間における電話対応等の状況から、京都学講座に例年出願していた京カレッジ生が新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け出願を見合わせたケースが多数あると考えられる。4/23締切の振込結果により最終の受講者320名が決定した。

・新型コロナウイルス感染症拡大を受け、下記のとおり日程変更および必要とされる感染対策をとった上で、9/12から講座を開始した。

種別	日程	テーマ	講師	受講者数 上午前 下午後
基本	9/12	足利尊氏はなぜ京都に来たのか	山田 徹 (同志社大学 文学部 准教授)	140 128
基本	10/3	仏教における視覚文化の中心京都 ー外国人研究者の視点からー	ピーダセン ヒラリー (同志社大学 文学部 美学芸術学科 助教)	125 111
基本	10/24	戦後京都の都市と建築の十大事件	上田 篤 (京都精華大学 名誉教授) 川島 智生 (京都華頂大学 現代家政学部 教授)	117 117
基本	11/7 (変更前:6/20)	京都の美意識と世界ブランド ースタバ 京都二寧坂ヤサカ茶屋店の誕生と成 長のキセキー	熊谷 保 (彌榮自動車株式会社 不動産事業部次長) 小林 一彦 (京都産業大学 文化学部 教授)	
基本	11/14	能楽の魅力を再考察 ー国際的視点からみる日本の伝統芸 能ー	ディエゴ ペレッキア (京都産業大学 文化学部 准教授)	
基本	11/28	女子プロ野球の10年とこれから ースポーツでみやこを元気にー	明石 勇毅 (女子プロ野球リーグ 京都フローラ球団代表)	
基本	12/19	「学問の都」「大学の町」はいかにして 生まれたか ー近代京都・高等教育こと はじめー	田中 智子 (京都大学大学院 教育学研究科 准教授)	
基本	1/9 (変更前:6/6)	新文化庁の役割を問う ー文明の流れ における日本の立ち位置から考えるー	近藤 誠一 (元文化庁長官、近藤文化・外交研究所 代表)	
基本	2/6 (変更前:5/23)	京都観光の魅力とは何か？ ー京都観光の歴史と変遷から紐解くー	若村 亮 (株式会社らくたび 代表取締役)	
基本	2/20 (変更前:8/1)	京都から発信される、新しいアート	宮永 愛子 (美術家)	
実地	中止 (変更前:7/20)	祇園祭「鯉山」のなぞ ータペストリーの来歴と鯉の作者ー	杉田 繁治 (公益財団法人鯉山保存会 相談役)	
実地	12/5	日本の伝統を生かした現代の家づくり について	横内 敏人 (建築家) 川島 智生 (京都華頂大学 現代家政学部 教授)	

※ 日程は全て土曜日開講

(10) 「大学リレー講座」の実施について

・大学リレー講座は、各加盟校の特色を生かした市民講座の一部を、京カレッジ生を主たる対象に、キャンパスプラザ京都を会場にして行う教養講座(受講料無料)である。事前申込は不要。各校の特色をリレー形式でアピールし、各校の生涯学習事業への新規受講者に繋げることを目的としている。

5年目となる2020年度は11大学11講義を開講し、各大学はシニア層の多い京カレッジ利用者の関心度の高い京都学、宗教、歴史、文学、健康のテーマで、教育研究の特色や事業のPRを行う。市民からの認知度は年々上がっており、2019年度の平均受講者数は210名程度であった。

・新型コロナウイルス感染症拡大を受け、下記のとおり日程変更および必要とされる感染対策をとった上で、9/19から講座を開始した。

・なお、「3密」回避のため前後左右を空けて着席し、受講定員は130名へと変更した。

日程	時間	大学	テーマ	受講者数
9/19	13:30-15:00	明治国際医療大学	柔よく剛を制す —柔らかなさを手に入れて、健やかな生活を—	86
9/26	13:30-15:00	同志社女子大学	観光まちづくりの可能性 —北海道富良野におけるまちづくりの実践例—	62
10/10	13:30-15:00	平安女学院大学	巨石信仰と日本庭園	126
10/31	13:30-15:00	佛教大学	自己をみつめる —法然からのメッセージ—	135
12/12 (変更前:7/4)	10:30-12:00	京都橘大学	何が人を元気にする？ —認知症と脳の健康とWell-being—	
12/26	13:30-15:00	大谷大学	現代社会と仏教 —濁世を生きる教え—	
1/9 (変更前:6/13)	13:30-15:00	京都先端科学大学	ミツバチの恵み —ミツバチとヒトとの密接なかかわり—	
1/16	13:30-15:00	龍谷大学	伝教大師最澄と比叡山 —日本仏教の母山として—	
2/6 (変更前:7/11)	13:30-15:00	種智院大学	絵巻「弘法大師行状絵」を読む	
2/20 (変更前:6/27)	13:30-15:00	京都精華大学	戦国期京都の都市景観 —戦災復興の視点から—	

※ 5/30に予定していた花園大学の講座は、大学の判断により中止となった。

※ 日程は全て土曜日開講

(11) 今後の課題について

今後、大学は18歳を中心とする人口層だけでなく、社会人の継続的な学び「リカレント教育」への対象拡大が急務となっている。本財団の第5ステージプランの課題として社会人・職業人の継続的な学びにおける大学教育の役割を考え、加盟校によるリカレント教育の積極的な取組みを促進する事業案を検討する。

以上

2020年11月13日 単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議

大学コンソーシアム京都加盟校
単位互換・京カレッジ事務担当者 各位

2021年度におけるキャンパスプラザ京都の利用について

大学コンソーシアム京都
教育事業部

平素は当財団の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当財団総務部から2020年10月30日のメールにてご案内しましたとおり、キャンパスプラザ京都においては2021年度下半期に空調設備の更新工事の実施予定しております。

そのことにより、単位互換・京カレッジ事業にかかる授業・講座についても、所定の期間において所定の会場をご利用いただくことができない状況となります。詳細は下記のとおりです。

1 期間

- ・ 2021年12月～2022年1月末日

2 ご利用いただけない会場 ※カッコ内は階/定員

- ・ ホール(2階/立席90名または着席80名)
- ・ 第1講義室(5階/289名)
- ・ 第2講義室(4階/289名)
- ・ 第3講義室(4階/170名)
- ・ 第4講義室(4階/90名)
- ・ 第1会議室(2階/63名)

上記は、キャンパスプラザ京都における定員63名以上の大・中規模会場すべてであり、当該期間中にご利用いただけるのは定員30名台の小規模会場のみとなります。

また、感染症拡大予防の観点から、2020年度に引き続き2021年度も会場定員の50%程度の受講者数にてご利用いただくことをお願いいたします。

以上のことを踏まえ、単位互換・京カレッジ事業において上記会場の利用が想定される授業・講座につきましては、上記期間を実施日程から外す、オンキャンパス実施とする、あるいはオンライン実施とする等、ご検討くださいますようお願いいたします。

皆様には多大なご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解とご協力をたまわりたく、よろしくお願い申し上げます。

以上